



0057123-000

特206-942

作戰要務令

尚兵館

昭和15

AJF

作戰要務令

第...編
第...卷
第...號
昭和...年...月...日



特206
942



作戰

要務令

綱領及
第一總
部則



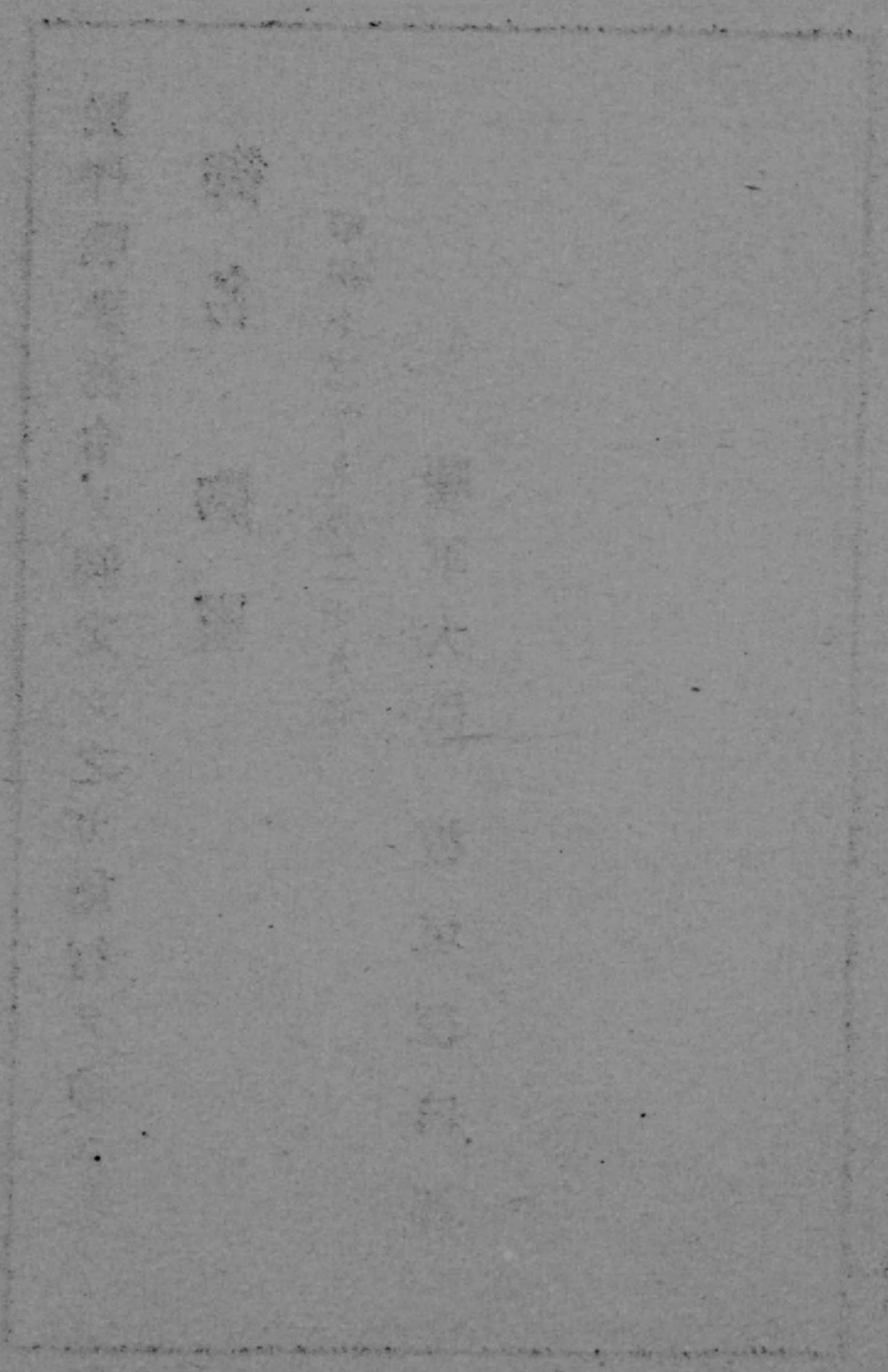
朕作戰要務令ヲ制定シ之ガ施行ヲ命ズ

御名 御璽

昭和十三年九月二十九日

陸軍大臣 板垣征四郎

軍令陸第十九號
作戰要務令



勅語

朕多年ノ經驗殊ニ最近軍事ノ進運ニ稽ヘ茲
ニ作戰要務令ヲ制定ス各々研鑽應用其ノ宜
シキヲ得以テ本令ノ趣旨ヲ完ウセンコトヲ
期セヨ

作戰要務令

綱領、總則及第一部

目次

綱領	一頁
總則	九
第一部	二
第一篇 戰鬥序列及軍隊區分	二
第二篇 指揮及連絡	三
通則	三
第一章 命令	六
第二章 報告及通報	四
第三章 連絡	六
第一節 連絡施設	六

目次

第二節 連絡實施	二
第四章 文書記述ノ要則	三
第三篇 情報	三
通則	三
第一章 搜索	三
要則	三
第一節 飛行部隊、氣球部隊	三
第二節 騎兵	六
第一款 大ナル騎兵部隊	六
第二款 其ノ他ノ騎兵部隊	六
第三節 機械化部隊	六
第四節 其ノ他ノ部隊	六
第五節 斥候	六

第二章 謀報	七
第四篇 警戒	七
通則	七
第一章 行軍間ノ警戒	七
要則	七
第一節 前衛	八
第二節 側衛	九
第三節 後衛	九
第四節 騎兵及機械化部隊ノ警戒	九
第二章 駐軍間ノ警戒	九
要則	九
第一節 行軍間ノ警戒ト駐軍間ノ警戒トノ相互ノ轉移	一〇
第二節 前哨大隊	一〇

第三節 前哨中隊	二〇八
第四節 小哨	二〇九
第五節 步哨	二一〇
第六節 對空監視哨	二一一
第七節 斥候、巡察	二一二
第八節 前哨部隊ノ交代	二一三
第九節 騎兵及機械化部隊ノ警戒	二一四
第十節 飛行場ニ於ケル航空部隊ノ警戒	二一五
第五篇 行軍	二一六
通則	二一七
第一章 行軍ノ部署	二一八
第二章 行軍ノ實施	二一九
第三章 交通整理	二二〇

第六篇 宿營

通則	二二一
第一章 宿營地ノ配當	二二二
第二章 勤務員	二二三
第三章 警戒	二二四
第四章 舍營	二二五
第五章 露營	二二六
第六章 村落露營	二二七
第七篇 通信	二二八
通則	二二九
第一章 通信機關	二三〇
第二章 通信網ノ構成	二三一
第三章 通信實施	二三二

第四章 通信ノ秘密保持 二四

第五章 通信施設ノ掩護及破壊 二六

作戰要務令

綱領、總則
及第一部

目次 終

作戰要務令

綱領、總則
及第一部

綱 領

第一 軍ノ主トスル所ハ戦闘ナリ故ニ百事皆戦闘ヲ以テ基準トスベシ而シテ戦闘一般ノ目的ハ敵ヲ壓倒殲滅シテ迅速ニ戦捷ヲ獲得スルニ在リ

第二 戦捷ノ要ハ有形無形ノ各種戦闘要素ヲ綜合シテ敵ニ優ル威力ヲ要點ニ集中發揮セシムルニ在リ

訓練精到ニシテ必勝ノ信念堅ク軍紀至嚴ニシテ攻撃精神充溢セル軍隊ハ能ク物質的威力ヲ凌駕シテ戦捷ヲ完ウシ得ルモノトス

第三 必勝ノ信念ハ主トシテ軍ノ光輝アル歴史ニ根源シ周到ナル訓練ヲ以テ之ヲ培養シ卓越ナル指揮統帥ヲ以テ之ヲ充實ス

赫々タル傳統ヲ有スル國軍ハ愈々忠君愛國ノ精神ヲ砥礪シ益々訓練ノ精熟ヲ重ネ戰鬪慘烈ノ極所ニ至ルモ上下相信倚シ毅然トシテ必勝ノ確信ヲ持セザルベカラズ

第四 軍紀ハ軍隊ノ命脈ナリ戰場到ル處境遇ヲ異ニシ且諸種ノ任務ヲ有スル全軍ヲシテ上將帥ヨリ下一兵ニ至ル迄脈絡一貫克ク一定ノ方針ニ從ヒ衆心一致ノ行動ニ就カシメ得ルモノ即チ軍紀ニシテ其ノ弛張ハ實ニ軍ノ運命ヲ左右スルモノナリ而シテ軍紀ノ要素ハ服從ニ在リ故ニ全

軍ノ將兵ヲシテ身命ヲ君國ニ獻ゲ至誠上長ニ服從シ其ノ命令ヲ確守スルヲ以テ第二ノ天性ト成サシムルヲ要ス

第五 凡ソ兵戰ノ事タル獨斷ヲ要スルモノ頗ル多シ而シテ獨斷ハ其ノ精神ニ於テハ決シテ服從ト相反スルモノニアラズ常ニ上官ノ意圖ヲ明察シ大局ヲ判斷シテ狀況ノ變化ニ應ジ自ラ其ノ目的ヲ達シ得ベキ最良ノ方法ヲ選ビ以テ機宜ヲ制セザルベカラズ

第六 軍隊ハ常ニ攻撃精神充溢シ志氣旺盛ナラザルベカラズ

攻撃精神ハ忠君愛國ノ至誠ヨリ發スル軍人精神ノ精華ニシテ鞏固ナル軍隊志氣ノ表徴ナリ武技之ニ依リテ精ヲ致

シ教練之ニ依リテ光ヲ放チ戰鬪之ニ依リテ勝ヲ奏ス蓋シ
勝敗ノ數ハ必ズシモ兵力ノ多寡ニ依ラズ精練ニシテ且攻
撃精神ニ富メル軍隊ハ克ク寡ヲ以テ衆ヲ破ルコトヲ得ル
モノナレバナリ

第七 協同一致ハ戰鬪ノ目的ヲ達スル爲極メテ重要ナリ
兵種ヲ論ゼズ上下ヲ問ハズ戮力協心全軍一體ノ實ヲ擧ゲ
始メテ戰鬪ノ成果ヲ期シ得ベク全般ノ情勢ヲ考察シ各々
其ノ職責ヲ重ンジ一意任務ノ遂行ニ努力スルハ即チ協同
一致ノ趣旨ニ合スルモノナリ而シテ諸兵種ノ協同ハ歩兵
ヲシテ其ノ目的ヲ達成セシムルヲ主眼トシ之ヲ行フヲ本
義トス

第八 戰鬪ハ輓近著シク複雑靱強ノ性質ヲ帶ビ且資材ノ
充實、補給ノ圓滑ハ必ズシモ常ニ之ヲ望ムベカラズ故ニ
軍隊ハ堅忍不拔克ク困苦缺乏ニ堪ヘ難局ヲ打開シ戰捷ノ
一途ニ邁進スルヲ要ス

第九 敵ノ意表ニ出ヅルハ機ヲ制シ勝ヲ得ルノ要道ナリ
故ニ旺盛ナル企圖心ト追隨ヲ許サザル創意ト神速ナル機
動トヲ以テ敵ニ臨ミ常ニ主動ノ位置ニ立チ全軍相戒メテ
嚴ニ我が軍ノ企圖ヲ祕匿シ困難ナル地形及天候ヲモ克服
シ疾風迅雷敵ヲシテ之ニ對應スルノ策ナカラシムルコト
緊要ナリ

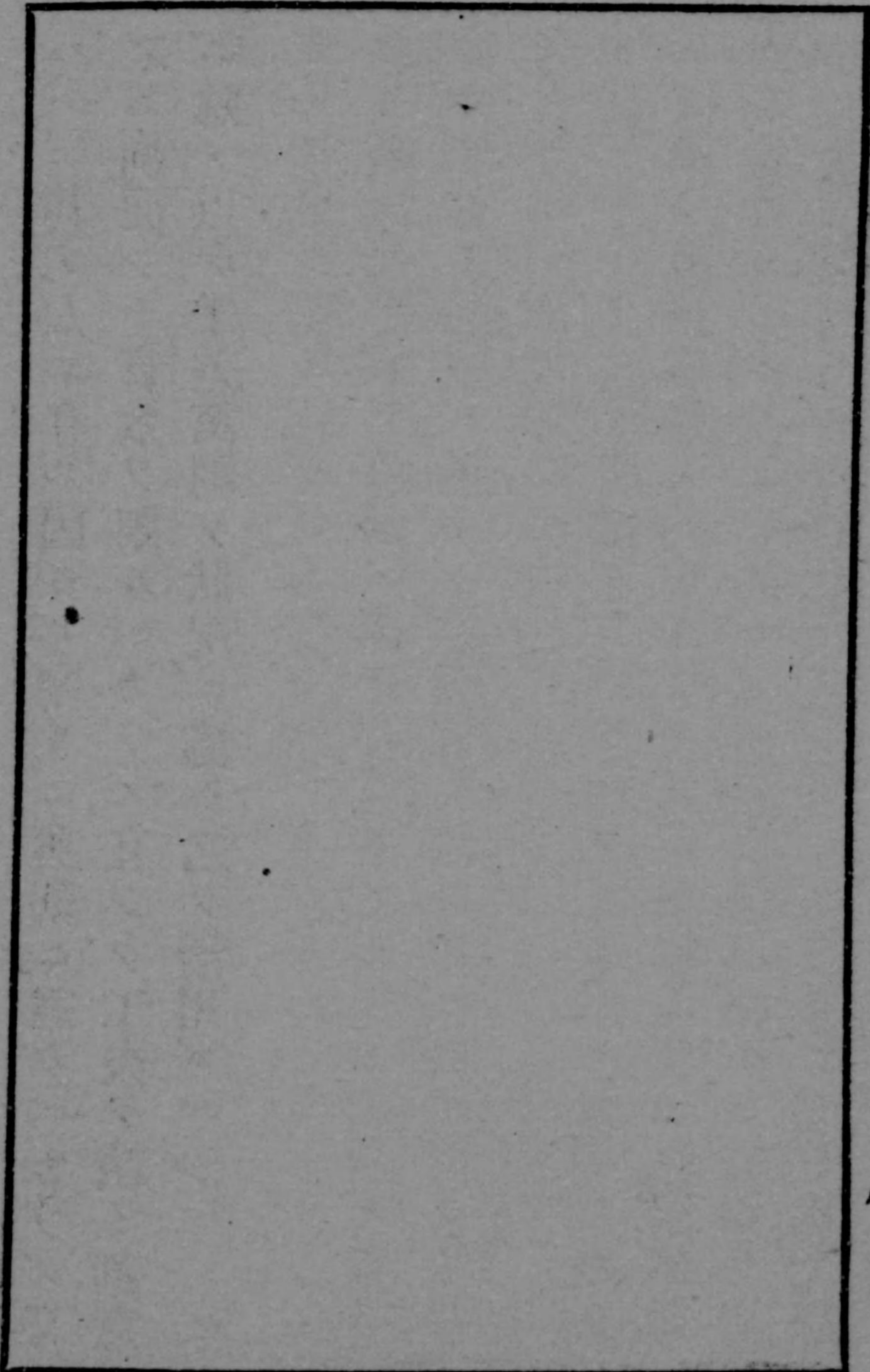
第十 指揮官ハ軍隊指揮ノ中樞ニシテ又團結ノ核心ナリ

故ニ常時熾烈ナル責任觀念及鞏固ナル意志ヲ以テ其ノ職責ヲ遂行スルト共ニ高邁ナル徳性ヲ備ヘ部下ト苦樂ヲ俱ニシ率先躬行軍隊ノ儀表トシテ其ノ尊信ヲ受ケ劍電彈雨ノ間ニ立チ勇猛沈著部下ヲシテ仰ギテ富嶽ノ重キヲ感ゼシメザルベカラズ

爲サザルト遲疑スルトハ指揮官ノ最モ戒ムベキ所トス是此ノ兩者ノ軍隊ヲ危殆ニ陥ラシムルコト其ノ方法ヲ誤ルヨリモ更ニ甚ダシキモノアレバナリ

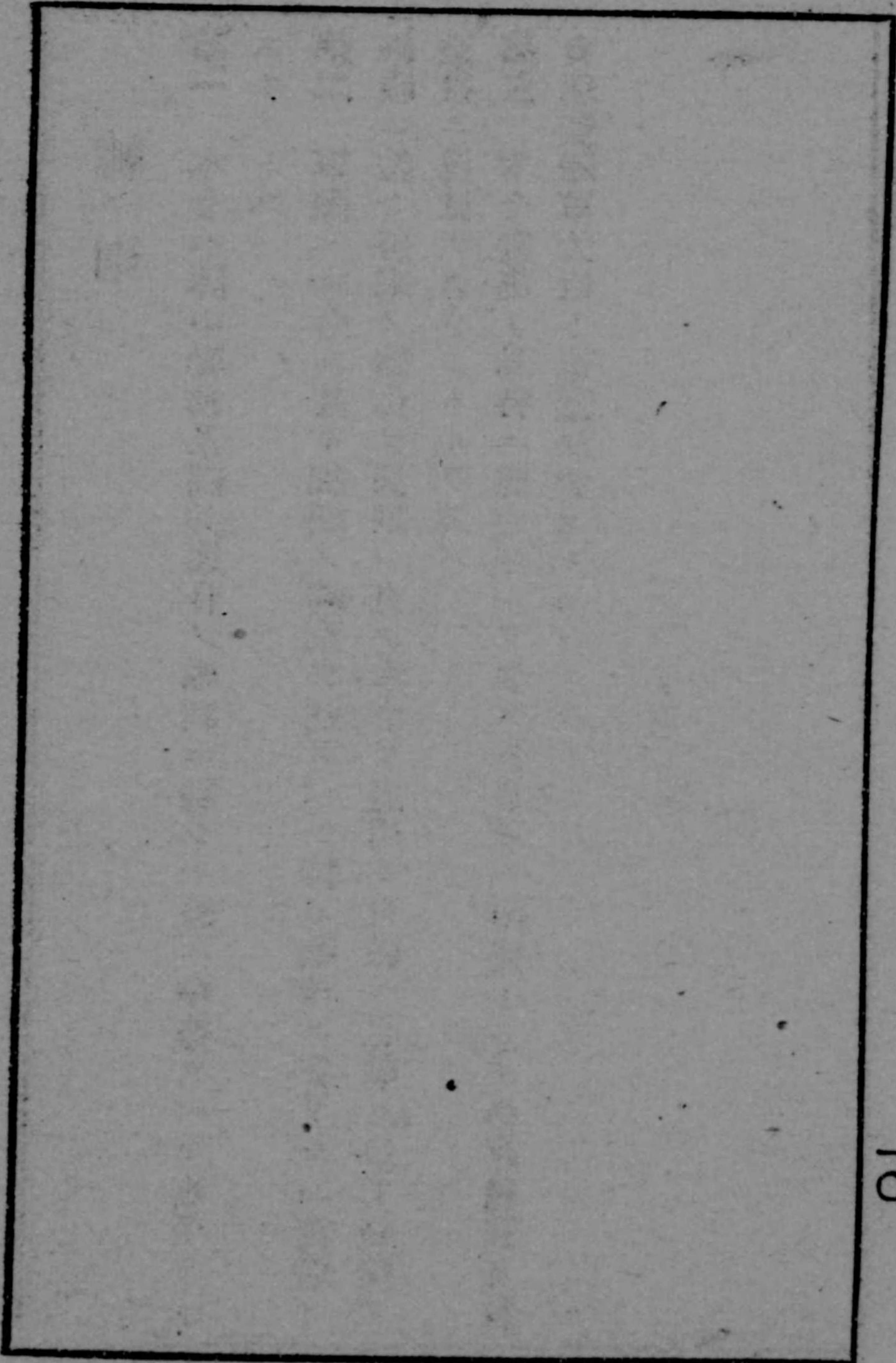
第十一 戰鬥ニ於テハ百事簡單ニシテ且精練ナルモノ能ク成功ヲ期シ得ベシ典令ハ此ノ趣旨ニ基キ軍隊訓練上主要ナル原則、法則及制式ヲ示スモノニシテ之ガ運用ノ妙

ハ一ニ其ノ人ニ存ス固ヨリ妄リニ典則ニ乖クベカラズ又之ニ拘泥シテ實效ヲ誤ルベカラズ宜シク工夫ヲ積ミ創意ニ勉メ以テ千差萬別ノ狀況ニ處シ之ヲ活用スベシ



總則

- 第一 本令ハ陣中勤務及諸兵連合ノ戰闘ニ關シ一般ニ準據スベキ事項ヲ示スモノトス
- 第二 軍隊ハ本令ニ基キ訓練ノ精到ヲ期スベシ特ニ戰時ニ在リテハ實戰ノ經驗ニ鑑ミ將來ノ變化ヲ洞察シ克ク本令ヲ活用シ且教ヘ且戰ヒ以テ戰捷ノ獲得ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス
- 第三 本令實施ノ爲特ニ規定スルヲ要スル事項ハ附録トシテ參謀總長及教育總監陸軍大臣ト協議決定スルモノトス

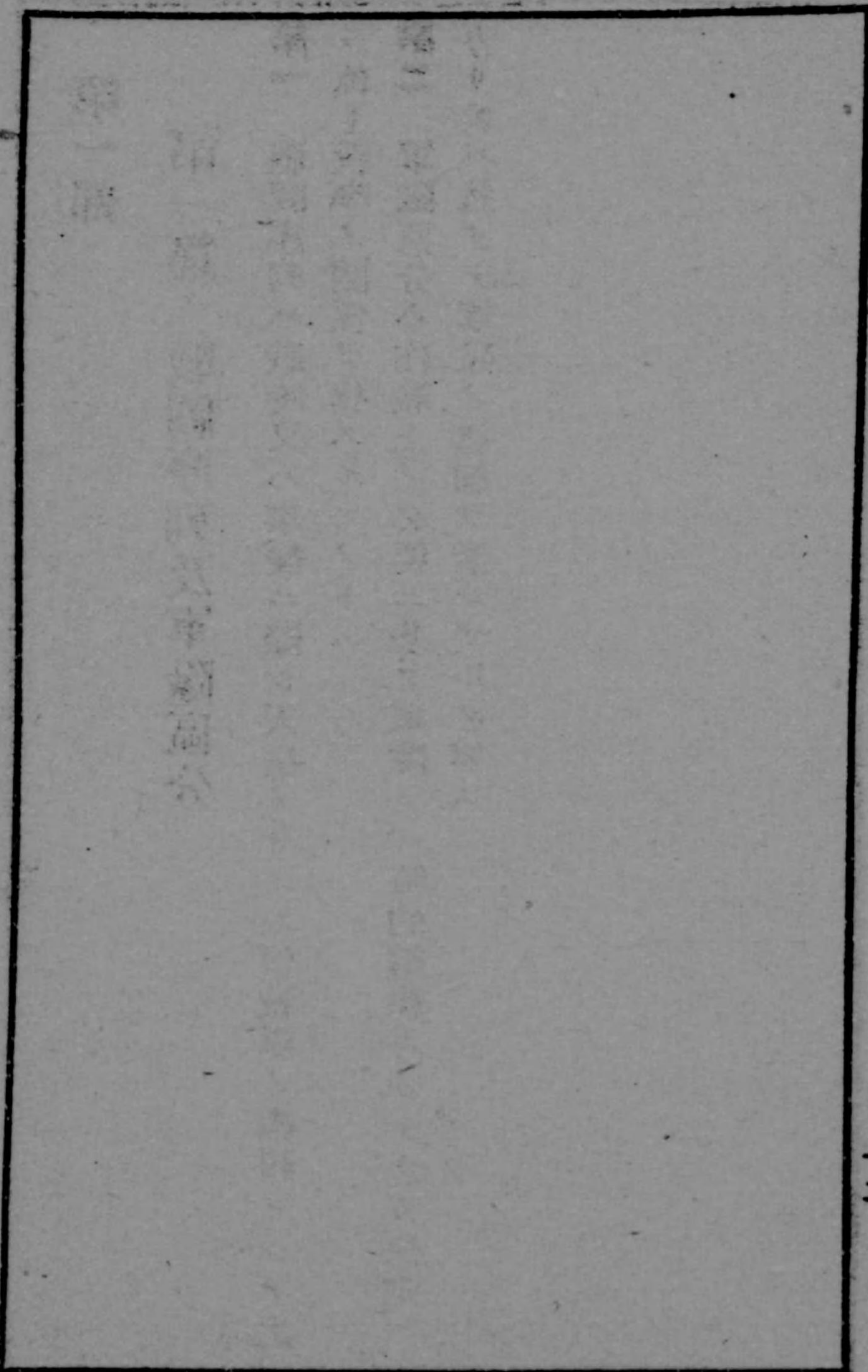


第一部

第一篇 戰鬥序列及軍隊區分

第一 戰鬥序列ハ戰時又ハ事變ニ際シ天皇ノ令スル作戰軍ノ編組ニシテ之ニ依リ統率ノ關係ヲ律スルモノトス

第二 軍隊區分ハ作戰上ノ必要ニ基ク軍隊ノ一時的編組ニシテ之ガ決定ニ方リテハ勉メテ軍隊ノ建制ヲ紊サザルヲ要ス



第二篇 指揮及連絡

通則

- 第三 軍隊ノ指揮ハ統帥ノ大權ニ根源ス各級指揮官ハ嚴肅ニ之ヲ承行シ以テ各、其ノ負托ノ重キニ任ゼザルベカラズ
- 第四 軍隊ノ指揮ハ嚴正ナル軍紀ニ依リ始メテ全キヲ得ベシ故ニ各級指揮官ハ時ト所トヲ論ゼズ身ヲ以テ軍紀ヲ振作スルヲ要ス
- 第五 指揮ノ要訣ハ部下軍隊ヲ確實ニ掌握シ明確ナル企圖ノ下ニ適時適切ナル命令ヲ與ヘテ其ノ行動ヲ律スルト共ニ部下指揮官ニ對シ大イニ獨斷活用ノ餘地ヲ與フルニ在リ
- 第六 指揮ノ基礎ヲ成スモノハ實ニ指揮官ノ決心ナリ故ニ指揮官ノ決心ハ堅確ニシテ常ニ鞏固ナル意志ヲ以テ之ヲ遂行セザルベカラズ決心動搖スレバ指揮自ラ錯亂シ部下從ヒテ遲疑ス

第七 指揮官決心ヲ爲スニ方リテハ常ニ敵ニ對シ主動ノ地位ニ立チテ動作ノ自由ヲ獲得スルニ勉メ特ニ敵ノ意表ニ出ヅルコト極メテ緊要ナリ若シ一度受動ノ地位ニ陥ランカ終始敵ノ動作ニ追隨シ遂ニ失敗ニ終ルモノトス

第八 指揮官ハ其ノ指揮ヲ適切ナラシムル爲絶エズ狀況ヲ判斷シアルヲ要ス

狀況判斷ハ任務ヲ基礎トシ我が軍ノ狀態、敵情、地形、氣象等各種ノ資料ヲ收集較量シ積極的ニ我が任務ヲ達成スベキ方策ヲ定ムベキモノトス

敵情就中其ノ企圖ハ多クノ場合不明ナルベシト雖モ既得ノ敵情ノ外國民性、編制、裝備、戰法、指揮官ノ性格等其ノ特性及當時ニ於ケル作戰能力等ニ鑑ミ敵トシテ爲シ得ベキ行動特ニ我が方策ニ重大ナル影響ヲ及スベキ行動ヲ攻究推定セバ我が方策ノ遂行ニ大ナル過誤ナキヲ得ベシ

第九 指揮官ハ狀況判斷ニ基キ適時決心ヲ爲サザルベカラズ而シテ決心ハ戰機ヲ明察シ周到ナル思慮ト迅速ナル決斷トヲ以テ之ヲ定ムベキモノニシ

テ常ニ任務ヲ基礎トシ地形及氣象ノ不利、敵情ノ不明等ニ依リ躊躇スベキモノニアラズ

一度定メタル決心ハ妄リニ之ヲ變更スベカラズ然レドモ狀況ノ變化ニ對應スルノ途ヲ誤ルコトナキヲ要ス

第十 指揮官ハ決心ニ基キ適時適切ナル命令ヲ發ス

命令ハ發令者ノ意志及受令者ノ任務ヲ明確適切ニ示シ且受令者ノ性質ト識量トニ適應セシムルヲ要ス而シテ受令者ノ自ラ處斷シ得ル事項ハ妄リニ之ヲ拘束スベカラズ又命令ハ受令者ニ到達スル迄ノ狀況ノ變化ニ適應スルモノナリヤ否ヤヲ考察スルコト必要ナリ

第十一 命令ニハ理由若クハ應測ニ係ルコトヲ示スベカラズ而シテ種々未然ノ形勢ヲ舉ゲテ一々之ニ對スル處置ヲ定ムルガ如キハ之ヲ避クルヲ要ス又下達セル命令ノ外妄リニ指示ヲ與フベカラズ

第十二 命令ノ受領ヨリ之ガ實行迄ニ狀況ノ變化測リ難キトキ又ハ發令者

狀況ヲ豫察スルコト能ハズ受令者ヲシテ現況ニ應ジ適宜處置セシメントスルガ如キトキノ命令ニ在リテハ全般ノ企圖及受令者ノ達成スベキ目的ヲ明示スルノ外細事ニ互リ其ノ行動ヲ拘束セザルヲ要ス然レドモ受令者ノ識量ニ應ジ或ハ狀況ニ依リ行動ノ準據トナルベキ大綱ヲ示スヲ可トスルコトアリ

第十三 命令ハ之ヲ下達スルモ適時確實ニ受令者ニ到達セザルコトアルノミナラズ縦ヒ到達スルモ意圖ノ如ク實行セラレザルコトアリ故ニ發令者ハ命令ノ傳達及實行ヲ確認スルノ手段ヲ講ジ又受令者ハ常ニ實行ニ關シ報告スルノ著意ヲ必要トス

第十四 各級指揮官ハ相互ノ意志ヲ疏通シ彼此ノ狀況ヲ明カニシ以テ指揮及協同動作ヲ適切ナラシムル爲適時必要ナル連絡ヲ爲サザルベカラズ而シテ連絡ヲ完全ナラシムルノ基礎ハ進ンデ連絡ヲ保持セントスル精神ト連絡ニ關スル適切ナル部署トニ存スルモノトス

第十五 各級指揮官ハ得タル諸情報ヲ自己ノ狀態及爾後ノ企圖ト共ニ適時且積極的ニ上級指揮官ニ報告シ進ンデ其ノ掌握下ニ入ルノ外此等諸情報ヲ部下諸隊竝ニ隣接及協同スル部隊ニ通報スルコト緊要ナリ戰鬪間ニ於テ特ニ然リ而シテ狀況變化ナキカ或ハ不明ナルカ等ヲ報告、通報スルモ亦價値大ナルコトアリ如何ナル場合ニ於テモ狀況ヲ悲觀シ或ハ敵情ヲ過大視シ或ハ戰鬪ノ成果ヲ誇張スルガ如キ報告、通報ハ嚴ニ之ヲ戒ムルヲ要ス

第十六 指揮官ノ位置ハ軍隊ノ指揮ニ重大ナル影響ヲ及スモノニシテ軍隊ノ志氣ヲ左右スルコト大ナリ故ニ部下ノ指揮ニ便ニシテ成ルベク連絡容易ナルト共ニ其ノ威徳ヲ軍隊ニ及シ得ルコトヲ考慮シ之ヲ選定スルコト緊要ナリ

司令部及本部ノ位置ハ傳令等ノ誘導ニ便ナラシムル爲所要ノ處置ヲ講ズルコト必要ナリ
司令部及本部ハ敵眼ニ對シ遮蔽ノ處置ヲ講ズルト共ニ常ニ直接警戒ヲ行ヒ

又敵ノ間諜ニ對スル警戒ヲ嚴ナラシムルヲ要ス

第十七 指揮ノ系統ヲ異ニセル部隊同一目的ニ向ヒ行動スル場合ニ於テ之ヲ一指揮下ニ統一セシムベキヤ或ハ相互ノ協同連繫ニ委スベキヤハ狀況ニ依ルモ戰闘ニ方リテハ一指揮下ニ統一セシムルヲ通常トス何レノ場合ニ於テモ上級指揮官之ヲ明示スルヲ要ス

前項ノ部隊期セズシテ同一地ニ在リテ戰闘スル場合ニ於テハ其ノ地ニ在ル高級先任ノ指揮官其ノ指揮ヲ執ルモノトス

第十八 軍機保護ハ作戰ノ遂行ニ重大ナル關係ヲ有ス故ニ將校以下之ニ關スル諸規定ヲ嚴守シ常ニ言動ヲ慎ミ深ク住民ノ動靜ニ注意シ不慮ノ間軍機ヲ漏洩セザルコトニ關シ遺憾ナキヲ要ス

第一章 命令

第十九 作戰命令ハ軍隊ノ作戰行動ヲ規定スルモノニシテ各團隊ノ稱號ヲ

冠シ某師團命令、或ハ軍隊區分ニ依リ成立セル部隊等ノ名稱ヲ冠ス前衛命令、某聯隊命令等等

第二十 日々命令ハ軍隊ノ内務、人事、人馬ノ補充、戰場掃除、俘虜ノ取扱、諸勤務等ノ中作戰ニ直接關係ナキ事項ヲ規定スルモノニシテ團隊ノ稱號等ヲ冠ス某師團日々命令、某支隊日々命令等

第二十一 作戰命令ニ記述スベキ事項ハ狀況ニ依リ差異アルモ其ノ記載順序概ネ左ノ如シ

敵軍及友軍ノ狀況但シ受令者ニ必要ナルモノニ限ル
指揮官ノ企圖

軍隊區分及各部隊ノ任務

飛行、防空、連絡、瓦斯防護、氣象、衛生、行李、輜重、交通等ニ關シ
一般部隊ニ必要ナル事項
發令者ノ位置要スレバ其ノ行動、連絡ノ方法、報告送達ノ場所等

第二十二 飛行、防空、連絡、瓦斯防護、氣象、衛生、行李、輜重、交通等ニ關スル各部隊ノ任務及此等ニ關シ一般部隊ニ必要ナル事項ニ就テハ別ニ之ヲ命令シテ命令一般ノ下達ヲ迅速ナラシムルヲ可トスルコトアリ

各部隊任務ノ細部事項ハ作戰ニ關スル一般ノ命令ノ外要スレバ所要ノ部隊ニ對シ別ニ之ヲ命令スルモノトス

祕密保持ノ爲一部ノ部隊ニハ作戰ニ關スル一般ノ命令ヲ與フルコトナク別ニ該部隊ノ爲必要ナル事項ノミヲ命令シ又一般ノ命令ニ於テモ該命令中ノ日時ヲ省キ必要ノ時機ニ之ヲ示スヲ可トスルコトアリ

第二十三 軍隊區分ハ之ヲ別紙又ハ命令文ノ上欄ニ記載シ若クハ命令文中ニ記述ス而シテ各部隊ハ概ネ歩兵、戰車、騎兵、砲兵、工兵、航空兵、通信部隊、衛生部隊、輜重等ノ順序ニ列記シ指揮官ノ指示ヲ要スルトキハ之ヲ部隊號ノ前ニ掲グルモノトス

軍隊區分ト共ニ本隊ノ行軍序列(梯團區分)ヲ規定セントスルトキハ軍隊區

分中本隊ノ標題下ニ同行軍序列(同梯團區分)ト附記シ之ニ括弧ヲ加ヘ其ノ序列(區分)ニ從ヒ部隊號ヲ列記ス

第二十四 命令ハ各級指揮官之ヲ作爲シ其ノ目的ニ適スル如ク必要ノ事項ノミヲ示スモノトス然レドモ極メテ急速ヲ要スルガ如キ例外ノ場合ニ於テハ上級指揮官ノ命令ニ必要ナル事項ヲ附加シテ之ヲ部下ニ下達スルコトアリ

全般ノ行動ヲ規定セル師團命令ノ如キハ一般ノ狀況ヲ知得セシムル爲其ノ全文ヲ所要ノ部隊ニ配布スルヲ可トスルコトアリ此ノ際各部隊ハ祕密保持上特別ノ注意ヲ必要トス

第二十五 重要ナル命令ノ筆記ハ將校自ラ之ニ當リ又其ノ印刷ハ將校ノ監視下ニ於テシ誤刷紙及原紙ノ燒却、原稿ノ保管等ヲ確實ニシ以テ祕密ノ漏洩ヲ防グヲ要ス

命令ニハ其ノ配布區分及下達法ヲ記載シ又其ノ控ニハ下達若クハ傳達終了

時刻ヲ附記スルモノトス

第二十六 命令ハ其ノ内容及當時ノ狀況ニ應ジ下達法ヲ適切ナラシメ以テ機ヲ失セズ受令者ニ到達セシムルコト緊要ナリ

各部隊ニ合同命令ヲ與フベキヤ其ノ一部若クハ全部ニ各別命令ヲ與フベキヤハ當時ノ狀況ニ依ル而シテ合同命令ハ全般ノ狀況ヲ知ラシメ且各部隊ノ協同動作ヲ律スルニ便ナルヲ以テ狀況之ヲ許セバ命令ノ下達ハ之ニ依ルヲ可トス

各別命令ト雖モ常ニ關係部隊ノ協同動作ニ必要ナル事項ヲ具備セシムルヲ要ス各別命令ヲ下シタル場合ニ於テハ之ニ續キ一般ノ狀況ヲ知ルニ便ナラシムルノ手段ヲ講ズルヲ可トス

第二十七 命令ノ下達ニ長時間ヲ要シ且此ノ間受令者ヲシテ行動ヲ開始セシムルカ若クハ速カニ軍隊ヲシテ所要ノ位置ニ就カシムルヲ利トスル場合等ニ於テハ先ヅ其ノ要旨ノミヲ下達シ後完全ナル命令ヲ附與スルモノトス

狀況急ヲ要シ取敢ズ軍隊ヲシテ所要ノ行動ニ就カシメントスル場合ニ於テハ機ヲ失セズ之ガ準備又ハ行動開始等ニ關シ所要ノ事項ヲ命令シ爾後更ニ必要ナル命令ヲ附與スルヲ可トス

第二十八 命令ハ必要ナル指揮官ニ直接下達スルヲ最モ確實ナリトス然レドモ交戰中或ハ運動中ニ在ル部隊ノ指揮官ヲ遠隔セル地點ニ招致シテ命令ヲ與フルガ如キハ之ヲ避クルヲ要ス

第二十九 斥候、飛行機搭乗者、最前線ノ部隊等ニ與フル命令等ニシテ敵手ニ入ルノ虞アルモノハ單ニ口達ニ止ムルカ或ハ我が目的、行動等ニ關スル事項ノ筆記ヲ避ケシムルカ若クハ受令者了解スルト同時ニ之ヲ焼却セシムルモノトス

我方軍ノ行動、配備等ニ關スル命令其ノ他我方軍ノ企圖ヲ判斷セラルル虞アル事項ハ受令者ヲシテ妄リニ地圖等ニ記載若クハ描畫セシムベカラズ命令ノ下達ニ際シテハ必要以外ノ者ヲ遠ザケ又常ニ敵ノ間諜等ニ對スル警

戒ヲ嚴ナラシムルヲ要ス

第二章 報告及通報

第三十 報告及通報ハ受信者ノ判斷ニ便ナラシムル爲其ノ出所ヲ明カニシ特ニ推測ニ係ルモノハ其ノ理由ヲ明示スルヲ要ス

敵ニ關スル報告及通報ニハ日時、場所、兵種、員數、動作等（飛行機ニ在リテハ機種、機數、高度、飛行方向等）ヲ包含セシムルコト緊要ナリ
部下ヨリノ報告ヲ更ニ上級指揮官ニ報告スルニハ原報告發送ノ日時、地點及発信者ヲ明カナラシメ若シ原報告ヲ轉送スルトキハ自ラ點檢セシ日時ヲ記入シ署名スルモノトス

自己部隊ノ狀況ヲ報告又ハ通報スルニ方リ自己ノ下シタル命令ヲ利用スルヲ便トスルコトアリ此ノ場合ニ於テハ特ニ秘密保持ノ注意ヲ必要トス

第三十一 他部隊ノ近傍ニ新ニ到着シタル部隊ハ速カニ其ノ旨ヲ該部隊ニ

通報スルモノトス交戰中ノ部隊ニ近接セシ際ニ於テ特ニ然リ而シテ此ノ通報ニ接シタル部隊ハ新到着部隊ニ現時ノ狀況ヲ通報スルノ義務ヲ有ス

第三十二 一部ノ戰鬪局ヲ結ブヤ當面ノ各部隊長ハ機ヲ失スルコトナク又當日其ノ局ヲ結ブニ至ラザルトキハ日没後速カニ戰鬪要報ヲ提出スベシ
戰鬪要報ハ上級指揮官ヲシテ爾後ノ戰鬪若クハ戰鬪直後ノ指揮ヲ適切ナラシムルヲ目的トシ部隊ノ大小ト狀況トニ應ジ概ネ左記事項中必要ナルモノノミヲ報告スルモノトス但シ既ニ報告セル事項ハ特ニ重要ナルモノノ外重ネテ報告スルニ及バザルモノトス

戰鬪經過ノ概要、現時ニ於ケル彼我ノ態勢、敵情判斷及之ニ對スル自己ノ企圖爲シ得レバ此等ノ要圖ヲ添付ス

敵ノ兵力、團隊號、特異ナル裝備及戰法
彼我損害ノ概數

殘餘ノ彈藥、燃料其ノ他主要ナル資材要スレバ此等ノ消費量ノ概數等

戦闘要報ハ機ヲ失セズ提出スルコト緊要ナリ故ニ報告事項ノ完備ニ拘泥スルコトナク又部下諸隊ノ報告ヲ待ツコトナク速カニ先ヅ緊要ナル事項ヲ報告シ後逐次之ヲ補修スルモノトス此ノ際所要ノ事項ヲ記入セル要圖ニ依ルヲ可トスルコトアリ

第三十三 歩兵、砲兵及航空兵ハ大(戰)隊(大隊又ハ戰隊ヲ成サザルモノニ在リテハ中隊若クハ之ニ準ズル部隊)以上、其ノ他ノ兵種ハ中隊以上ノ各部隊(獨立シテ戦闘セル場合ニ於テハ小隊又ハ之ニ準ズル部隊ニ至ル迄)毎ニ戦闘後戦闘詳報ヲ調製シ一通ヲ各、其ノ固有ノ直屬上級指揮官及軍隊區分ニ依ル直屬上級指揮官ニ提出スルモノトス

戦闘詳報ノ目的ハ高級指揮官ヲシテ爾後ノ作戰ヲ適切ニ指導スル爲必要ナル資料ヲ收領セシメ且將來ニ於ケル戦闘ノ參考ト爲サンガ爲廣ク實戰ニ於ケル經驗ヲ輯録スルニ在リ故ニ真相ヲ具體的ニ記述シ且提出迅速ナルニ從ヒ其ノ價值愈、大ナルモノトス

各級指揮官ハ速カニ先ヅ自己ノ戦闘詳報ヲ提出シ部下諸隊ノモノハ到着ニ從ヒ之ヲ提出スベシ此等ハ後日順序ヲ經テ大本營ニ進達セラルルモノトス

第三十四 戦闘詳報ハ通常時刻ヲ逐ヒテ必要ノ事項ヲ列記シ且勉メテ其ノ由ツテ來ル所以ヲ明カニシ戦闘ノ地域廣大ナルモノニ在リテハ所要ニ應ジ各地区毎ニ區分記載シ又各時期ニ於ケル彼我ノ位置ヲ明カニセル要圖爲シ得レバ寫眞、寫景圖ヲ添附スルモノトス

戦闘詳報ニ記載スベキ事項ハ兵種、部隊ノ大小等ニ依リ異ナルモ大部隊ヨリ提出スルモノニ包含セシムベキ事項ヲ例示スレバ左ノ如シ

戦闘前ニ於ケル彼我形勢ノ概要

戦闘ニ影響ヲ及シタル氣象日出(没)時刻、夜間地形及住民地ノ状態

彼我ノ兵力、交戦セシ敵ノ部隊號、將帥ノ氏名、編制、裝備、素質、戰

法要スレバ敵ノ瓦斯ノ種類及用法並ニ我方防護資材ノ效果

各時期ニ於ケル戦闘經過攻撃部署若クハ陣地占領、其ノ主關係部隊ノ動作

及連絡施設ノ状態

戦闘後ニ於ケル彼我形勢ノ概要

齟齬、過失其ノ他將來ノ參考トナルベキ事項等

受領セル命令、報告、通報ニシテ戦闘ニ影響ヲ與ヘタルモノハ其ノ要旨ヲ本文中ニ記載スルカ若クハ其ノ寫ヲ附録トシテ結尾ニ添附ス此ノ際受信日時及地點ヲ記載シ置クコト緊要ナリ

死傷表、鹵獲表及兵器、燃料、瓦斯防護資材等ノ損耗表ハ戦闘詳報附表トシテ之ヲ提出シ又氣球及飛行部隊ハ戦闘詳報附録トシテ昇騰記録又ハ飛行記録ヲ添附スルモノトス

各人、各隊ノ武功ニシテ特ニ拔群ナルモノハ記事ノ結尾ニ附記スルモノトス

第三章 連絡

第一節 連絡施設

第三十五 高級指揮官ハ連絡ノ實施ヲ確實且圓滑ナラシムル爲適時連絡規定ヲ定ムルモノトス

連絡規定ニハ左記事項中必要ノ件ヲ包含セシムルモノトス
連絡擔任區分

通信實施上必要ナル統制事項即チ電報發信權ノ附與又ハ制限、取扱電報ノ制限、通話權ノ附與、通話時間ノ制限、周波數ノ規正及配當、呼出符號ノ配當、通信特ニ無線通信ノ制限若クハ禁止

暗號其ノ他通信秘匿ニ關スル事項

略號、信號、記號、標旗、標識等ニ關シ特ニ統制スベキ事項

通信施設ノ掩護及在來連絡施設ノ利用ニ關スル事項

空地連絡ニ關スル事項

警報 非常警報、瓦斯警報、
飛行機警報ニ区分ス、ニ關スル事項
時報及氣象報ニ關スル事項
其ノ他永續的ニ規定スベキ事項等

各級指揮官ハ上級指揮官ノ規定ニ基キ前項ニ準ジ所要ノ事項ヲ規定ス

第三十六 連絡施設ハ指揮官ノ企圖ニ基キ狀況特ニ軍隊ノ配置及爾後ニ於ケル作戰ノ推移ヲ考慮シ緊要ナル方面及時期ニ於テ完全ヲ期シ得ル如クシ其ノ他ニ在リテハ最小限度ニ止ムルモノトス而シテ緊要ナル連絡施設ニ在リテハ常ニ副手段ヲ準備シ連絡ノ中絶ヲ豫防スルヲ要ス

指揮官ハ所望ノ如ク連絡施設ヲ完成セシムル爲之ニ要スル時間ヲ考慮シ機ヲ失セズ連絡機關ニ所要ノ憑據ヲ與フルコト緊要ナリ

第三十七 連絡施設ハ之ヲ統一シテ整然タル系統ヲ確立シ巧ニ之ヲ運用シテ其ノ最大能力ヲ發揮セシムルコト緊要ナリ之ガ爲高級指揮官ハ通常連絡中樞及連絡幹線ヲ定メ又上級指揮官ハ要スレバ部下指揮官ノ行フベキ連絡

施設ノ擔任ヲ示シ所要ニ應ジ連絡系統圖(表)ヲ作製シテ連絡ノ系統、時期、手段等ヲ明カナラシメ作戰ノ推移ニ伴ヒ之ヲ補修スルモノトス

第三十八 指揮官ハ自己ノ位置、行動及之ニ伴フ連絡ニ關シ豫メ關係指揮官ニ報告、通報シ通信機關ニ命令又ハ通報シ要スレバ關係通信所(作業頭)ヲ誘導シ以テ常ニ連絡ヲ確保スルコトニ勉ムルヲ要ス狀況ニ依リ部下指揮官ノ位置又ハ進路等ヲ指定スルヲ可トスルコトアリ

指揮官其ノ位置ヲ變更スルニ方リテハ新位置ニ於ケル連絡施設ヲ整ヘタル後ニ於テスルヲ可トス又舊位置ニ必要ノ人員、器材ヲ殘置シ爾後ノ連絡ヲ確保スルヲ要スルコトアリ

第三十九 連絡ノ施設ニ方リテハ成ルベク人員、器材ノ節約ヲ圖リ且戰況ノ推移ニ應ズル爲常ニ若干ノ豫備ヲ控置シ又不要ニ歸シタル施設ハ適時之ヲ撤收スルコト必要ナリ

第四十 飛行機ハ他ノ連絡施設整ハザル場合ニ於テモ迅速有效ニ連絡ノ

目的ヲ達成シ得ルコト多キヲ以テ常ニ其ノ用法特ニ飛行場（著陸場）ノ設定、之トノ通信施設、空地連絡法等ヲ適切ナラシムルコト緊要ナリ
空地連絡ニ方リテハ裝備ニ應ジ連絡事項ノ緩急及要度、爾後ニ於ケル任務達成ノ便否等ヲ考慮シテ其ノ手段ヲ決定スルモノトス

第四十一 空地連絡ハ其ノ特性ニ鑑ミ各種ノ連絡手段ヲ講ジ之ガ確保ヲ期スルト共ニ其ノ實施ニ方リテハ死節時ヲ減ズルコト緊要ナリ之ガ爲地上部隊ノ指揮官ハ自己ノ連絡機關ヲ使用シテ飛行機ト連絡スルノ外絶エズ上空ヲ監視シ友軍飛行機ヲ識別シ其ノ記號ニ注意セシメ飛行機モ亦其ノ任務ニ應ジ地上部隊ノ狀況ヲ審カニシ置クヲ要ス此ノ際飛行機ノ行動ニ依リ司令部ノ位置ヲ察知セラレザルノ注意ヲ必要トス

第四十二 各司令部（本部）相互間ニ於ケル連絡ヲ圓滑適切ナラシムル爲所要ニ應ジ連絡將校ヲ派遣スルモノトス
連絡將校ハ絶エズ所屬部隊ノ現況、爾後ノ行動等ヲ知悉シ必要ニ應ジ先方

部隊ノ要求、爾後ノ企圖、該方面ニ於ケル必要ナル狀況等ヲ適時報告スルモノトス

第四十三 司令部（本部）ニハ命令、報告、通報傳達ノ爲所要ノ傳達機關ヲ準備シ且豫メ其ノ用途ヲ考慮シ置クコト必要ナリ

作戰上必要アル場合ニ於テハ命令傳達ヲ容易ナラシムル爲下級部隊ノ命令受領者ヲ一時司令部（本部）ニ招致シ置クコトヲ得

第四十四 命令、報告、通報傳達ノ爲狀況ニ依リ乘馬、自轉車若クハ徒步ノ傳令等ヲ以テ遞傳哨ヲ設クルコトアリ

第四十五 傳令ノ速度ハ地形、距離、氣象、季節、明暗ノ度等ニ依リ異ナルモ晝間ニ於ケル標準左ノ如シ

乘馬傳令

並	一時間約八杆	約三分ノ一ノ歩度即チ
	常歩二	速歩一ノ割合
急	一時間約十杆	約三分ノ二ノ歩度即チ
	常歩一	速歩二ノ割合

至急 馬力ノ堪フルニ應ジ成ルベク迅速ナル速度
徒歩傳令

並 一時間約五軒概ネ
速歩

急 一時間約六軒速歩ト駈歩
トノ混用

至急 體力ノ堪フルニ應ジ成ルベク迅速ナル速度

自轉車及自動車ノ速度ハ適宜之ヲ定ムルカ若クハ到著時刻ヲ以テ規正スル
ヲ可トス

第四十六 夜間又ハ地形錯雜等ノ爲關係部隊ノ位置容易ニ判明シ難キ處ア
ル場合ニ於テハ豫メ所要ノ偵察ヲ行ヒ要スレバ道標其ノ他適宜ノ標識ヲ設
ケ且之ニ使用スル傳令ヲ豫定シ置クヲ可トス

第四十七 高等司令部ニ於テハ情報ノ收集及傳達ニ便ナラシムル爲交通路
ノ要點ニシテ成ルベク空地連絡ニ便ナル場所ニ情報所ヲ設クルコトアリ
情報所ハ常ニ掩護ノ處置ヲ講ジ又所屬司令部トノ間ニハ連絡施設ヲ完備シ

且適時其ノ位置ヲ各部隊ニ通報シ所要ノ標示ヲ行フモノトス

情報所ニハ一般ノ狀況ニ通曉セル將校ヲ派遣ス而シテ該將校ハ到著セル情
報ヲ點檢シ其ノ要度及緩急ヲ較量シテ轉送ノ順序及方法ヲ決定スルモノト
ス

第四十八 軍隊ハ通信部隊ノ作業實施、宿營、給養等ニ關シ便宜ヲ與ヘ友
軍通信施設ヲ愛護シ又通信施設ノ警戒及掩護、電報配達業務等ニ關シ通信
部隊ヨリ援助ノ請求アルトキハ狀況ノ許ス限リ之ニ應ズベキモノトス

第二節 連絡實施

第四十九 命令、報告、通報ノ傳達ハ指揮ノ系統ヲ逐ヒテ之ヲ行フモノト
ス然レドモ事急ナル場合ニ於テハ此ノ順序ニ依ルコトナク直接所要ノ部隊
ニ傳達スルヲ通常トス此ノ際省略セル中間部隊ニハ速カニ別報シ同時ニ上
級(下級)ノ部隊ニハ既ニ傳達セシコトヲ知ラシムルヲ要ス

指揮ノ系統ヲ有セザル部隊間ニ於ケル通報ノ傳達ハ協同動作上直接關係ヲ有スル部隊ニ向ヒ相互ニ之ヲ實施スルヲ通常トスルモ危險ノ迫レル部隊ニ對シテハ連絡系統ノ如何ニ拘ラズ速カニ通報スルモノトス

隣接部隊間ニ於ケル連絡ハ通常右ヨリ左ニ行フモノトス狀況ニ依リ上級指揮官之ヲ指示スルコトアリ若シ兩者間ニ連絡施設ノ暇ナキトキハ直上ノ司令部又ハ本部ヲ經由シテ連絡スルヲ通常トス

同一ノ命令、報告、通報ヲ同時ニ諸方面ニ傳達スル場合ニ於テハ此ノ旨ヲ併セ傳ヘ以テ各部隊ヲシテ傳達ノ重複ヲ避ケシムルコト緊要ナリ

第五十 各級指揮官ハ各種連絡機關ノ性能ニ精通シ且常ニ連絡施設ノ状態ヲ明カニシ連絡手段ノ選擇ヲ適切ナラシムルヲ要ス而シテ電氣的通信ハ不通若クハ誤達ノ虞アルヲ以テ特ニ重要ナル事項ハ別ニ筆記又ハ印刷シテ送達スルコト必要ナリ又飛行機ヲ使用スルニ方リテハ之ガ濫用ヲ戒ムルト共ニ副手段ヲ講ズルノ著意ヲ必要トス

第五十一 電話通信ニ方リテハ勉メテ責任者相互直接ニ通話スルヲ要ス電話通信ノ爲要スレバ通話者ヲ制限シテ通信ノ濫用ヲ戒メ又祕密事項ヲ通話スル場合ニ於テハ主任者以外ノ者ヲ遠ザクル等其ノ漏洩ヲ豫防スルノ注意ヲ必要トス

第五十二 電話ヲ以テ命令、報告、通報ヲ傳達スル場合受話者ハ必ズ之ヲ復唱シ又筆記電話ニ在リテハ一句毎ニ復唱シツツ之ヲ筆記シ後更ニ其ノ全文ヲ復唱シ且傳達者ノ氏名及受信日時ヲ附記シ又傳達者ハ受話者ノ氏名及送信日時ヲ附記シ置クモノトス

視號若クハ口頭ニ依リ重要ナル命令、報告、通報ヲ傳達スル場合ニ於テモ亦前項ニ準ズ

第五十三 傳令ヲ以テ命令、報告、通報ヲ傳達スルニ方リ其ノ内容特ニ重要ナルカ或ハ其ノ途中安全ナラザルトキハ數使ヲシテ異ナル經路ヲ取ラシムルカ或ハ所要ノ人員ヲ同行セシメ爲シ得レバ適任ノ將校ヲシテ之ヲ傳達

セシムルヲ可トス

第五十四 傳令ニ示スベキ事項概ネ左ノ如シ
受信者及其ノ所在地

經路

速度若クハ步度要スレバ到著時刻

傳達後ノ處置

其ノ他必要ノ注意

前項ノ外敵ニ關シ顧慮スベキ事項ヲ指示シ經路ノ要圖若クハ之ヲ記入シタル地圖ヲ與ヘ或ハ磁針ヲ携行セシムルヲ可トスルコトアリ

第五十五 發信者ハ傳令ニ文書ノ内容ヲ知ラシメ置クヲ可トスルコトアリ
途中敵ニ關スル顧慮ヨリ文書ノ破棄、燒却ヲ要スルノ虞アルトキ特ニ然リトススクノ如キ場合ニ於テハ文書ニ我ガ部隊號ヲ記載スベカラズ
報告及通報ハ途中他ノ司令部及軍隊ニ知ラシムルヲ適當トスルコトアリ此

ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ傳令ニ示シ傳令ハ途中所要ノ指揮官等ニ簡單ニ之ヲ告知スルモノトス

第五十六 傳令ノ任務ハ重要ナリ故ニ此ノ勤務ニ服スル者ハ全力ヲ盡クシ其ノ責任ヲ完ウスベシ

傳令ハ途中上官ニ遇フトキハ「傳令」ト呼ビ其ノ步度(速度)ヲ變ズルノ要ナシ又命令、報告、通報ヲ傳達スル爲下馬ヲ要セズ

傳令ハ要スレバ受信者ノ宛名ヲ呼ビテ其ノ所在ヲ索ムベシ此ノ際其ノ附近ニ在ル者ハ傳令ニ所要ノ告知ヲ爲スベキ義務アルモノトス

傳令途中ニ於テ事故ヲ生ジタルトキハ速カニ最寄部隊ニ交渉スルヲ要ス此ノ際各部隊ハ傳令ニ對シ爲シ得ル限り援助ヲ與フルヲ要ス

傳令ハ通過スル沿路ヲ良ク視察シ時々後方ニ面シテ地形ヲ記憶シ歸路ヲ誤ラザルノ注意ヲ必要トス

第五十七 傳令ハ敵ノ視目特ニ飛行機ニ注意シ自己ノ行動ニ依リ司令部、

本部等ノ位置ヲ偵知セラレザルコトニ注意スルヲ要ス然レドモ之ガ爲任務遂行ノ遅延ヲ許サズ

第五十八 傳令ハ歸途ニ就クニ方リ連絡ノ爲要務ナキヤヲ確メタル後出發シ又歸著後直チニ命ゼラレタル上官ニ報告スルモノトス
傳令口頭ヲ以テ命令、報告、通報ヲ傳達スル場合ニ於テハ出發前及歸著後其ノ事項ノ全部若クハ要旨ヲ復唱スルモノトス

第四章 文書記述ノ要則

第五十九 文書ノ記述ハ爲シ得ル限り簡明平易ナルヲ要ス電文ニ於テ特ニ然リトス而シテ其ノ長キモノハ適宜條ヲ分チ數字等ヲ附シテ列記シ又一事件ニ關係スルモノハ一條中ニ記載スルヲ可トス其ノ他字體ヲ明瞭ニシ光明不十分ナル場合ニ於テモ通讀シ得ベカラシメ又讀誤リ易キ文字ハ特ニ之ヲ明瞭ニ記載スルコト緊要ナリ

電文冗長ナルカ或ハ難解ノ語句ヲ使用スルトキハ遅延又ハ不通ノ素因ヲ爲スモノナルヲ銘心スルヲ要ス

第六十 命令、報告、通報ノ記述ニハ通信紙其ノ他適宜ノ用紙ヲ使用スルモノトス狀況ニ依リ横書ト爲スコトヲ得

通信紙ヲ使用セザル場合ニ於ケル命令ノ種類、番號、標題、發令時、發令地等ノ記述ハ左ノ要領ニ依ル

、命令、號

、、、命令 發令時
、、、發令地

一、、、、、、、、、、、(本文)

發令時ト稱スルハ命令ノ效力ヲ發生セシムベキ日時ヲ謂ヒ月日時分ヲ以テ之ヲ表ハスヲ通常トス

報告、通報ニ就テモ亦右ニ準ズ

第六十一 命令、報告、通報ニハ爲シ得レバ要圖、寫景圖、寫眞ヲ附シテ

煩雜ナル字句ヲ省キ或ハ其ノ意ヲ補足スルヲ可トス而シテ寫景圖及寫眞ニハ描寫(撮影)位置ノ關係其ノ他必要ノ事項ヲ明示スルヲ要ス

第六十二 要圖ハ其ノ目的ニ應ジ必要ノ事項ヲ簡明ニ描畫シ以テ時機ニ適應セシムルヲ要ス之ガ爲或ハ正測圖ニ近キ描畫ヲ爲シ或ハ梯尺ニ依ルコトナク距離及尺度ノ如キハ數字ヲ以テ註記スルニ止ムル等目的ニ依リ其ノ精粗ヲ定ムルモノトス

寫眞ハ其ノ利用ノ目的ニ應ジテ寫眞機及乾板ノ種類竝ニ梯尺、撮影ノ位置、時刻、方向等ヲ定ムルモノトス

透明紙ニ必要ナル配備及地圖上ノ標定ニ資スベキ基準ヲ記載透明圖ト稱スシ同一梯尺ノ地圖ト併用スルヲ便トスルコトアリ

第六十三 命令、報告、通報ニハ所要ニ應ジ暗號若クハ略號等ヲ使用シ又司令部及軍隊ヲ示ス爲軍隊符號若クハ明瞭ヲ缺カザル略語ヲ使用スルコトヲ得

第六十四 一部ヲ缺キ若クハ配屬シタル軍隊ヲ示スニハ第何隊欠(屬)或ハ幾隊欠(屬)ノ文字ヲ括弧内ニ記スルカ或ハ部隊號ノ次ニ缺如(配屬)部隊ト記シ其ノ側ニ缺如(配屬)セル部隊ヲ列記ス又缺如部隊ヲ示スコトナク司令部、本部及之ニ屬スル部隊ノミヲ記スルヲ可トスルコトアリ

編合部隊ヲ部隊號ニ依リ簡單ニ稱呼スル能ハザルトキ等ニ於テハ指揮官ノ氏若クハ地名ニ依リ命名スルヲ可トス

第六十五 右、左、前、後、此方、彼方等ノ語ハ明瞭ニシテ疑ナキ場合ニ於テノミ之ヲ使用スルモノトス

右側、左側、右翼、左翼、右側衛、左側衛、右縱隊、左縱隊等ノ語ハ敵ニ對スル方向ヲ、行軍縱隊ノ先頭、後尾ナル語ハ行進方向ヲ基準トシテ稱呼ス

河川ノ右岸、左岸ハ下流ニ面シテ之ヲ稱呼ス

一地區或ハ軍隊ノ位置ヲ單ニ左右ノ方向ニ從ヒ示スニハ我が軍ニ在リテハ

右翼ヨリ、敵軍ニ在リテハ其ノ左翼ヨリ始メ又縦方向ニ在リテハ我方方ヨリ逐次敵方ニ及ブヲ通常トス然レドモ著明ナル地點若クハ地物ヲ基準トシテ示スヲ可トスルコトアリ

座標ヲ以テ地點ヲ示スニハ直角座標又ハ極座標ニ依ル而シテ直角座標ニ依ルモノハ地圖ノ方眼番號ノ一位數タル千米ヲ單位トシテ横座標縱座標ノ順序ニ示ス例ヘバ小梯尺ノ地圖ヲ使用シ概略ノ位置ヲ示ス場合ニ於テハ横座標二萬三千四百米、縦座標五萬六千米ハ「X二三・四—Y五六・〇」又ハ「X23.4, Y56.0」ト記述シ大梯尺ノ地圖ヲ使用シ精密ニ位置ヲ示ス場合ニ於テハ横座標三千四百五十六米五〇、縦座標六千七十米ハ「X三・四五五—Y六・〇七〇〇」又ハ「X3.45565, Y6.0700」ト記述ス又極座標ニ依ルモノハ基準點方位角距離ノ順序ニ示ス例ヘバ三角標高八十三米ノ高地基準、方位角千二百密位、距離六百米ハ「△八三基準 1200^m」或ハ「△83基準 600^m」ト記

述ス

第六十六 日ヲ示スニハ何月何日若クハ明何日、昨何日等ト記述ス

時刻ヲ示スニハ二十四時間制ニ依ル而シテ之ヲ略記セントスルトキハ例ヘバ八時三十分ヲ〇八三〇又ハ0830、十二時ヨリ十五時ニ互ル間ヲ一二〇〇—一五〇〇又ハ1200—1500等ト爲スコトヲ得

全夜ニ互ル事件ニシテ夜ノ字ヲ用フルヲ要スルトキハ某日夜夜トハ當日薄暮ヨリ翌日拂曉迄ヲ稱ト記述ス

第六十七 地名ハ明瞭ニ記シ且地圖ト同文字ヲ用ヒ要スレバ使用地圖ヲ明示ス

一地方ニ於テ他ニ同一ノ地名アルトキ若クハ地名著名ナラザルトキハ例ヘバ北部何村或ハ何村(何村東北何村)等ト記述シテ之ヲ明瞭ナラシム
字或ハ俗稱ニシテ地圖ニ記載ナキモ之ヲ用フレバ其ノ地點明瞭ナルトキ又ハ地名實稱ト異ナル場合ニ於テモ必ず先ヅ地圖ニ記載シアルモノヲ記述シ

其ノ下ニ括弧ヲ附シテ字或ハ俗稱又ハ實稱何々ト記シ尙讀難キ地名ニハ振假名ヲ附スルヲ可トス

外國ノ地名及人名ハ漢字ヲ用フルモノニ在リテハ漢字ヲ以テ記載シ其ノ稱呼ハ我が國慣用ノ發音ニ依リ其ノ他ノモノニ在リテハ片假名ヲ以テ記載シ「」ヲ附スルヲ通常トシ必要ニ應ジ原語ヲ併記ス

道路及鐵道ハ疑ナキモノノ外ハ著名ナル二箇以上ノ地名ヲ以テ例ヘバ何村—何村—何町道ト記述ス地線ヲ示ス場合ニ於テモ亦之ニ準ズ

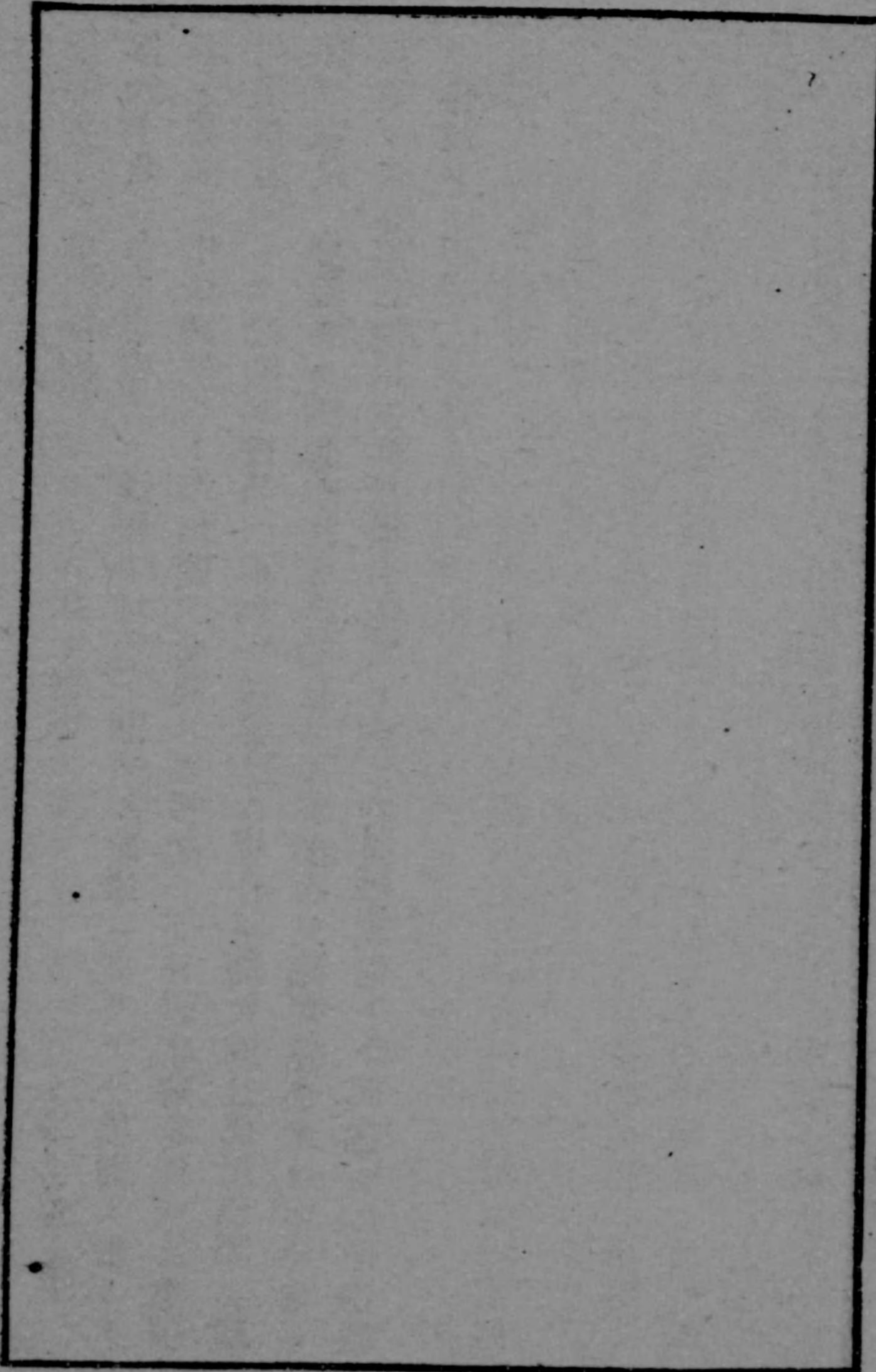
地域ハ地名、座標等ニ依リ通常時計ノ針ノ方向ニ其ノ外縁ヲ示ス

某地點又ハ道路等ニ依リ地區ヲ指示スルニ際シ之ヲ包含スルヤ否ヤヲ明示スル必要アルトキハ地名又ハ道路等ノ名稱ノ下ニ括弧ヲ附シテ(含ム)若クハ(含マズ)ト記述スルカ或ハ某地及其ノ附近若クハ某道路及其ノ以南等ト記述シテ之ヲ明瞭ナラシム

部落、高地、森林等ヲ指示スルニ方リ誤解ノ虞アルトキハ其ノ某點ナリヤ、

全部ナリヤ等ヲ明瞭ナラシムルコト緊要ナリ

第六十八 命令、報告、通報中地形ニ關スル記述ニ方リテハ地圖ニ依リテ其ノ名稱ヲ指示ス然レドモ地圖ヲ參照スルニアラザレバ了解シ得ザル事項ハ受信者同一ノ地圖ヲ携帯スルコト確實ナル場合ニ於テシ且使用地圖ノ種類、梯尺、製版又ハ測圖年月等ヲ明記スルヲ要ス又標高點ヲ示スニハ常に補足ノ語ヲ用ヒ例ヘバ何村西方向何杆ニ在ル三角標高何々ト記述シ以テ過誤ヲ豫防ス



第三篇 情報

通則

第六十九 情報勤務ノ目的ハ敵情、地形、氣象等ニ關スル諸情報ヲ收集審査シテ指揮官ノ決心及指揮ニ必要ナル資料ヲ得ルニ在リ

第七十 情報勤務ハ其ノ重點ヲ確立シ脈絡一貫セル組織ニ依リ始メテ能ク目的ヲ達成シ得ルモノトス故ニ高級指揮官ハ情報勤務規定ヲ定メ且作戰ノ進捗ニ伴ヒ適時之ヲ補修シ全般ノ勤務ヲ統制スルヲ要ス

情報勤務規定ニ包含セシムベキ事項概ネ左ノ如シ

情報ノ報告、通報情報會報ヲ含ムニ關スル事項
戰車、砲兵、工兵、飛行機、瓦斯、氣象等ニ關スル特殊ノ情報ノ統制ニ關スル事項

目標又ハ地點、地域等ノ符(番)號ノ配當及命名法其ノ他所要ノ符號等ニ關スル事項

作戰用地圖及空中寫眞ニ關スル事項
俘虜ノ取扱ニ關スル事項

諜報勤務其ノ他ニ關シ永續的ニ規定スベキ事項等

各級指揮官ハ其ノ職域ニ應ジ要スレバ前項ニ準ジ所要ノ事項ヲ規定ス

第七十一 情報収集ノ主要ナル手段ハ搜索及諜報勤務トス而シテ此ノ兩者ハ緊密ナル關係ヲ有スルヲ以テ搜索ニ依リ直接ニ敵ノ位置、兵力、行動、施設等ヲ探知スルト共ニ諜報ノ結果ヲ利用シテ搜索ノ結果ヲ補綴確定シ或ハ搜索ノ端緒ヲ求メ又搜索ト同時ニ諜報資料ヲ獲得スルコト緊要ナリ

情報ノ収集ニ方リテハ手段ヲ盡クシ敵ヲ致シテ其ノ狀態、企圖等ヲ暴露セシムルノ有利ナルコトアルニ著意スルヲ要ス

第七十二 収集セル情報ハ的確ナル審査ニ依リ其ノ眞否、價值等ヲ決定ス

ルヲ要ス之ガ爲先ヅ各情報ノ出所、偵知ノ時機及方法等ヲ考察シテ正確ノ度ヲ判定シ次デ之ト關係諸情報トヲ比較綜合シテ判決ヲ求ムルモノトス又縱ヒ判決ヲ得タル情報ト雖モ更ニ審査ヲ繼續スルノ著意アルヲ要ス

敵情ノ逐次變化スル過程ヲ系統的ニ討究スルトキハ其ノ狀態、企圖等ヲ判斷スルノ憑據ヲ得ルコト少カラザルヲ以テ連續的ニ情報ヲ収集スルコト緊要ナリ

既得ノ情報ニ依リ的確ナル判決ヲ求メ得ザル場合ニ於テモ爾後速カニ偵知スベキ事項ヲ判定シ以テ情報収集ニ便ナラシムルヲ要ス

第七十三 情報ノ審査ニ方リテハ先入主トナリ或ハ的確ナル憑據ナキ想像ニ陥ルコトナキヲ要ス又一見瑣末ノ情報ト雖モ全般ヨリ觀察スルカ若クハ他ノ情報ト比較研究スルトキハ重要ナル資料ヲ得ルコトアリ尙局部的判斷ニ囚レ或ハ敵ノ欺騙、宣傳等ニ依リ往々大ナル誤謬ヲ招來スルコトアルニ注意スルヲ要ス

第七十四 高等司令部ニ於テハ爲シ得ル限り情報記録ヲ作製シテ審査セル情報ノ整理、利用及傳達ニ便ナラシムルヲ要ス而シテ情報記録ハ記録及情報圖ヲ併用スルヲ通常トス

其ノ他ノ司令部及本部ニ於テモ亦前項ニ準ジ情報記録ヲ作製スルコトアリ
第七十五 審査セル情報ハ通常直チニ報告、通報シ以テ關係指揮官ノ利用又ハ情報審査ニ資スルヲ要ス狀況ニ依リ高級指揮官ハ時期ヲ劃シ某期間ノ情報ヲ一括シテ報告、通報セシムルコトアリ

第一章 搜索

要則

第七十六 搜索部署ノ決定ニ方リテハ搜索ノ目的、時期及範圍特ニ搜索ノ重點ヲ定メ各種搜索機關ノ特性ヲ考慮シ之ニ適切ナル任務ヲ配當シテ互ニ

長短相補ヒ且連繫ヲ緊密ナラシムルヲ要ス

第七十七 遠距離搜索ハ主トシテ高級指揮官其ノ作戰指導ノ爲必要ナル遠距離ノ目標ニ對シ行フモノニシテ通常飛行機時トシテ騎兵、機械化部隊等之ニ任ズルモノトス而シテ搜索目標ハ狀況ニ基キ作戰ノ推移ヲ洞察シテ選定スベキモ敵ノ輸送及集中狀態、兵團ノ行動、飛行場其ノ他重要ナル後方施設、必要ナル地形等ハ價值アル搜索目標トス

第七十八 近距離搜索ハ主トシテ各級指揮官戰術上ノ部署及戰鬪指導ニ必要ナル資料ヲ收集スル爲實施スルモノニシテ敵ト近接スルニ從ヒ益、之ヲ周密ナラシムルヲ要ス之ガ爲先ヅ騎兵、飛行機等之ニ任ジ敵ニ近接スルニ從ヒ各部隊モ亦自ラ斥候、小部隊等ヲ以テ之ヲ實施スルモノトス
近距離搜索ハ概ネ左記事項ニ關シ實施スルモノニシテ指揮官ノ職域及時期ニ應ジ適宜取捨スルモノトス
敵ノ兵種、兵力、位置及行動

敵歩兵ノ到着地點竝ニ後續部隊、機甲部隊、瓦斯部隊等ノ有無及狀態敵ノ配備、陣地特ニ其ノ翼ノ狀態及團隊ノ接際部

直接戦闘ニ關係アル敵側背ノ狀況

戦闘指導ニ關係アル地形、撤毒地域等

第七十九 瓦斯搜索ハ一般搜索ト併セ實施スルヲ通常トス之ガ爲所要ニ應ジ搜索機關ニ瓦斯勤務員及器材ヲ配屬スルモノトス然レドモ特殊ノ目的ヲ以テ特ニ瓦斯斥候ヲ派遣スルコトアリ

第八十 俘虜ヲ獲ルハ敵情ヲ明カナラシムル爲有效ナル手段ナルヲ以テ各部隊ハ成ルベク敵兵ヲ捕獲スルコトニ勉ムルヲ要ス

狀況ニ依リ俘虜ヲ獲ル目的ヲ以テ局地ノ攻撃ヲ行フコトアリ

第八十一 指揮官ハ一度敵ト接觸スルヤ晝夜ヲ問ハズ之ヲ確保シ且其ノ狀況ヲ搜索スルノ責任ヲ有ス斥候モ亦其ノ任務ニ妨ナキ限り此ノ趣旨ニ依リ行動スベキモノトス

敵方ニ對シ連續不斷ノ監察ヲ續行シ微細ノ徵候ヲモ綜合判斷シテ敵情ヲ得ルヲ有利トスルコト少カラズ之ガ爲指揮官自ラ觀察ヲ行フノ外所要ノ機關ヲシテ絶エズ敵情ヲ監視セシムルコト緊要ナリ

第八十二 搜索ニ方リテハ兵力ノ大小ヲ問ハズ積極的手段ニ依リ目的ノ達成ニ勉ムルヲ要ス之ガ爲敵ノ慣用戦法ヲ看破シテ其ノ弱點ニ乘ジ或ハ地形、氣象ヲ利用シテ敵ノ意表ニ出デ或ハ所要ノ兵力ヲ以テ敵ヲ攻撃スル等ノ處置ヲ講ズルト共ニ敵ノ欺騙動作ニ惑ハサレザルコトニ注意スルヲ要ス

第八十三 搜索ニ任ズル者一事件ヲ觀察シタルトキ直チニ之ヲ報告スベキヤ或ハ爾後ノ搜索ノ結果ヲ待チテ報告スベキヤ等報告ノ時機及内容等ハ良ク指揮官ノ意圖ニ投合セシムルヲ要ス然レドモ初メテ敵ヲ發見シタルトキ、有力ナル部隊特ニ歩兵若クハ機甲部隊ト遭遇シタルトキ、初メテ敵ノ瓦斯使用ニ會シ若クハ新奇ナル瓦斯ヲ發見シタルトキ、既知ノ狀況ト相違セシトキ、狀況ノ激變ヲ認メタルトキ、某目的又ハ一任務ヲ達成シタルト

キ等ニ於テハ速カニ之ヲ報告スルモノトス

某地方ニ於テ未ダ敵兵ヲ發見セザルコトヲ知ルモ亦指揮官ノ爲往々緊要ナルコトアリ又爾後ノ搜索ニ依リ既往ノ情報ヲ確實ニシ或ハ一定ノ時間中ニ於ケル狀況變化ノ有無ヲ知ル等ハ指揮官ノ爲大ナル價值アルモノトス

第八十四 搜索ニ任ズル者ハ命令ナキトキト雖モ地形、交通、通信、此等ニ對シ氣象ノ及ス影響、地方物資及利用スベキ材料ノ狀況、住民ノ意向及動靜等ニ關シ緊要ナル事項ヲ搜索シ之ヲ報告スルヲ要ス特ニ近距離搜索ニ在リテハ豫想戰場附近ニ於ケル地形ノ特性ニ著眼スルコト緊要ナリ

地圖ナキカ或ハ其ノ不完全ナル地方ニ於テ最前方ニ行動スル部隊ハ勉メテ經過地域ノ要圖ヲ調製スルカ若クハ地圖ヲ補修シテ報告スルヲ要ス

第八十五 搜索部隊及斥候ハ狀況特ニ其ノ任務ニ依リ爲シ得レバ輕裝セシメ又彈藥、糧食、燃料等ヲ増加携行セシメ尙作戰地ノ狀況ニ依リ特殊ノ移動機關ヲ利用セシムルヲ有利トスルコトアリ

第一節 飛行部隊、氣球部隊

第八十六 空中搜索ハ主トシテ偵察飛行隊之ニ任ズルモノニシテ勉メテ敵ノ不意ニ乘ジ神速ニ目的ヲ達成スルヲ可トス此ノ際爲シ得レバ我が戰鬥機活動ノ時期或ハ敵戰鬥機活動ノ間隙等ヲ利用スルヲ有利トス而シテ搜索ノ時期及地域愈々局限セラルルニ從ヒ搜索ヲ強行スルノ必要益、増大スベキヲ以テ特ニ敵機ニ對スル警戒ヲ嚴ニスルト共ニ其ノ行動ヲ敏活適切ナラシムルコト緊要ナリ

第八十七 偵察飛行隊ハ作戰ノ初期ニ在リテハ通常軍ニ於テ其ノ全部若クハ大部ヲ統一使用シ戰鬥ヲ豫期スルニ至レバ通常直協飛行隊ヲ第一線兵團、軍直轄砲兵隊等ニ配屬スルモノトス而シテ直協飛行隊ノ配屬ニ方リテハ之ガ分割ヲ避クルヲ要ス

大ナル機械化部隊、騎兵部隊其ノ他軍主力ト離隔シテ作戰スル兵團ニハ飛

行場及連絡ノ關係之ヲ許セバ作戰ノ當初ヨリ直協飛行隊ヲ配屬スルヲ可トス

第一線兵團、軍直轄砲兵隊等ニ配屬セル直協飛行隊ハ其ノ要度ヲ減ズルカ若クハ當該兵團等トノ連絡困難ナルニ至レバ適時之ヲ統一使用スルコト緊要ナリ

第一線兵團等ニ配屬セル直協飛行隊ト雖モ其ノ飛行場ノ諸勤務、補給等ニ關シテハ本屬ノ隊長ニ於テ之ヲ處理スルモノトス

第八十八 偵察飛行隊ヲ使用スルニ方リ高級指揮官ハ狀況特ニ飛行隊ノ機種、機數、連絡施設ノ狀態等ヲ考慮シテ飛行隊長ニ自己ノ企圖及總括的任務ヲ明示シテ適宜處置セシムルカ又ハ逐次達成スベキ目的の要スレバ使用時期、機數等ヲ示スモノトス

何レノ場合ニ於テモ飛行隊ヲ使用スルニ方リテハ特ニ之ガ濫用ヲ戒メ重點使用ニ留意シ以テ最も重要ナル方面及時機ニ於ケル搜索ニ遺憾ナカラシム

ルヲ要ス

第八十九 直協飛行隊ヲ第一線兵團等ニ配屬スルニ至レバ所要ニ應ジ其ノ戰鬪指導ニ直接關係アル搜索地域ヲ配當スルモノトス

第九十 飛行機ヲ以テスル搜索ハ視察又ハ寫眞ニ依リ或ハ之ヲ併用ス其ノ何レニ依ルベキヤハ主トシテ搜索ノ目的、敵情、氣象、時刻、搜索結果利用ノ時期等ヲ考慮シテ之ヲ定ムルモノトス

第九十一 視察ハ空中搜索ノ主要ナル手段ニシテ廣範圍ニ互ル搜索ニ便ナリ

指揮官又ハ幕僚ハ所要ニ應ジ自ラ飛行機ニ依リ戰況、地形其ノ他全般ノ狀況ヲ觀察スルヲ有利トス

第九十二 空中寫眞ハ詳細正確ナル情報ヲ得ルノミナラズ之ヲ地圖ニ代用シ或ハ之ニ依リ地圖ヲ作製スル等重要ナル價值ヲ有ス然レドモ廣汎ナル地域ニ互リ寫眞撮影ヲ實施スルハ通常困難ナルヲ以テ寫眞搜索ノ地域ハ作戰

上重要ナル部分ニ制限スルヲ要ス

寫眞搜索ヲ命ズルニ方リテハ搜索目的、撮影地域若クハ目標、提出時期及部數要スレバ寫眞ノ種類、梯尺等ヲ明示スルモノトス

寫眞搜索ヲ實施セル部隊ハ寫眞ノ完成ニ先ダチ主要事項ヲ報告スルコト緊要ナリ

廣範圍ニ互ル寫眞搜索ハ通常軍司令官之ヲ統一シテ實施スルモノトス

第九十三 寫眞搜索ニ方リテハ其ノ目的ニ應ジ斜寫眞又ハ所要ノ梯尺ヲ以テ垂直寫眞ヲ撮影ス

垂直寫眞ハ地圖的價値ヲ有シ斜寫眞ハ目標及地形特ニ其ノ高低起伏ノ觀察ニ便ナリ而シテ同一目標又ハ地域ヲ時日ヲ隔テテ前後數回撮影シ此等ヲ比較研究スルハ狀況ノ變化、敵ノ企圖等ヲ判斷スル爲重要ナル價値ヲ有スルモノトス何レノ場合ニ於テモ空中寫眞ハ之ヲ雙眼寫眞トシテ利用スルヲ有利トス

第九十四 偵察飛行隊ノ飛行場設定ニ方リテハ成ルベク所屬高級指揮官ノ位置ニ近ク之ヲ選ビ要スレバ更ニ近ク連絡ノ爲著陸場ヲ設クルモノトス此ノ際適時既設飛行場ヲ獲得シ之ヲ利用スルヲ得バ有利ナリ

飛行場ノ施設及警戒、飛行隊ト關係指揮官トノ連絡等ニ關シ遺憾ナカラシムルハ所屬高級指揮官ノ責任トス

第九十五 氣球部隊ハ戰鬪ヲ豫期スルニ至レバ其ノ大部若クハ全部ヲ第一線師團及軍直轄砲兵隊ニ配屬スルモノトス

氣球部隊ノ搜索ニ關シテハ第九十乃至第九十三ヲ準用ス

第二節 騎 兵

第一款 大ナル騎兵部隊

第九十六 大ナル騎兵部隊ハ搜索ノ爲配屬セラレタル直協飛行隊ヲ使用ス

ルノ外搜索隊又ハ將校斥候ヲ派遣シ或ハ之ヲ併用ス

搜索隊ハ常ニ友軍飛行機トノ連絡ヲ密ナラシムルコト緊要ナリ

第九十七 搜索隊ノ數ハ狀況ニ依リ之ヲ定ム

一搜索隊ノ兵力ハ通常騎兵約一中隊又ハ戰車約一中隊トスルモ狀況ニ依リ騎兵部隊ニ在リテハ數中隊ニ達シ且之ニ機關銃、速射砲、通信機關要スレバ騎砲等ヲ配屬シ又戰車ニ在リテハ時トシテ二中隊以上ヲ用ヒ必要ニ應ジ之ニ乗車セル騎兵等ヲ配屬ス

搜索隊ハ騎兵部隊ヲ以テスルトキハ周密ナル搜索網ヲ構成スルニ適シ戰車ヲ以テスルトキハ迅速ニ所望ノ地點ニ進出シ搜索ヲ強行スルニ適スルモノトス

第九十八 搜索隊ニハ搜索ノ目標若クハ地域止ムヲ得ザレバ方向ヲ明示シ且通常前進路ノ概要ヲ指定シ要スレバ更ニ搜索隊主力ノ日々に到達スベキ概略ノ地點ヲ指定シ若シ二箇以上ノ搜索隊ヲ併列シテ派遣スルトキハ地形

特ニ道路網ヲ考慮シ要スレバ搜索地境ヲ示スモノトス

第九十九 搜索隊ハ所要ノ斥候ヲ派遣シ適時之ヲ支援推進シ小ナル敵部隊ハ之ヲ擊破シテ搜索ヲ實施スルモノトス

第百 搜索隊ハ收集セル諸情報ヲ綜合審査シテ報告シ又爾後ノ行動ニ關シ命令ヲ受クル爲騎兵主力トノ連絡ヲ確保スルヲ要ス

搜索隊ト騎兵主力トノ連絡ハ無線通信、回光通信、戰車、傳令等ニ依ルモ若シ在來ノ通信線ヲ利用シ得バ有利ナリ時トシテ主力ヨリ推進シタル情報所ヲ經テ連絡ヲ保持スルコトアリ

第百一 騎兵主力敵ト衝突セントスル場合ニ於テ搜索隊ハ自己ノ任務、我が主力ノ狀態、敵情、地形等ヲ考慮シ其ノ戰鬥ニ參與スベキヤ否ヤヲ決スルモノトス

第二款 其ノ他ノ騎兵部隊

第二百二 騎兵ハ其ノ所屬兵團ノ爲必要ナル搜索ニ任ズルモノトス而シテ遠距離搜索ヲ實施スル場合ニ於テ其ノ主力ヲ以テ之ニ任ズベキヤ或ハ單ニ將校斥候ヲ以テスベキヤハ狀況ニ依ル

第二百三 騎兵ハ輕快ナル機動性ヲ發揮シ逐次搜索ノ據點ヲ占領シ所要ノ斥候ヲ推進シテ敵情、地形ヲ搜索スルモノトス而シテ敵ト近接スルニ至レバ所要ニ應ジ好機ヲ捉ヘテ敵ノ警戒線ニ楔入シ其ノ罅隙ニ乘ジ斥候ヲ派遣シ搜索ヲ敢行スルヲ要ス

第二百四 騎兵ノ任務達成ヲ容易ナラシムル爲步兵其ノ他ノ兵種ヲ配屬スルヲ有利トスルコト少カラズ

第二節 機械化部隊

第二百五 機械化部隊 諸兵連合ノモノトス以下同ジ ヲ以テスル搜索ハ本章第二節第一款ヲ準用スルノ外本節ニ據ルモノトス

第二百六 機械化部隊ノ搜索ニ方リテハ特ニ其ノ特性ヲ利用シ迅速ニ目的ヲ達成スル如ク行動スルコト緊要ナリ然レドモ搜索ノ爲過早ニ其ノ戦力ヲ消耗スルガ如キコトナキニ注意スルヲ要ス

機械化部隊ハ搜索ニ方リ飛行機ノ使用若クハ之トノ協同ヲ適切ナラシムルコト特ニ緊要ナリ

第二百七 搜索隊ノ兵力、編組ハ狀況ニ依リ異ナルモ通常輕快ナル戰車（裝甲車）ヲ主體トシ所要ニ應ジ歩兵、砲兵、工兵、通信機關、修理機關等ヲ屬スルモノトス

第四節 其ノ他ノ部隊

第二百八 砲兵ノ各種情報機關ハ各、其ノ特性ヲ發揮セシムル如ク搜索ニ使用スルモノトス此ノ際他ノ部隊ヲシテ搜索ヲ援助セシムルヲ有利トスルコトアリ

第九 狀況ニ依リ歩兵部隊若クハ諸兵連合ノ支隊ヲ派遣シ搜索ニ任ゼシムルコトアリ此ノ部隊ハ敵ノ監視部隊又ハ前進部隊等ヲ驅逐シテ其ノ背後ノ狀況ヲ搜索スル爲屢、戰闘ヲ行フヲ要スルコトアリ

第十 敵ニ近接セル場合ニ於テ各種ノ手段ヲ以テスルモ尙所望ノ敵情ヲ明カニスルヲ得ザルトキハ搜索ノ爲攻撃ヲ行フヲ要スルコト少カラズ而シテ此ノ機會ヲ利用シ他ノ各種搜索機關ヲ巧ニ活動セシムルコト緊要ナリ前項ノ如キ搜索ニ於テハ攻撃ニ用フル兵力ノ大ナルニ從ヒ敵トノ離脱益、困難トナルニ注意スルヲ要ス
搜索ノ爲強大ナル兵力ヲ用ヒ攻撃スル場合ニ於テハ高級指揮官ノ的確ナル統一指揮ノ下ニ之ヲ行ヒ主力ハ機ヲ失セズ其ノ結果ヲ利用シ得ルノ準備ニ在ルコト特ニ緊要ナリ

第五節 斥候

第十一 斥候勤務ニ當ル者ハ剛膽、慧敏、熱心、沈著ニシテ責任觀念旺盛ナラザルベカラズ

第十二 斥候ノ數、兵力、編組及裝備ハ搜索ノ目的、斥候ニ與フル任務、敵情、地形、之ヲ派遣スル部隊ノ大小、搜索ノ爲使用シ得ベキ時間、報告ノ送達法、住民ノ動靜等ヲ考慮シテ之ヲ定ムルモノトス如何ナル場合ニ於テモ其ノ人馬特ニ斥候長ノ人選ヲ適切ナラシムルコト緊要ナリ

第十三 徒歩斥候ハ隱蔽シテ行動シ得且夜間ノ潛行ニ適スルヲ以テ敵ト近接セル場合ニ於テ重要ナル任務ヲ果シ得ルモノトス特ニ步兵將校斥候ハ斯クノ如キ場合ニ於テ大ナル價值ヲ有ス

第十四 敵陣地ノ偵察或ハ特別ノ目的ヲ以テスル地形偵察等ノ爲歩兵斥候ノ外砲兵及工兵斥候ノ派遣ヲ必要トスルコトアリ此ノ際附近ニ在ル歩兵部隊ハ要求ニ應ジ之ヲ援助スルノ義務アルモノトス

第十五 戰車(裝甲車)ハ地形妨ナキ限り短時間内ニ搜索ヲ強行スルニ適

スルモノトス而シテ戰車斥候ハ二車以上ヲ以テスルヲ通常トシ近距離ニ於テハ單車ヲ使用スルコトアリ

第一百十六 斥候派遣ニ方リテハ搜索事項及報告時期ヲ明示スルト共ニ任務達成ニ必要ナル時間ノ餘裕ヲ與フルコト緊要ナリ

夜間斥候ヲ派遣スルニ方リテハ勉メテ其ノ任務ヲ單一ニシ爲シ得レバ基準線ノ標示、目標燈ノ設置等ニ依リ方向維持ニ便ナラシメ且常ニ音響防止ノ處置ヲ講ゼシムルノ著意必要ナリ

長時間斥候ヲシテ敵ト接觸ヲ保持セシメ或ハ一地ニ潜伏セシメ以テ敵ノ状態ヲ偵知セシムルヲ利トスルコト少カラズ

第一百十七 斥候ハ先ヅ一般ノ狀況ト自己ノ任務トヲ了解シ之ニ適應スル如ク搜索ノ順序及方法ヲ定ムルコト必要ナリ

斥候ノ主要ナル搜索手段ハ視察トス然レドモ敵ノ斥候若クハ小部隊ニ對シテハ任務及狀況ノ許ス限り攻勢的ニ動作スルヲ要ス

戰車(裝甲車)ハ其ノ機動力ト火力トノ適切ナル利用ニ依リ敵ノ抵抗ヲ排除スルカ若クハ迂回シテ敵線内ニ侵入シ速カニ搜索ノ目的ヲ達成スルコトニ勉ムルヲ要ス

第一百十八 斥候ハ展望點ヨリ展望點ニ向ヒ躍進スルヲ通常トス狀況ニ依リ斥候長ハ部下ヲ認知シ易キ地點ニ留メ單身又ハ若干ノ部下ヲ伴ヒ更ニ挺身シテ搜索シ或ハ要點ニ位置シ更ニ近距離ニ小斥候ヲ派遣シテ搜索スルヲ利トスルコトアリ又豫メ適當ノ地點ニ潜伏シテ敵情ヲ搜索スルヲ利トスルコトアリ

休止ニ際シテハ適當ナル潜伏所ヲ索メ敵ニ發見セラレザルコト及敵情搜索ヲ中絶セザルコトニ注意シ尙敵意ヲ有スル地方ニ於テハ大ナル住民地ヲ再ビ通過セズ村落及圍牆内ニハ長ク位置セザルヲ要ス又夜間ニ在リテハ位置ノ變換ニ依リ安全ヲ期シ得ルコトアリ

斥候相互間及後方トノ連絡ノ爲ニハ各種通信器材ヲ利用スルノ外豫メ簡單

ナル記號ヲ又夜間ノ識別ヲ容易ナラシムル爲合言葉ヲ定ムルヲ可トス
第一百十九 斥候若シ撒毒地域ニ遭遇セバ速カニ之ヲ報告スルト共ニ任務ニ支障ナキ限り最寄部隊ニ通報シ且所要ノ標示ヲ爲シタル後本來ノ任務ニ從事スルモノトス

第一百二十 撒毒ヲ豫期スル地域又ハ既ニ偵知セル撒毒地域若クハ一時瓦斯滞留地域ノ細部ノ搜索ヲ必要トスルトキ等ニ於テハ特ニ瓦斯斥候ヲ派遣スルヲ通常トス

瓦斯斥候ハ瓦斯勤務員ヲ主體トシ要スレバ連絡、掩護等ニ任ズル人員ヲ加ヘ又所要ノ防毒具、檢知及標示器材等ヲ携行セシムルモノトス

撒毒地域細部ノ搜索ニ任ズル斥候ハ瓦斯撒布ノ有無ニ注意シツツ前進シ撒毒地域、瓦斯ノ種類及效力、撒布状態、安全通路、制毒ニ便ナル地域、制毒ノ方法及所要材料、要スレバ通過ノ要領、迂回路ノ有無及價值、爲シ得レバ撒毒地域ニ指向セラルベキ敵ノ火器ノ位置及種類等ニ關シ任務上必要ナ

ル事項ヲ搜索シ且所要ノ標示ヲ爲スモノトス

第二章 諜報

第一百二十一 諜報勤務ハ通常特殊ノ組織的機關ニ依ルベシト雖モ軍隊モ亦各種ノ手段ヲ講ジ機會ヲ捉ヘテ狀況候察ノ資料ヲ獲得スルコトニ勉ムルヲ要ス

諜報ハ敵モ亦絶エズ之ヲ行フベキヲ以テ各級指揮官以下常ニ周到ナル注意ヲ拂ヒ防諜上遺憾ナキヲ期スベシ

第一百二十二 諜報勤務ハ敵ノ國民性、作戰地住民ノ性情、作戰經過ノ時期等ニ適應スル如ク之ヲ企畫シ又敵ノ宣傳ニ關シテハ其ノ真相ヲ明カナラシムルコト緊要ナリ而シテ住民ノ感情ハ諜報勤務ニ影響ヲ及スコト大ナルヲ以テ之ニ對スル施設、態度等ヲシテ諜報勤務ノ實施ニ便ナラシムル如ク留意スルヲ要ス

第二百二十三 住民ノ言ヲ聽キ又新聞紙、信書、電信及郵便局、通信所、官公署、旅舎等ニ在ル文書ヲ押收シ其ノ他各種ノ徵候等ヲ判斷スルトキハ重要事項ヲ探知シ得ルモノトス斯クノ如キ資料ハ搜索部隊、斥候等ノ外各部隊モ亦之ガ收集ニ勉ムルヲ要ス

文書ハ時トシテ視エ難キ方法等ニ依リ記載セラレアルヲ以テ之ガ調査ニハ特別ノ注意ヲ必要トス

第二百二十四 軍隊敵ノ暗號、略號、通信ニ關スル規定等ヲ押收又ハ諜知セルトキハ速カニ高級指揮官ニ報告スルモノトス

無線通信ノ傍受、有線通信ノ窃聽等ニ依リ重要ナル事項ヲ知得シ得ルコトアリ

第二百二十五 俘虜ノ言、敵ノ携帶又ハ遺棄セル文書、地圖、兵器及材料特ニ化學戰資料、敵砲彈ノ破片等ハ有利ナル情報資料タルベキヲ以テ之ガ收集利用ニ遺憾ナキヲ要ス

第二百二十六 俘虜ヲ獲タルトキハ直チニ其ノ携帶書類ヲ押收シ要スレバ緊要事項ヲ訊問シ其ノ結果ト共ニ速カニ上級指揮官ニ送付スルヲ要ス此ノ際俘虜ヲ獲タル地點及日時ヲ明カナラシムルコト必要ナリ

俘虜ノ訊問ハ各人ニ就キ場所ヲ異ニシテ之ヲ行ヒ其ノ陳述スル所彼此一致スルノ多寡ニ依リ狀況ノ眞否ヲ判定スルモノトス

俘虜ニ對シ訊問スベキ主要ナル事項概ネ左ノ如シ

所屬部隊及其ノ任務、位置、編制、裝備、新ニ支給セラレタル資材、最近受ケタル命令、其ノ部隊ニ連繫スル他ノ部隊、高級指揮官ノ氏名及所在、前夜ノ宿營、戰鬪及行軍ノ狀態、特ニ實施シアル訓練、給養ノ適否、志氣ノ振否、團結ノ良否、行動地域ノ地形等

俘虜ニ對スル訊問事項ハ當時ノ狀況ニ適應セシメ縦ヒ時間ノ餘裕少キ場合ニ於テモ所屬部隊、其ノ位置等ハ必ズ之ヲ訊問スルヲ要ス

俘虜ノ訊問ニ方リ既ニ得タル諸情報ヲ補助トスルトキハ大ナル效果ヲ收メ

得ルコトアリ

第二百二十七 住民ノ意向、態度、敵兵宿營又ハ休憩ノ跡、交通、通信機關設置ノ方向及其ノ破壊ノ方法等ヲ仔細ニ觀察スルトキハ敵情判斷ノ憑據ヲ得ルコトアルヲ以テ之ガ利用ヲ忽セニスベカラズ

第二百二十八 間諜ノ使用ニハ細心ノ注意ヲ必要トス而シテ間諜ニハ我が知ラント欲スル點ハ之ヲ明示スベキモ我が目的ハ決シテ之ヲ知ラシムベカラズ

間諜ニ與フル任務ハ成ルベク之ヲ單一ニシ且同一目的ノ爲個々ニ任務ヲ與ヘタル二名以上ヲ別々ニ派遣スルヲ可トス

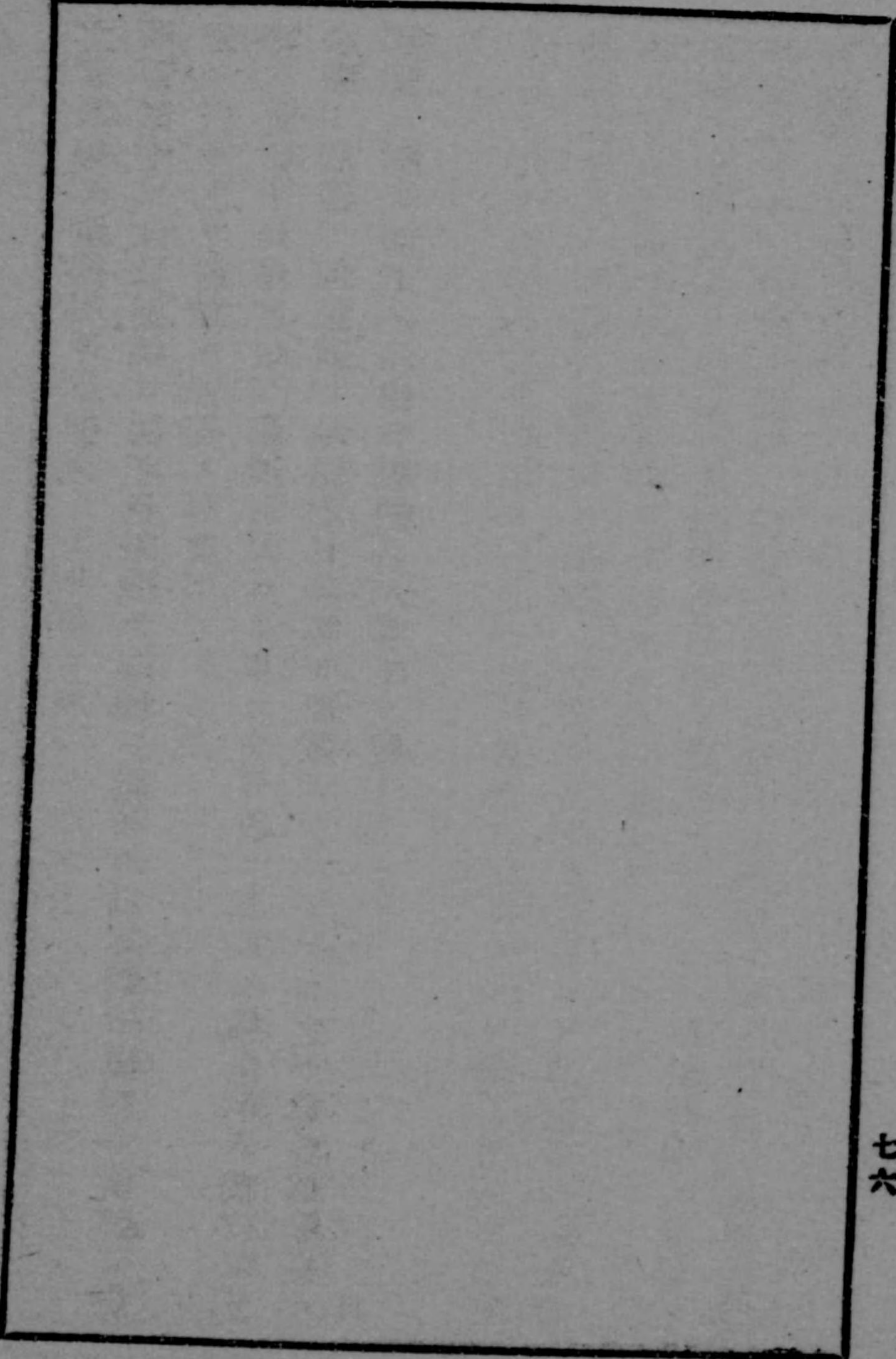
敵方ヨリ來レル我が間諜ハ訊問スルコトナク之ヲ派遣シタル司令部等ニ護送スルモノトス敵ノ間諜ノ疑アル者ノ取扱モ亦之ニ準ズ

第二百二十九 作戰地ニ於テハ住民モ亦屢、意外ノ信號、無線通信、鳩等ヲ利用シ間諜行爲ヲ爲スコトアリ故ニ細心ノ注意ヲ以テ其ノ行動ヲ監察シ

之ガ取締ニ遺漏ナキヲ要ス

第三百十 敵ノ諜報ヲ防ギ且軍機ノ漏洩ヲ避クル爲高級指揮官ハ所要ノ規定ヲ設ケ之ヲ嚴守セシムルヲ要ス

軍ノ祕密ハ私信ニ依リ漏洩スルコト少カラズ故ニ各人ハ私信中ニ我が軍ノ企圖、狀態、部隊號、地點、日時等ヲ記載セザルヲ要ス之ガ爲各部隊長ハ所要ニ應ジ部下ノ私信ヲ點檢スルコトヲ得



第四篇 警戒

通則

第三百三十一 警戒ノ目的ハ敵及敵意ヲ有スル住民等ニ對シ其ノ奇襲ヲ豫防スルト共ニ我方狀況ヲ掩蔽シ以テ軍隊ノ安全ト行動ノ自由トヲ圖ルニ在リ而シテ此ノ勤務ニ服スル指揮官以下ノ責任ハ特ニ重大ナリ

第三百三十二 警戒ハ上級指揮官ノ行フ全般ノ爲ノ部署ノ外各部隊ノ直接警戒ニ依ルモノトス

直接警戒ハ各部隊自ラ之ヲ行フベキモノトス而シテ自衛力少キ部隊ノ警戒ニ關シ狀況之ヲ要スレバ上級指揮官機宜ノ處置ヲ講ズルヲ通常トスルモ比隣部隊ハ縱ヒ命令ナキトキト雖モ要スレバ之ニ協力スベキモノトス

第三百三十三 警戒ヲ完カラシメンガ爲ニハ各人各個ノ警戒心ノ緊張ニ待ツ

モノ多シ故ニ絶エズ細心ノ注意ヲ拂ヒ又間諜及住民ニ對シテモ不斷ノ警戒ヲ加ヘ以テ些細ノ不注意ニ因リ全般ノ不利ヲ來スガ如キコトナキヲ要ス

第三百三十四 警戒勤務ハ軍隊ヲ疲勞セシムルコト大ナルヲ以テ之ニ用フル兵力ハ勉メテ節約スルヲ要ス之ガ爲警戒部署ヲ適切ナラシムルト共ニ各種ノ補助手段ヲ巧ニ利用スルコト緊要ナリ

第三百三十五 搜索ノ周密ナルハ警戒ノ主要條件ナリ故ニ警戒部隊ハ絶エズ其ノ所在地附近ヲ搜索スルト共ニ所要ニ應ジ尙遠キニ互リ搜索ヲ行フヲ要ス

第三百三十六 警戒部隊ハ其ノ主力トノ連絡ヲ緊密ニスルノ外隣接部隊トノ連絡ニ勉メ又騎兵、機械化部隊等軍ノ前面ニ在ルトキハ爲シ得レバ之トノ連絡ヲ保持スルヲ要ス

第三百三十七 敵ノ飛行機、戰車、瓦斯等ニ對シテハ勉メテ攻撃ノ機會ヲ與ヘザル如ク我方行動ヲ律スルト共ニ若シ其ノ攻撃ヲ避ケ難キ狀況ニ於テハ

各種ノ手段ヲ盡クシテ速カニ之ヲ發見シ對策ノ機ヲ失セザルコト緊要ナリ此ノ際最モ戒ムベキハ此等ノ敵ニ牽制セラレテ戰機ヲ逸シ或ハ我方重要ナル企圖ヲ暴露スル等全局ノ不利ヲ來サザルニ在リ

第三百三十八 歩兵大隊長、戰車聯隊長、騎兵聯隊長、砲兵大隊長、工兵聯隊長、輜重兵中隊長其ノ他此等ニ準ズル部隊長ハ敵飛行機ノ監視及友軍飛行機トノ連絡ノ爲通常對空班ヲ設クルモノトス狀況ニ依リ此ノ目的ノ爲部下各中(小)隊長等ヲシテ必要ノ處置ヲ爲サシムルコトアリ

前項ノ各部隊長ハ敵飛行機射撃ノ爲所要ニ應ジ對空射撃部隊ヲ設ケ又各中(小)隊長等ハ必要ナル對空射撃準備ニ於テ缺クル所ナキヲ要ス

司令部、歩、砲兵等ノ聯隊本部其ノ他第一項各部隊長ノ指揮下ニ在ラザル小部隊ハ狀況ニ應ジ適宜對空ノ處置ヲ爲スモノトス

第三百三十九 高級指揮官ハ戰場附近ニ於ケル防空ノ爲所要ノ高射部隊、照空部隊等ヲ部署スルノ外要スレバ各部隊ニ對空監視、對空射撃部隊ノ兵力、

各部隊相互ノ協同、欺騙行動、燈火ノ處置等ニ關シ必要ノ事項ヲ命令スルモノトス又友軍飛行機識別ノ爲其ノ飛行、記號等ニ關シ所要ノ事項ヲ規定シ之ヲ地上部隊ニ知ラシムルヲ要ス

軍隊ノ後方ニ在リテハ通常主要ナル飛行場、補給及交通上ノ要點等重要施設ノ掩護ニ重點ヲ置キ防空ノ處置ヲ講ズベキモノトス

第四百十 駐軍久シキニ互レバ對空監視圈ヲ擴張シ通信網ヲ整備シ要スレバ更ニ警報、燈火管制、防火、瓦斯防護等ニ關スル事項ヲ統一シ整然タル防空ノ組織ヲ構成スルモノトス

作戰地ニ於テハ巧妙ナル燈火管制通常困難ナルヲ以テ豫メ燈火ノ使用ヲ制限又ハ禁止スルヲ可トス時トシテ局部ノ燈火ヲ存置シ巧ニ偽燈火ヲ配シ以テ敵ヲ欺騙スルヲ可トスルコトアリ

第四百十一 對空班ハ將校若クハ下士官ヲ長トスル所要ノ人員ヲ以テ之ヲ編成シ爲シ得レバ乘馬、自轉車等ヲ使用セシムルモノトス

對空班ハ通常所屬指揮官ノ近傍ニ位置シ駐止間ニ在リテハ對空監視哨ヲ設ケ行進間ニ在リテハ適宜監視者ヲ指定シ要スレバ斥候ヲ設ケ絶エズ上空ヲ監察セシムルト共ニ所屬指揮官、對空射撃ニ任ズル部隊及友軍飛行機トノ迅速ナル連絡ニ關シ遺憾ナキヲ要ス

第四百十二 對空射撃部隊トシテ幾何ノ兵力ヲ使用スベキヤハ狀況ニ依ルト雖モ常ニ敵機ノ奇襲ニ即應セシムルコトヲ考慮シテ之ヲ定ム而シテ單一飛行機ニ對シ射撃效果ヲ期待スル爲必要ナル火力ハ歩兵ノミヲ以テセバ一小隊以上、機關銃ノミヲ以テセバ四銃以上ヲ標準トス

對空射撃部隊ハ自ラ對空監視ヲ行フト共ニ附近ノ對空班等トノ連絡ニ注意シ且常ニ敵機ノ奇襲ニ即應シ得ルノ準備ニ在ルヲ要ス

第四百十三 敵ノ戰車部隊等ニ對スル顧慮アルトキハ歩兵大隊長、騎兵聯隊長及野(山)砲兵大隊長ハ速カニ之ヲ發見スル爲小部隊及斥候ノ派遣、友軍部隊トノ連絡等ニ關シ機宜ノ處置ヲ講ズルト共ニ直チニ敵ノ奇襲ニ應ズ

ル爲必要ナル對戰車部隊ヲ部署シ豫メ其ノ行動ノ準據トナルベキ事項ヲ示スモノトス狀況ニ依リ此等ノ處置ヲ上級指揮官ニ於テ統一スルヲ可トスルコトアリ

前項各部隊長ノ直接指揮下ニ在ラザル部隊ハ適宜前項ニ準ジ警戒ヲ行フモノトス

第四百四十四 中隊長若クハ之ニ準ズル部隊長ハ所要ニ應ジ敵戰車ニ對スル自衛手段トシテ携帶地雷、爆藥、火焰發射器等利用シ得ベキ資材ニ依リ肉薄攻撃ヲ準備スルモノトス

第四百四十五 高級指揮官ハ狀況ニ應ジ飛行隊其ノ他適宜ノ部隊ヲ以テ敵ノ機甲部隊ヲ搜索シ或ハ之ヲ攻撃セシメ時トシテ前方或ハ側背地障線上ノ要點ニ一部隊ヲ派遣シテ我が主力ノ行動ヲ安全ナラシメ且要スレバ各部隊ニ對戰車部隊ノ兵力、各部隊相互ノ協同等ニ關シ必要ノ事項ヲ示シテ其ノ行動ヲ統制スルモノトス

第四百四十六 瓦斯ニ對スル警戒ハ主トシテ一般ノ警戒部署ニ依リ其ノ目的ヲ達スベキモノトス之ガ爲警戒部隊、哨兵等ニハ所要ニ應ジ瓦斯勤務員、警報器材、防毒被服、檢知器材時トシテ消毒材料等ヲ屬スルモノトス狀況ニ依リ瓦斯勤務員ヲ主體トシ或ハ該勤務員ノミヲ以テ緊要ナル警戒ニ任ゼシムルコトアリ

各級指揮官ハ狀況ノ緩急、各部隊ノ任務等ニ應ジ適時消毒ニ任ゼシムル部隊ノ部署及防護資材ノ配當ヲ決定シ特ニ重要ナル時期及地點ニ於ケル防護ニ遺憾ナカラシムルコト緊要ナリ

第四百四十七 空襲又ハ瓦斯攻撃ヲ受クルニ方リテハ大隊長若クハ之ニ準ズル部隊長(輜重兵ニ在リテハ中隊長)以上、其ノ他分離シテ行動シアル部隊ノ長及特ニ指定セラレタル者ハ飛行機警報又ハ瓦斯警報ヲ發スルノ責任ヲ有ス若シ猶豫スベカラズト認メタルトキハ小隊長以上ハ自ら其ノ責ニ任ジ之ヲ發スルモノトス

警報ハ傳達確實容易ニシテ誤解、混同等ノ虞ナキモノヲ選用シ所要ニ應ジ各種ノ手段ヲ併用スルモノトス而シテ一定ノ形式ニ陥リ敵ニ逆用セラレザル如ク注意スルヲ要ス

第四百十八 瓦斯警報ヲ聞クカ若クハ瓦斯ヲ被ラントスルトキハ直チニ比隣相傳ヘ各自迅速ニ裝面(瓦斯雨下ニ對シテハ先ヅ防毒覆ヲ裝著)スベシ防毒面及防毒覆ノ脫除ハ通常小隊長以上ノ命令ニ依ルモノトス馬ノ防毒面及防毒覆ノ裝脫ハ人員ノ場合ニ準ズ

消毒包ハ通常各自所要ニ應ジ之ヲ使用スベシ

其ノ他ノ防毒具ノ使用ハ通常中隊長以上ノ命令ニ依ルモノトス

第四百十九 敵ノ搜索ニ對シ嚴ニ我ガ行動ヲ秘匿セントスル場合ニ於テハ指揮官ハ豫メ此ノ趣旨ヲ下級部隊迄徹底セシメ敵飛行機等現ルルモ射撃ヲ行フコトナク專ラ我ガ行動ヲ隱蔽スルモノトス此ノ場合ニ於テモ狀況之ヲ要スルニ至レバ直チニ敵ヲ擊破シ得ルノ準備ニ於テ缺クル所ナキヲ要ス

第一章 行軍間ノ警戒

要 則

第五百十 行軍間ノ警戒ハ主トシテ前衛、側衛及後衛ヲ以テ之ヲ行フモノトス

第五百十一 行軍間ニ於ケル警戒部隊ノ行動ハ常ニ大ナル部隊ノ進退ニ從ヒテ之ヲ律シ各部隊間ノ連絡ハ其ノ前方ニ行進スル部隊(尖兵及側衛ニ在リテハ其ノ出サレタル部隊)ニ向ヒ之ヲ行フベキモノトス然レドモ連絡ノ保持困難ナル場合ニ於テハ各部隊ハ手段ヲ盡クシ相互ニ之ガ確保ニ勉ムルヲ要ス

第五百十二 行軍間ニ於ケル警戒部隊ハ別命ナキトキト雖モ行軍間ノ駐止及行軍ヲ終ヘタル後ニ於テ尙本隊ノ爲警戒ヲ爲スノ責任ヲ有スルモノトス

第五百十三 高級指揮官ハ空襲ヲ受クルノ虞多キトキハ高射部隊、消毒部

隊等ヲ豫メ要點ニ配置シ其ノ掩護下ニ縱隊ヲ通過セシム狀況ニ依リ二箇以上ノ高射部隊ヲ交互ニ躍進シ縱隊ノ掩護ニ任ゼシムルコトアリ而シテ高射部隊躍進ノ爲別路ヲ配當シ得バ有利ナリ

各縱隊ノ指揮官モ亦要スレバ前項ニ準ジ警戒スルモノトス

第百五十四 行李、輜重ハ常ニ其ノ警戒ヲ嚴ナラシムルヲ要ス狀況特ニ之ヲ要スレバ高級指揮官ハ所要ノ掩護隊ヲ設ケ要スレバ之ヲ配屬スルモノトス

行李、輜重ハ飛行機、機甲部隊等ノ攻撃ヲ受クルノ虞大ナルトキハ地形ヲ利用シテ躍進シ或ハ夜行軍ヲ行ヒ或ハ必要ナルモノヲ戰列部隊ノ掩護下ニ行動セシム何レノ場合ニ於テモ自衛ヲ容易ナラシムル爲長徑ヲ短縮スルヲ有利トスルコトアリ

第一節 前衛

第百五十五 前進行ニ於ケル前衛ノ行動ハ概ネ左ニ準據スルモノトス

- 一、進路上ノ障礙ヲ排除ス之ガ爲敵小部隊ノ如キハ之ヲ擊破シテ前進ス
- 二、敵ト近接スルニ至レバ搜索ヲ周密ニシ且本隊戰鬪ノ初動ヲ有利ナラシム
- 三、追撃ニ方リテハ速カニ敵ニ追及シ其ノ主力ヲシテ交戦スルノ止ムナキニ至ラシム

第百五十六 前衛ノ兵力、編組ハ我方軍ノ企圖ニ基キ縱隊ノ大小、敵情、敵ノ慣用戦法、地形、明暗ノ度等諸般ノ狀況ヲ考慮シテ之ヲ定ムルモノトス

前衛ハ通常縱隊全歩兵ノ三分ノ一以内、必要ノ騎兵、野(山)砲兵及工兵ヲ以テ編組シ所要ニ應ジ戰車、輕装甲車、野戰重砲兵、消毒部隊、通信部隊、衛生部隊等ヲ配屬スルモノトス

第百五十七 夜行軍ニ於ケル前衛ハ歩兵ヲ主トシ之ニ所要ノ騎兵、工兵等

ヲ配屬ス然レドモ豫メ天明後ニ於ケル狀況ヲ考慮シテ其ノ兵力、編組及行動ヲ定ムルコト亦少カラズ

狀況ニ依リ一部隊ヲ所要ノ地點ニ先遣シ或ハ沿道ノ要點ニ逐次ニ配置シ其ノ掩護下ニ前進スルヲ可トスルコトアリ

第二百五十八 前衛ト本隊トノ距離ハ我が軍ノ企圖ニ基キ一般ノ狀況ヲ考慮シテ之ヲ定ム此ノ際前衛ノ行進澁滞ヲ本隊ニ波及スルノ虞ナカラシメ且縱隊指揮官決心ノ自由ヲ保持スルト共ニ本隊ヲシテ機ヲ失セズ戦闘ニ加入シ得シムルコトヲ考慮スルヲ要ス

第二百五十九 前衛ハ通常前衛本隊及前兵ニ區分シ前衛ニ有力ナル騎兵ヲ配屬セラレタルトキハ別ニ之ヲ前方ニ派遣スルモノトス

前兵ハ通常尖兵中隊ヲ、尖兵中隊ハ通常尖兵ヲ出シテ警戒スルモノトス
狀況ニ依リ適宜前二項ノ區分ヲ省略シ本隊或ハ前衛本隊等ヨリ直チニ尖兵中隊若クハ尖兵ヲ出スコトアリ

前衛ニ屬スル工兵ハ其ノ用途ニ鑑ミ主力ヲ前兵ニ續行セシムルコト少カラズ

第六十 前兵ハ敵トノ衝突ニ際シテハ前衛本隊ヲシテ機ヲ失セズ有利ノ態勢ニ展開シ得シムルヲ要ス

前兵ノ兵力ハ前項ノ趣旨ニ合スル如ク通常前衛歩兵ノ三分ノ一以内及所要ノ騎兵ヲ以テ編組シ要スレバ一部ノ砲兵、工兵、消毒部隊等ヲ配屬スルモノトス

前兵ト前衛本隊トノ距離ハ第一項ノ趣旨ニ合スル如ク之ヲ定メ師團ニ在リテハ五百乃至千五百米ヲ標準トス

第六十一 尖兵中隊ハ歩兵約一中隊ヲ以テ之ニ充テ狀況ニ依リ機關銃、歩兵砲、工兵等ヲ配屬スルモノトス

尖兵中隊ト之ヲ出シタル部隊トノ距離ハ三百乃至五百米ヲ標準トス

尖兵中隊長(尖兵中隊ナキ場合ニ於テハ尖兵長)ハ縱隊ノ進路ヲ誤ラザルコ

トニ關シ責任ヲ有スルモノトス

第六十二 尖兵ハ通常將校ノ指揮スル歩兵一小隊以下ノ兵力ヲ以テ之ニ充テ主トシテ進路上ノ搜索ニ任ゼシムルモノニシテ尖兵長ハ通常尖兵主力ノ前方ニ在リテ行進シ前方ニ發生スル事件ヲ速カニ判別スルヲ要ス

尖兵ト之ヲ出シタル部隊トノ距離ハ狀況ニ應ジ伸縮スルヲ常態トスルモ三百乃至四百米ヲ標準トス

第六十三 前兵ニ屬スル騎兵ハ之ヲ騎兵尖兵ト爲スカ若クハ行進路側方ノ搜索ニ使用シ時宜ニ依リ此ノ兩者ノ爲使用ス

騎兵尖兵ハ長以下少數ノ兵力ヨリ成リ縱隊ノ最先頭ヲ行進シ主トシテ進路上ノ搜索ニ任ジ常ニ背後ニ在ル部隊トノ連絡ヲ保持スルモノトス

第六十四 前衛ニ屬スル騎兵ハ主トシテ前衛ノ爲ノ搜索ニ任ジ歩兵トノ連絡ヲ失ハザル如ク其ノ行動ヲ規正スルモノトス狀況ニ依リ之ニ歩兵等ヲ配屬ス

第六十五 前衛ニ屬スル戰車ハ進路上ノ抵抗打破若クハ要點奪取等ノ爲使用スルヲ通常トシ其ノ使用ノ目的ニ應ジ必要ナル方面ニ派遣シ或ハ前衛ノ前方又ハ適宜ノ位置ヲ躍進セシム時トシテ別路ヲ配當スルヲ有利トスルコトアリ

戰車ヲ前衛ノ主力ト遠ク分離シテ行動セシムル場合ニ於テハ自動車ニ搭乘セル一部ノ歩、工兵等ヲ配屬スルヲ有利トスルコトアリ

第六十六 側敵行及退却行ニ在リテモ所要ニ應ジ警戒、進路上ノ障碍排除等ノ爲前衛ヲ設ク蔭蔽地或ハ敵ノ騎兵、機甲部隊、空輸挺進隊等ニ對スル顧慮アル場合ニ於テ特ニ然リ而シテ其ノ兵力、編組及行動ハ之ニ課スベキ任務及當時ノ狀況ニ基キ之ヲ定ムルモノトス

第二節 側衛

第六十七 側敵行ニ於ケル側衛ノ行動ハ概ネ左ニ準據スルモノトス

一、主力縦隊ト併進シ其ノ側敵行動ヲ掩護ス
 二、要スレバ主力縦隊行進路ノ側方ニ陣地ヲ占領シテ其ノ通過ヲ安全ナラシム

三、非常ノ場合ニ於テハ敵ヲ攻撃シテ之ヲ抑留シ我が主力縦隊ニ近迫スルコト能ハザラシム

側衛ハ如何ナル場合ニ於テモ主力縦隊ヲシテ戰鬥ヲ避ケシムルコト緊要ナリ

第六十八 側衛ノ兵力、編組ハ狀況特ニ危険ノ大小ト地形トニ應ジテ之ヲ定メ且搜索及連絡ノ爲所要ノ部隊ヲ配屬スルヲ有利トス

第六十九 側衛ノ部署及警戒法ハ狀況ニ依リ異ナルモ主力縦隊ト併進スル場合ニ於テハ通常側兵等ヲ以テ側面ヲ警戒シ所要ニ應ジ側衛前兵、側衛後兵等ヲ以テ正面及背後ヲモ警戒スルモノトス

第七十 前進行及退却行ニ在リテモ亦縦隊ノ側方ヲ警戒スルヲ要ス蔭蔽

地又ハ優勢ナル敵ノ騎兵、機甲部隊等ニ對スル顧慮アル場合ニ於テ特ニ然リトフ之ガ爲斥候ノミニテ十分ナラザルトキハ前(後)兵、前(後)衛本隊及本隊ヨリ所要ノ側衛ヲ派遣ス

側衛ノ要度ハ前進行ニ於ケルヨリモ退却行ニ於テ大ナルヲ通常トス而シテ退却行ニ於テハ騎兵ハ特ニ敵ノ迂回行動ヲ搜索スルコト緊要ナリ

側衛ハ本隊ニ比シ不良且長遠ノ進路ヲ行進スルコト多キヲ以テ派遣ノ時機及要求スベキ行動等ニ關シ特別ノ注意ヲ必要トス

第三節 後衛

第七十一 退却行ニ於ケル後衛ノ行動ハ概ネ左ニ準據スルモノトス

- 一、本隊ニ續行シツツ其ノ退却ヲ掩護ス
- 二、要スレバ陣地ヲ占領シテ敵ノ前進ヲ拒止ス
- 三、非常ノ場合ニ於テハ全隊ノ爲犠牲トナリ以テ本隊ノ退却ヲ容易ナラ

シム

後衛ハ常ニ敵ノ迂回若クハ包圍ヲ受ケ易キヲ以テ特ニ搜索ヲ周密ニシ又隣接シテ退却スル部隊ノ後衛アルトキハ之ト連絡スルコト緊要ナリ

第七十二 後衛ノ兵力、編組ハ本隊ノ状態、危険ノ大小、地形、明暗ノ度等ヲ考慮シ本隊ノ援助ヲ胸算スルコトナクシテ其ノ任務ヲ遂行シ得ル如ク之ヲ定ムルモノトス而シテ晝間ノ爲ニハ騎兵及砲兵ノ兵力ヲ大ナラシムルヲ有利トシ靱強ナル抵抗ヲ豫期スルトキハ歩兵特ニ機關銃及對戰車火砲竝ニ阻絶、破壊等ノ作業ニ任ズル部隊ヲ大ナラシムルヲ必要トシ尙戰車、自動車等ヲ配屬スルヲ得バ有利ナリ

後衛ト本隊トノ距離ハ本隊ノ行進遲滯ヲ考慮シ前衛ニ於ケルヨリモ大ナラシムルヲ通常トス

第七十三 後衛ハ通常後衛本隊及後兵ニ區分シ後衛ニ有力ナル騎兵ヲ配屬セラレタルトキハ別ニ之ヲ後方又ハ危険ナル側方ニ使用スルモノトス

後兵ハ通常後衛尖兵中隊ヲ、後衛尖兵中隊ハ通常後衛尖兵ヲ出シテ警戒スルモノトス

阻絶、破壊等ノ作業ニ任ズル部隊ハ作業ノ所要時間ヲ考慮シ通常先行セシムルヲ有利トス

第七十四 側敵行及前進行ニ在リテモ背後ノ警戒ヲ必要トスル場合ニ於テハ後衛ヲ設ク而シテ其ノ兵力、編組及行動ハ時ノ状況ニ應ジ之ヲ定ムルモノトス

第四節 騎兵及機械化部隊ノ警戒

第七十五 獨立シテ行動スル騎兵部隊ノ警戒ハ本章第一乃至第三節ノ要領ニ準ジ部署スベシト雖モ其ノ搜索力ノ優秀ナルト兵力ノ集結ヲ必要トスル特性トニ鑑ミ成ルベク警戒部隊ニ用フル兵力ヲ節約シ勉メテ梯次ノ警戒區分ヲ省略シ且適宜各梯隊間ノ距離ヲ増大スルモノトス

第七十六 獨立シテ行動スル騎兵部隊敵飛行機、機甲部隊等ニ對スル警戒ノ爲ニハ巧ニ地形ヲ利用シ進路、休憩地、行動時期等ノ選定ヲ適切ニシ勉メテ其ノ行動ヲ秘匿シ以テ其ノ警戒ヲ容易ナラシムルト共ニ敵ノ機甲部隊ニ對シテハ有利ノ地點ニ於テ其ノ行動ヲ阻止センガ爲成ルベク遠ク搜索スルヲ可トス

第七十七 獨立シテ行動スル機械化部隊ノ警戒ハ騎兵ノ警戒要領ニ準ズルノ外特ニ敵飛行機ニ對スル警戒ヲ嚴ニシ且速度、地形等ヲ利用シテ企圖及行動ノ秘匿ニ勉メ又彼我一般ノ狀況ヲ明カニシ以テ不慮ノ危険ナカラシムルト共ニ進路上ノ障礙ニ關シ細心ノ注意ヲ拂フコト緊要ナリ

第二章 駐軍間ノ警戒

要則

第七十八 駐軍間ノ警戒ハ主トシテ前哨ヲ以テ之ヲ行フモノトス

第七十九 警戒部隊ノ兵力、編組、配置、指揮ノ系統、勤務ノ方法等ハ我が軍ノ目的、彼我ノ状態、地形、明暗ノ度、警戒時間ノ長短等ヲ考慮シ之ヲ定ムルモノニシテ一定ノ形式ニ陥ルコトナク且一旦之ヲ定ムルモ爾後要スレバ適宜修正ヲ加ヘ常ニ狀況ノ推移ニ適應セシムベキモノトス

第八十 敵トノ距離大ニシテ主トシテ敵ノ快速戰車、騎兵斥候等ニ對スル顧慮アルニ過ギザル狀況ニ於テハ單ニ敵方ニ近キ各宿營地毎ニ直接警戒ヲ行ヒ要スレバ小ナル部隊ヲ以テ前哨ニ任ジ敵方ニ通ズル道路ノ要點ヲ占領セシムレバ足ル然レドモ機甲部隊等ノ急襲ヲ受クルノ虞アルニ至レバ前哨ノ兵力ヲ増大シ搜索ヲ遠距離ニ及シ適時之ヲ拒止スルノ方法ヲ講ズルコト必要ナリ

敵ト近接シ敵襲ヲ受クルノ虞増大スルニ伴ヒ一層警戒ヲ嚴ナラシムル爲所要ノ前哨部隊ヲ配置シ各種ノ工事及連絡ノ施設ヲ整ヘ要スレバ警戒地域ヲ

數箇ノ前哨區ニ分チ各區ニ前哨部隊ヲ置キ各宿營部隊モ亦直接警戒ヲ嚴ナラシムルモノトス

敵ト一層近接シ軍隊全部ノ戰鬪準備ヲ必要トスルニ至レバ前哨ハ主トシテ戰鬪上ノ考慮ニ基キテ部署ヲ定ム而シテ敵ニ關スル顧慮益々大ナルニ從ヒ前哨ノ兵力ヲ増大シ其ノ警戒組織ヲ益々周密ニシ遂ニ前哨各部ノ區分ヲ廢シ主力ヲ以テ陣地ヲ占領シ戰鬪準備ヲ整フルニ至ルモノトス

第百八十一 敵ト近接シテ廣地域ニ位置スル部隊又ハ廣漠地ニ駐止スル部隊等兵力ニ比シ大ナル正面ヲ警戒セザルベカラザルトキハ統一セル前哨ヲ設クルコトナク勉メテ各部隊相互ニ掩護セシムル如ク其ノ配置ヲ定メ各宿營部隊ノ擔任スベキ警戒地域、連絡法等ヲ示シ宿營地毎ニ必要ナル前哨ヲ配置シ警戒セシムルヲ通常トス

第百八十二 前哨ハ通常歩兵ヲ以テ之ニ充テ所要ニ應ジ騎兵、砲兵、工兵、通信部隊等ヲ配屬スルモノトス

第百八十三 統一セル前哨ヲ設クル場合ニ於ケル一前哨區ノ兵力ハ通常歩兵一大隊以下トシ之ヲ前哨大(中)隊等ト稱ス

數箇ノ前哨區ヲ設ケタル場合ニ於テハ之ヲ統一スベキ前哨司令官ヲ置クコトアリ

第百八十四 警戒地域ノ境界ハ成ルベク天然ノ地形ニ依リ且敵ノ近接シ易キ主要ナル道路及地區ハ勉メテ之ヲ境界線上ニ在ラシメザル如ク定ムルコト特ニ緊要ナリ

第百八十五 前哨大隊ハ通常前哨中隊ヲ、前哨中隊ハ通常小哨又ハ歩哨ヲ、小哨ハ歩哨ヲ出シテ警戒ス狀況ニ依リ前哨大隊若クハ更ニ後方ノ部隊ヨリ直チニ其ノ前方或ハ側方ニ小哨ヲ配置スルコトアリ

第百八十六 前哨ヲ配置スルニハ主要ナル道路及敵ノ近接容易ナル地區ヲ警戒シ所要ニ應ジ敵方ヲ展望スルニ便ナル地點及敵側ヨリ我が狀況ヲ視察スルノ虞アル地點要スレバ更ニ戰鬪ノ考慮上必要ナル地點ヲ占領シ時トシ

テ一部隊ヲ前方ノ地障線上或ハ交通路上ノ要點ニ派遣スルコトアリ而シテ常ニ側背ノ警戒ニ關シ遺漏ナキヲ期セザルベカラズ

敵機甲部隊ノ急襲ニ對シテハ地形ノ利用ヲ巧ニシ地雷、陷穽其ノ他ノ方法ニ依リ進路ヲ阻絶シ所要ノ火炮ヲ配置スルヲ要ス此ノ際地障線等ヲ利用シ成ルベク速ク敵ヲ拒止スルヲ有利トス

第百八十七 前哨ニ屬スル機關銃、歩兵砲、砲兵等ハ敵襲ノ虞アル地區ニ對シ抗戰スルニ適スル陣地附近ニ位置セシムルモノトス又前哨ニ屬スル騎兵ハ搜索及傳令ニ使用スベキモノニシテ搜索ノ爲ニハ晝間通常前方ニ行動セシメ夜間ニ於テモ其ノ一部ヲ前方ニ留メ監視ニ任ゼシムルコトアリ

第百八十八 前哨ハ常ニ戰備ヲ整へ敵襲ニ際シテハ全力ヲ盡クシテ抗戰スルモノトス

前哨各部隊及哨兵ハ連絡施設及交通路要點ノ阻絶、障碍物ノ設置、掩體ノ構築、交通設備、遮蔽、偽裝等ニ關シ必要ノ處置ヲ講ズルモノトス

前哨ノ爲構成スベキ通信網ハ勉メテ其ノ警戒配備ヲ終ル迄ニ之ヲ完了スルヲ要ス

第百八十九 前哨ハ敵ノ搜索ヲ妨グルト共ニ適時奇襲ヲ豫知スル爲必要ナル範圍ノ搜索ヲ行フモノトス而シテ敵ト近接スルニ至レバ晝夜ヲ問ハズ接觸ヲ保持シ常ニ其ノ狀況ヲ明カニシアルコト緊要ナリ

第百九十 駐軍長キニ互レバ前哨ハ工事、連絡等ノ諸施設ヲ益、完全ニシ各種ノ手段ヲ盡クシテ警戒ニ遺憾ナカラシムルト共ニ兵力ノ愛護ヲ圖ルコト緊要ナリ而シテ其ノ配備ハ所要ニ應ジ之ヲ變更シ敵ヲシテ乘ズルノ隙ナカラシムルヲ要ス

第百九十一 對陣長キニ互ル場合、他國軍ト協同スル場合其ノ他必要ナル場合ニ於テハ通常高級指揮官ハ合言葉ヲ定ムルモノトス

前哨大隊長若クハ前哨中隊長ハ要スレバ夜間互ニ相識ルコトヲ容易ナラシムル爲識別法ヲ定ムルヲ可トス

第一節 行軍間ノ警戒ト駐軍間ノ警戒ト

ノ相互ノ轉移

第百九十二 高級指揮官宿營ニ決セバ速カニ各部隊ノ宿營スベキ地域要スレバ爾後ノ企圖及豫想スル駐止時間等ヲ示シ警戒ニ關シ所要ノ命令ヲ下ス
第百九十三 前衛司令官ハ高級指揮官ノ命令ニ基キ速カニ前哨ニ任ズベキ部隊ヲ指定シ其ノ行動ヲシテ最モ迅速ナラシムル爲通常左ノ事項中先ヅ須要ノ件ニ關シ命令スルモノトス

全般ノ狀況

前衛司令官ノ企圖及前衛本隊ノ所在
前哨ノ編組、任務要スレバ前哨區ノ境界
後方ノ部隊又ハ前衛本隊ヨリ直接派遣スベキ警戒部隊アルトキハ其ノ位

置、部隊號、任務等ニ關スル事項

連絡ニ關スル事項

要スレバ給養、防空、瓦斯防護等ニ關スル事項

前衛司令官ノ位置等

爾後前衛司令官ハ前衛本隊ノ爲所要ノ命令ヲ下シ休止ニ移ラシムルト共ニ要スレバ前哨ニ與ヘタル命令ヲ補足スルモノトス

前衛司令官ハ前哨ヲ配置スルモ警戒及比隣部隊トノ連絡ニ關シ責任ヲ有ス
第百九十四 各宿營地毎ニ前哨ヲ配置スル場合ニ於テ當該宿營地ニ在ル高級先任ノ指揮官ノ行軍間ノ警戒ヨリ駐軍間ノ警戒ヘノ轉移ニ關スル處置及責任ハ第百九十三ニ準ズ

前項ノ場合高級先任ノ指揮官ハ舍(露)營司令官ヲシテ其ノ處置及責任ヲ執ラシムルヲ有利トスルコトアリ

第百九十五 前哨大隊長ハ前衛命令ヲ受クルヤ前哨ノ配置ニ關シ先ヅ緊急

ノ處置ヲ迅速ニ實行セシムル爲必要ノ命令ヲ下ス而シテ此ノ命令ハ爲シ得レバ行軍中ニ下達スルヲ要ス此ノ際敵トノ接觸ヲ保持シ若シ之ヲ失ヒタルトキハ速カニ恢復ヲ圖ルコト緊要ナリ

前項ノ命令ニ包含セシムベキ事項概ネ左ノ如シ

全般ノ狀況

前哨大隊長ノ企圖

騎兵ノ任務

前哨中隊其ノ他直接前哨大隊ヨリ出ス警戒部隊ノ編組、任務、行動（位置、警戒地域、敵襲ニ際シ取ルベキ處置要スレバ前哨抵抗線時トシテ

歩哨線ノ位置、對空ノ處置、瓦斯防護ニ關スル事項等）

前哨大隊ノ所在

連絡施設

前哨大隊長ノ位置等

前項ノ命令ト同時若クハ現地視察後速カニ概ネ左ノ事項ニ關シ命令スルモノトス

機關銃、歩兵砲、砲兵、工兵等ノ行動中前哨中隊及小哨ニ關係アル事項

道路ノ阻絶、障碍物ノ設置、交通ノ設備等ニ關スル特別處置

工事援助ノ爲前遣スベキ部隊アルトキハ其ノ行動

戰備ノ度

給養ニ關スル事項等

前衛司令官ヨリ直接出サレタル前哨中隊長竝ニ各宿營地毎ニ警戒スル場合ニ於ケル前哨ノ指揮官ノ行動モ亦前諸項ニ準ズ

第九十六 前哨ノ各部隊ハ命令ヲ受クルヤ自ラ警戒法ヲ講ジ成ルベク遮蔽シテ迅速ニ所定ノ位置ニ赴クモノトス

第九十七 行軍ヨリ駐軍ニ移ルニ際シ前方ニ派遣セラレアル前衛ノ騎兵、戰車、輕裝甲車等ハ別命ナキトキト雖モ通常警戒ニ便ナル要點ニ位置

シテ搜索ニ從事スルモノトス而シテ後方ニ於ケル配備完了セバ前衛司令官ハ此等ヲ安全ノ地ニ歸來シ宿營セシムルヲ通常トス狀況ニ依リ騎兵ヲシテ歩哨線ノ前方ニ在リテ警戒及搜索ニ任ゼシムルコトアリ何レノ場合ニ於テモ前哨ハ此等ノ部隊トノ連絡ヲ保チ前方ノ狀況ヲ明カニスルヲ得バ有利ナリ

第九十八 宿營セル軍隊前進セントスルトキハ通常前哨ノ掩護ニ依リ新ナル警戒部隊ヲ前進セシメ然ル後前哨ヲ撤スルヲ有利トス

第九十九 退却行及側敵行ニ於ケル行軍間ノ警戒ト駐軍間ノ警戒トノ相互轉移ニ關シテハ本節ヲ準用スルモノトス

第二節 前哨大隊

第二百 前哨大隊ハ敵襲ニ際シ前哨中隊及直接前哨大隊ヨリ派遣シタル小哨ヲ増援シ狀況ニ依リテハ之ヲ收容ス之方爲通常交通便利ナル要點ニ位置

スルモノトス

第二百一 前哨大隊長ハ前哨ノ配置良ク時ノ狀況ニ適スルヤ否ヤニ就キ其ノ責ニ任ジ隣接スル前哨トノ連絡及各前哨中隊相互間ノ連絡ヲ確實ナラシメ要スレバ連絡ノ爲特ニ一部隊ヲ配置シ又蔭蔽地ヲ通ジテ前哨ヲ配置スルトキハ道標ヲ設ケ交通路ヲ開設スル等所要ノ設備ヲ行フモノトス長ク敵ト對峙スルガ如キ場合ニ於テ特ニ然リ

第二百二 前哨大隊長ハ前哨大隊ニ於ケル各部隊ノ行動、戰備ノ度、直接警戒、瓦斯防護、給養等ニ關スル事項ヲ定ムルモノトス

對空監視ノ爲ニハ通常對空班ヲシテ前哨大隊ノ位置要スレバ其ノ附近適當ノ地點ニ對空監視哨ヲ配置セシム時トシテ前哨中隊ノ對空監視法ヲ指定スルコトアリ

第二百三 前哨大隊長ハ前哨大隊ノ位置ヲ定位トシ所要ノ連絡機關ヲ備ヘ狀況嚴ナル警戒ヲ要スルトキハ前哨各部隊及隣接前哨間ハ電話ニ依リ連絡

ヲ保持セシムルヲ要ス

前哨大隊長若シ前哨各部ノ警戒法ヲ視察シ又ハ其ノ他ノ事由ニ由リ定位ヲ離ルルトキハ高級先任ノ將校ヲシテ代リテ其ノ職務ヲ執ラシメ且常ニ其ノ所在ヲ明カナラシメ置クヲ要ス

前哨中隊長及小哨長ニモ亦前項ノ規定ヲ適用ス

第二百四 前哨大隊長ハ速カニ其ノ配備ヲ報告シ爾後前哨中隊等ノ報告到着セバ更ニ之ヲ補足スルモノトス

第三節 前哨中隊

第二百五 前哨中隊ハ通常主要ナル抵抗線ヲ成形スルモノニシテ別命ナケレバ極力敵襲ヲ拒止スベキモノトス故ニ前哨中隊ハ此ノ目的ニ適スル要點ニ配置シ時トシテ機關銃、歩兵砲、砲兵、工兵等ヲ配屬スルコトアリ

第二百六 前哨中隊ノ數ハ敵情、地形特ニ警戒正面等ニ依リ異ナルモノト

ス
前哨中隊ニハ特別ノ番號ヲ附スルコトナク各、其ノ中隊ノ番號ニ前哨ノ語ヲ冠シテ稱呼スルモノトス

第二百七 前哨中隊ノ配備ハ敵情、地形、道路網等ニ依リ異ナルモ通常小哨時トシテ歩哨ヲ配置スルノ外時々必要ナル方面ニ斥候、巡察ヲ派遣シテ警戒シ敵襲ニ對シ常ニ戰備ヲ缺カザルコトニ關シテハ中隊長身ヲ以テ其ノ責ニ任ズルモノトス

第二百八 前哨中隊長ハ通常先ヅ速カニ中隊ノ位置及警戒ノ部署ヲ定メ各、其ノ配置ニ就カシメ爾後自ラ現地ヲ視察シテ所要ノ修正ヲ爲シ且敵襲ニ際シ取ルベキ處置、所要ノ工事、戰備ノ度、中隊ノ諸勤務等ヲ定ム

中隊ヨリ支分スル兵力ハ勉メテ之ヲ節約シ中隊主力ノ抵抗力ヲ減殺セザルコト緊要ナリ

第二百九 前哨中隊長ハ成ルベク速カニ其ノ配備 晝夜ニ依リ異ナルモノハ之ヲ區別ス ヲ報告

シ且比隣ノ前哨部隊爲シ得レバ前哨線ノ前方ニ在ル部隊ニモ之ヲ通報スルモノトス

第二百十 中隊戦備ノ度ニ關シテハ中隊及小哨ヲ掩蔽下ニ入ラシムベキヤ、天幕ヲ使用セシムベキヤ、下士官兵ノ一部ハ銃ヲ手ニシアルベキヤ竝ニ假眠ヲ許スベキ範圍、服裝、炊事、探暖、對空、瓦斯防護等ニ就キ必要ナル事項ヲ定ムルモノトス

前哨中隊ノ一部ハ常ニ又銃線ノ側ニ在リテ戦備ヲ整ヘ許可ヲ得ルニアラザレバ一名ト雖モ中隊ノ位置ヲ離ルベカラズ又馬ハ許可ヲ得ルニアラザレバ鞍ヲ卸サザルモノトス

前哨中隊ニ於テ炊事ヲ行ヒ或ハ焚火ヲ爲スノ止ムヲ得ザルトキハ火煙ヲ暴露セザル如ク細心ノ注意ヲ必要トス

第二百十一 前哨中隊ノ位置ニハ直接警戒ノ爲銃前哨要スレバ更ニ對空監視哨ヲ設クルモノトス

銃前哨ハ通常單哨トスルモ中隊掩蔽下ニ入ルカ或ハ地形蔭蔽セルトキハ通常複哨トシ狀況ニ依リ其ノ箇數ヲ增加ス

第二百十二 軍使來リシトキ豫メ指示ナキ場合ニ於テハ前哨中隊長ハ歩哨線外ニ於テ來意ヲ聽キ軍使ハ直チニ歸去セシメ後之ヲ上級指揮官ニ報告スルモノトス

小哨ヨリ送付シ來リタル者ニシテ我が軍ニ屬スルコトヲ確認スル能ハザル者、舉動疑ハシキ者、投降者、俘虜及間諜ニ對シテハ監視者ヲ附シ直チニ上級指揮官ノ許ニ送付スルモノトス此ノ際監視者ハ此等ノ者ト談話スベカラズ

第四節 小哨

第二百十三 小哨ハ歩哨ノ支援及後據タルモノニシテ警戒上ノ要點ニ位置シ必要ナル搜索ヲ行ヒ敵襲ニ際シテハ其ノ後方ノ部隊ヲシテ戦備ヲ整フル

ノ時間ヲ得シムルモノトス
小哨ハ前哨中隊ヨリ出サレタルトキハ同中隊内ニ於テ右翼ヨリ順次一連ノ番號ヲ附シ前哨中隊以外ヨリ出サレタルトキハ當該指揮官適宜命名スルモノトス

第二百十四 小哨ハ其ノ重要ノ度ニ應ジ一小隊以下ノ兵力ヲ以テ之ニ充ツ狀況特ニ之ヲ要スレバ機關銃、對戰車火炮、携帶地雷、犬等ヲ配屬スルコトアリ

第二百十五 小哨ハ敵ニ關スル顧慮大ナラザル狀況ニ於テハ主トシテ敵方ニ通ズル道路及重要ナル地點ニ步哨ヲ配置シ其ノ間隙ニハ所要ニ應ジ斥候、巡察ヲ派遣シテ警戒セシムルヲ通常トス然レドモ晝間開豁地ニ於テハ單ニ展望哨ヲ出シテ監視セシムルヲ以テ足レリトスルコトアリ
小哨ハ警戒嚴ナルヲ要スルニ從ヒ步哨ヲ互ニ近ク相接シテ配置シ以テ一人ト雖モ其ノ眼ヲ逃レ射撃ヲ受クルコトナク步哨線ヲ通過スルヲ得ザラシム

ルモノトス之ガ爲夜間又ハ濃霧等ノ際ハ一層近ク步哨ヲ相接セシムルヲ要スルコトアリ

第二百十六 小哨長警戒ニ關スル任務ヲ受クレバ速カニ斥候ヲ派遣シテ步哨配置間ノ警戒ニ任ゼシメ且前方ノ地形ニ通曉セシムルヲ要ス

第二百十七 小哨長步哨ヲ配置スルニハ通常步哨掛又ハ分哨長ヲシテ各哨所ニ屬スル兵^{交代}ヲ引率シ豫定哨所ニ分進セシメ爾後自ラ各哨所ニ到リ特別守則ヲ與ヘ必要ナル事項ヲ規定ス

豫メ哨所ヲ概定スル能ハザルカ或ハ哨所ノ指示困難ナルトキハ豫想スル人員ヲ率キ必要ナル地ヨリ逐次ニ配置ス

狀況ニ依リ前二項ノ方法ヲ併用スルコトアリ
特別守則ハ之ヲ步哨掛又ハ分哨長ニ與ヘ同時ニ各兵ニモ聽聞セシムルモノトス

第二百十八 步哨ノ交代法ハ軍隊ノ狀況、敵情、季節等ヲ考慮シテ小哨長

之ヲ定ム而シテ長期ノ駐軍間ニ在リテハ時々交代法ヲ變更スルヲ有利ト
 ス
 歩哨ノ配置及交代ノ際其ノ位置ヲ敵ニ察知セシメザルコトニ就テハ特ニ注
 意スルヲ要ス
第二百十九 小哨長ハ歩哨配置ノ爲出發ニ先ダチ通常小哨ノ位置ヲ定メ其
 ノ直接警戒爲シ得レバ工事ノ諸準備ヲ命ジ置クモノトス
 小哨長ハ歩哨ノ配置終レバ速カニ銃前哨ヲ配置シ之ニ特別守則ヲ與ヘテ小
 哨直接ノ警戒ニ任ゼシメ且所要ノ工事ヲ行ヒ又歩哨及銃前哨ニ充テザル者
 ヨリ若干ノ斥候、巡察ヲ區分シ殘餘ノ者ヲ以テ其ノ他ノ勤務ニ充ツルモ
 ノトス
 歩哨ノ配置ヲ終レバ小哨ハ銃ヲ銃架ニ托シ或ハ又銃セシム又擲彈筒ハ背囊
 ヨリ脱シ通常之ヲ小銃ノ附近ニ置カシメ輕機關銃ハ之ヲ銃架(又銃)ノ附近
 ニ置クカ或ハ陣地ニ就カシム極寒時ニ於テハ特ニ此等兵器ノ保温ニ關シ注

意スルコト緊要ナリ

第二百二十 小哨長ハ成ルベク速カニ其ノ配置晝夜ニ依リ異ナルモノハ之ヲ區別スヲ報告シ且
 隣接スル前哨部隊ニ連絡スルモノトス

第二百二十一 小哨ノ戰備ヲ確實ナラシムルハ小哨長ノ重要ナル責任トス
 特ニ軍隊疲勞セル場合或ハ駐軍長キニ互ル場合ニ於テハ警戒心ニ弛緩ヲ生
 ゼシメザルコト緊要ナリ

小哨長ハ小哨ニ在ル者ノ背囊ヲ卸サシメ又上級指揮官ノ定ムル所ニ依リ交
 互ニ假眠セシムルコトヲ得

小哨ノ位置ニ在ル下士官以下ハ常ニ銃劍彈藥 盒共及防毒面ヲ身體ニ著ケ且許可
 ヲ得ルニアラザレバ一名ト雖モ小哨ノ位置ヲ離ルベカラズ

第二百二十二 小哨長ハ晝間屢、警戒地域ヲ巡視シテ地形ヲ認識スルト共
 ニ下士官以下ニモ機會アル毎ニ地形ヲ認識セシメ置クヲ要ス然レドモ夜間
 ニ於テハ小哨長ハ勉メテ定位ニ在ルヲ要ス

第二百二十三 小哨長ハ步哨ヨリ報告シ來リタル者ニシテ我が軍ニ屬スルコトヲ確認セバ步哨線ノ通過ヲ許シ然ラザル者及我が軍ニ屬スル間諜ハ監視者ヲ附シ直チニ之ヲ上級指揮官ノ許ニ送付スルモノトス此ノ際監視者ハ此等ノ者ト談話スベカラズ
軍使來リシ場合ニ於テハ直チニ之ヲ上級指揮官ニ報告スルモノトス

第五節 步哨

第二百二十四 步哨ハ通常最前線ノ監視線ヲ成形スルモノトス故ニ步哨ハ任務ノ重大ナルニ鑑ミ常ニ身ヲ以テ其ノ責ニ任ゼザルベカラズ

第二百二十五 步哨ヲ分チテ分哨及複哨トシ分哨ハ重要ナルカ或ハ交代不便ナル地點等ニ配置ス

步哨ハ之ヲ出シタル部隊毎ニ右翼ヨリ順次一連ノ番號ヲ附シ第一分哨、第二複哨等ト稱呼ス

第二百二十六 分哨ハ通常哨長タル下士官又ハ上等兵以下四乃至七名トシ狀況ニ依リ更ニ其ノ兵力ヲ増加シ時トシテ輕機關銃ヲ附スルコトアリ
分哨ハ通常一部ヲ以テ監視ニ任ゼシメ爾餘ハ直接其ノ近傍ニ在リテ待機シ勉メテ遮蔽シアルモノトス但シ全員常ニ銃ヲ手ニシアルヲ要ス
極寒時等ニ於テハ分哨ト雖モ短時間内ニ交代セシムルヲ要スルコトアリ

第二百二十七 複哨ハ所要ノ兵員ヲ步哨掛タル下士官又ハ上等兵ノ指揮ニ屬シ通常二乃至四名ヅツ交代服務セシムルモノトス而シテ二人哨ハ小哨ニ近キカ或ハ警戒容易ナル地點ニ配置スルヲ通常トス
小哨ヨリ複哨ヲ出ス距離ハ通常四百米以内トス

第二百二十八 步哨ハ小哨長ノ命ニ依リ背囊ヲ小哨ノ位置ニ殘置スルヲ通常トス

步哨ニハ通常手榴彈要スレバ眼鏡、擲彈筒、對戰車地雷等ヲ携行セシム此等ノ使用ニ關シテハ所要ニ應ジ小哨長之ヲ指示スルモノトス

第二百二十九 歩哨ノ位置ハ成ルベク十分ナル展望ヲ有シ且敵ニ對シテ遮蔽シ得ルヲ要ス之ガ爲樹木、家屋、堆土等ヲ利用シ要スレバ眼鏡ヲ使用シ所要ノ偽裝ヲ爲シ且勉メテ掩體、障碍物等ノ工事ヲ施スヲ要ス而シテ工事ノ實施ニ關シテハ小哨長之ヲ命ズルモノトス

歩哨ハ高所ニ在ルトキハ音響ヲ聽キ火煙ヲ視ルニ便ニシテ夜間低地ニ在ルトキハ敵ヲ空際ニ透視シ得ルノ利アリ而シテ晝夜其ノ位置ヲ變更スルコトハ監視ノ爲往々必要ナルノミナラズ之ニ依リテ夜間ニ於ケル敵ノ奇襲ヲ避ケ得ルコトアリ

瓦斯ニ對スル顧慮大ナルトキハ特ニ風向、地形等ニ應ジ瓦斯使用ノ徵候、瓦斯ノ流來等ヲ發見スルニ便ナル如ク歩哨ノ位置ヲ決定スルヲ要ス

第二百三十 歩哨掛又ハ分哨長ハ任務ヲ受クルヤ部下ヲ率キ所要ノ警戒ヲ爲シツツ速カニ其ノ哨所ニ到リ遮蔽シテ取敢ズ監視ニ任ジ小哨長ノ來ルヲ待ツモノトス此ノ際小哨長誘導ノ爲案内者ヲ出スヲ可トスルコトアリ

歩哨掛又ハ分哨長ハ特別守則ヲ受クルヤ之ヲ兵ニ十分徹底セシメ歩哨ノ爲所要ノ設備ヲ施シ地形ヲ諳識セシメ爾後復哨ニ在リテハ歩哨掛其ノ交代兵ヲ率キテ小哨ノ位置ニ歸還スルモノトス

第二百三十一 歩哨線ニ在ル歩哨ハ左ノ一般守則ニ基キ行動スベキモノトス

一、絶エズ敵方ヲ監察シ併セテ四圍ヲ警戒シ總テノ徵候ニ深ク注意ス
敵ニ關シ發見セバ良ク之ヲ確メテ其ノ一名ハ報告シ若シ猶豫シ難キトキハ急射撃又ハ信號ヲ爲シ且一名ハ急報ス
少數ノ敵兵近接セバ殺スカ又ハ捕獲スベシ

二、歩哨線ノ出入ヲ許スハ我が軍ノ部隊、將校、斥候、巡察、傳令トシ爾餘ノ者ニ關シテハ小哨長ノ指示ヲ受ク
夜間近ヅク者アラバ銃ヲ構ヘテ良ク確メ彼我判明セザルトキハ機先ヲ制シテ「誰カ」ト呼ブ三回呼ブモ答ナケレバ殺スカ又ハ捕獲スベシ

- 自動車ハ停止セシメテ取調ブベシ
歩哨ノ命ニ反スル者ハ殺スカ又ハ捕獲スベシ
- 三、出發スル斥候ヨリハ任務、經路、歸來ノ地點、時刻等ノ概要ヲ聽キ自己見聞ノ狀況ヲ告ゲ歸來スル斥候ヨリハ其ノ見聞セシ事項ヲ聞クベシ
- 四、白旗ヲ掲ゲ遠方ヨリ軍使タルヲ表ハス者ト降參人トニ對シテハ敵トシテ取扱ハズ歩哨線外ニ之ヲ止メ敵ノ方向ニ面セシメ降參人ニハ武器ヲ棄テシメ乘馬(車)者ハ下馬(車)セシメ速カニ報告スベシ此ノ際無用ノ談話ヲ避ケ特ニ欺カレザル様注意スベシ
- 五、歩哨ハ喫煙スベカラズ命令ナケレバ坐臥スルヲ得ズ銃ハ手ヨリ放スベカラズ晝間ハ立銃、提銃又ハ腕ニ銃ヲ、夜間ハ提銃又ハ腕ニ銃ヲ爲ス

第二百三十二

小哨長ハ歩哨ノ特別守則ヲ定メ良ク之ヲ徹底セシム其ノ内

容ハ狀況ノ推移ニ應ジ適時補修スベキモノトス
特別守則ニ於テ示スベキ事項及順序概ネ左ノ如シ

其ノ歩哨ノ番號

必要ナル道路、村落、地物等ノ名稱(要スレバ寫景圖、要圖等ヲ利用ス)

敵情

前方ニ在ル我が部隊及斥候ノ狀況

特ニ監視スベキ要地又ハ方向

敵ノ瓦斯使用及之ニ對スル警戒法等ニ關シ注意スベキ事項

隣歩哨ノ位置、番號及之トノ連絡法

小哨、中隊等ノ位置及之ニ通ズル經路

歩哨ノ監視法、姿勢、交代法要スレバ瓦斯兵ノ行動、敵襲ニ際シ取ルベ

キ處置

信號及警報

其ノ他特ニ注意スベキ事項

第二百三十三 歩哨ハ敵襲ニ方リ後退ヲ命ゼラレアル場合ニ於テモ過早ニ其ノ位置ヲ棄ツルコトナク沈著シテ行動シ敵ト接觸シツツ後退スルヲ要ス此ノ際我が部隊ノ位置ヲ敵ニ知ラシメザルコト及我が部隊ノ射撃ヲ妨害セザルコトニ注意スルヲ要ス

第二百三十四 複哨ノ交代ハ歩哨掛立會ノ下ニ之ヲ行ヒ下番者ハ見聞セシ事件及我が軍ノ斥候ニシテ前方ニ出デタル者アルトキハ其ノ任務、経路、歸來ノ地點、時刻等ヲ上番者ニ申送ルモノトス此ノ際監視ヲ中絶セザルコト及交代ノ往復等ニ際シ敵ニ暴露セザルコトニ注意スルヲ要ス

分哨ニ於ケル監視兵ノ交代モ亦前項ニ準ズ
第二百三十五 銃前哨ノ動作及守則ハ歩哨ニ準ズ但シ報告ハ通常其ノ位置ヲ離ルルコトナク之ヲ行フモノトス

第六節 對空監視哨

第二百三十六 對空監視哨ノ兵力及勤務ノ要領ハ前哨勤務ニ於ケル歩哨ノ要領ニ準ズ而シテ特ニ眼鏡、遮光眼鏡、簡易ナル連絡器材等ヲ使用セシムルヲ可トス

對空監視哨ヲ配置スベキ位置ハ上空ニ對スル視界廣闊ニシテ飛行音ノ聽取容易ナルト共ニ指揮官及對空射撃ニ任ズル部隊トノ連絡ニ便ナルヲ要ス對空監視哨ハ狀況ニ依リ他ノ哨兵ヲシテ之ヲ兼ネシムルコトアリ又遠ク推進スルモノニ在リテハ自衛及連絡ノ爲特ニ兵力及器材ヲ増加スルコトアリ

第二百三十七 對空監視哨ハ左ノ一般守則ニ基キ行動スベキモノトス
一、對空監視哨ハ彼我飛行機ノ識別法ヲ辨ヘ常ニ上空ヲ監視シ音響ニ注意ス敵飛行機ニ關シ發見セバ監視ヲ中絶スルコトナク直チニ指揮官ニ報告シ附近ノ對空射撃ニ任ズル部隊ニ通報ス發見シタル飛行機彼我何

レニ屬スルヤ不明ナルトキモ亦同ジ
 二、友軍飛行機ニシテ我ニ向ヒ來ルトキハ之ヲ指揮官ニ報告ス
第二百三十八 對空監視哨ノ特別守則ニ於テ示スベキ事項及順序概ネ左ノ如シ

- 其ノ監視哨ノ名稱
- 方位及必要ナル地名
- 要スレバ彼我飛行機ノ識別法
- 要スレバ特ニ監視スベキ方向及監視法
- 報告スベキ指揮官及連絡スベキ部隊ノ位置
- 要スレバ報告又ハ通報スベキ事項
- 報告又ハ通報ノ手段
- 其ノ他特ニ注意スベキ事項

第七節 斥候、巡察

第二百三十九 前哨各部隊ハ搜索ノ爲所要ノ斥候ヲ派遣シ又步哨線前ノ要地監視、敵兵捕獲、敵襲發見等ノ爲必要ノ地點ニ之ヲ駐止或ハ潜伏セシム

斥候ハ敵襲ヲ知リタルトキハ先ヅ信號又ハ急射撃ヲ以テ之ヲ急報スルモノトス

斥候ハ當時ノ狀況之ヲ許セバ背囊ヲ卸シ或ハ馬裝ヲ輕減シテ派遣スルヲ有利トス

斥候歸來ノ時刻ハ之ヲ概定スルヲ通常トス

第二百四十 斥候ハ步哨線ヲ通過スルトキ其ノ近隣ノ步哨ニ任務、經路、歸來ノ地點、時刻等ノ概要ヲ告ゲ步哨ノ見聞セル新狀況ヲ聽取シ歸來ノ際ニハ見聞セシ事件中步哨ニ必要ナル事項ヲ告知スルモノトス

斥候ノ歸路往路ト異ナルトキハ之ヲ派遣シタル部隊長ハ其ノ歸路ヲ監視スル歩哨ニ斥候ノ歸來スル概略ノ時刻等ヲ知ラシメ置クヲ要ス夜間ニ於テ特ニ然リトス

第二百四十一 斥候ノ動作ハ任務及諸般ノ狀況ニ依リ著シキ差異アルモ勉メテ敵眼ヲ避ケ靜肅機敏ニ行動シ速カニ所命ノ地點ニ進出シテ目的ヲ達成スルコトニ勉ムルヲ要ス而シテ諸種ノ徵候就中夜間ハ音響ニ注意シ且常ニ地形ヲ諳識スルコト緊要ナリ又要スレバ往路ト異ナル歸路ヲ選ビ敵ニ中斷セラルルノ虞ナカラシムルヲ可トス

第二百四十二 前哨各部隊ハ歩哨線内ノ巡視、部下部隊及歩哨ノ監視、歩哨ヲ配置セザル地區ノ搜索、隣接部隊トノ連絡等ノ爲巡察ヲ派遣スルモノトス

歩哨線等ニ於テ射擊其ノ他喧噪セントキニ在リテモ亦巡察ヲ派遣シ其ノ事實ヲ確メ且歩哨等ヲ援助セシムルコトアリ

巡察ノ人員ハ目的ニ應ジ之ヲ定ムルモノトス

第八節 前哨部隊ノ交代

第二百四十三 前哨部隊ノ配置數日ニ互ルトキハ之ヲ交代セシムルヲ可トス就中小哨ハ概ネ二十四時間以内ニ交代セシムルモノトス而シテ交代ハ爲シ得レバ拂曉ニ於テ之ヲ終ルヲ有利トスト雖モ時刻ノ選定ハ當時ノ狀況ヲ考慮シテ之ヲ定ムルヲ要ス

小哨ノ交代ハ靜肅且隱蔽シテ之ヲ行ヒ警戒ヲ中絶セザルコト緊要ナリ而シテ舊小哨長ハ豫メ新小哨長ニ緊要ノ事項ヲ申送り然ル後協同シテ歩哨ヲ交代スルヲ可トス舊歩哨掛又ハ分哨長モ亦新歩哨掛又ハ分哨長ニ其ノ守則及特ニ知ルヲ要スル事項ヲ申送ルモノトス

交代ト同時ニ新舊兩小哨ヨリ協同ノ斥候ヲ派遣シ新小哨ノ斥候ヲシテ歩哨線前ノ地形ヲ諳識セシムルヲ可トス

第九節 騎兵及機械化部隊ノ警戒

第二百四十四 獨立シテ宿營スル騎兵部隊ノ警戒ハ本章第一乃至第八節ノ要領ニ準ズルノ外特ニ宿營地ノ選定ヲ適切ニシ警戒部隊ノ兵力ヲ節約シ且之ヲ大ナル縦長ニ區分スルコトナク其ノ特有ノ搜索力ト諸種ノ補助手段トヲ利用シテ警戒ヲ完ウスルコト緊要ナリ

第二百四十五 騎兵ハ巧ニ地形ヲ利用シ所要ノ工事ヲ施シ且火器ヲ有效ニ使用スルコト緊要ナリ機甲部隊ニ對スル場合ニ於テ特ニ然リトス

馬匹及車輛ハ常ニ安全ナル地ニ位置セシメ晝間ニ於テハ上空ニ遮蔽シ要スレバ適宜分置スルヲ可トス

第二百四十六 一前哨區ノ兵力ハ通常騎兵一中隊以下トシ所要ニ應ジ機關銃、對戰車火砲等ヲ配屬ス狀況ニ依リ前哨ノ支援ヲラシムル爲必要ナル方側ニ宿營スル部隊ヲシテ特ニ戰鬥準備ヲ爲サシムルコトアリ

數前哨區ノ部隊ヲ騎兵指揮官直轄指揮スベキヤ或ハ部下ノ一若クハ數部隊長ヲシテ指揮セシムベキヤハ狀況ニ依ル

時トシテ各部隊長ヲシテ夫々當面ノ警戒ヲ擔任セシムルコトアリ

第二百四十七 前哨中隊ハ通常歩哨ヲ配置シ特ニ緊要ナルトキハ小哨ヲ派遣ス

小哨及歩哨其ノ馬匹又ハ車輛ヲ後方部隊ノ位置ニ殘置シ徒歩ニテ服務スベキヤ否ヤハ上級指揮官之ヲ定ム

歩哨乘馬ニテ服務スルトキハ揚銃ヲ爲スカ又ハ銃ヲ鞍上ニ横タフルモノトス

前哨ハ晝間監視線ヲ擴張スル爲歩哨ヲ夜間ノ位置ヨリ更ニ推進スルコトアリ

第二百四十八 前哨中隊長及小哨長ハ戰備ノ保持ニ關シ一般ノ前哨ニ於ケル前哨中隊長及小哨長ニ準ズルノ外馬ノ飼付、鞍ノ改装、車輛ノ整備等ニ

關シ規定スルモノトス而シテ鞍ハ卸サシメザルヲ通常トス
第二百四十九 騎兵ハ前哨ヲ配置スルノ外敵方ニ派遣シアル搜索隊等ト連絡スルヲ要ス

搜索隊等遠ク敵方ニ在ル交通路上ノ要點ヲ占領シアルトキハ後方ニ在ル部隊ノ警戒ヲ容易ナラシムルノ利アリ

第二百五十 獨立シテ宿營スル機械化部隊ノ警戒ハ騎兵ノ要領ニ準ズルノ外特ニ注意スベキ事項左ノ如シ

兵種及爾後ノ企圖ヲ不明ナラシムルコトニ著意シ且敵ノ奇襲ニ對スル車輛ノ保護ニ注意ス

警戒ニ任ズル部隊ハ之ヲ徒歩ニテ派遣スベキヤ或ハ乘車セシメテ派遣スベキヤ或ハ兩者ヲ併用スベキヤハ狀況ニ依ル而シテ装甲車輛ハ通常一又ハ二車ヲ以テ一監視哨ト爲ス

狀況ニ依リ乘車セル小部隊ヲ連絡確實ナル要點ニ派遣シ警戒ニ任ゼシム

ルヲ有利トスルコトアリ

利用スベキ地物ナク且敵ニ關スル顧慮多キ狀況ニ於テハ各部隊ハ適宜車陣ヲ設クルコトアリ

第十節 飛行場ニ於ケル航空部隊ノ警戒

第二百五十一 飛行場ニ於ケル航空部隊ノ警戒ハ本章第一乃至第八節ニ準ズルノ外本節ニ據ルモノトス

第二百五十二 飛行場ハ戰鬪一般ノ部署ニ依リ掩護セラルト雖モ敵ノ空襲ヲ受ケ又騎兵、機甲部隊、潛入セル斥候等ノ攻撃目標タルコト屢々ナルヲ以テ航空部隊ノ指揮官以下特ニ警戒心ヲ緊張シ敵ヲシテ乘ズルノ隙ナカラシムルコト緊要ナリ

第二百五十三 飛行場警戒ハ主トシテ當該飛行場ニ配置セラレタル地上勤務部隊之ニ任ズルモノトシ狀況ニ依リ飛行部隊ヲシテ之ニ協力セシムルモ

ノトス高級指揮官ハ所要ニ應ジ之ニ歩兵、高射部隊等ヲ配屬若クハ協力セシムルコトアリ獨立セル小部隊ノ爲特ニ然リ

第二百五十四 飛行場ニ於ケル地上勤務部隊ノ指揮官ハ上級指揮官ノ定ムル所ニ基キ警備部隊ノ配置、勤務ノ方法、敵襲ニ應ズル動作其ノ他必要ナル事項ヲ定ムルモノトス

第二百五十五 警備部隊ノ配置ハ飛行場使用ノ目的、警備部隊ノ兵力、敵情、地形等ニ依リ差異アリト雖モ警戒ノ重點ヲ飛行機及飛行場ノ主要ナル施設ニ置キ爲シ得ル限り飛行場附近ニ於ケル附屬施設ヲモ併セ警戒スル如ク之ヲ定ムルモノトス

第二百五十六 警備部隊ハ飛行場警戒ノ爲最モ重要ナル地點ニ位置シ對空射撃ニ任ズル部隊ヲ適當ニ配置シ緊要ナル方面ニハ要スレバ小ナル部隊ヲ出シ必要ナル地點ニ歩哨(對空監視哨)ヲ配置シ適宜斥候、巡察ヲ派遣スルモノトス此ノ際巧ニ地形、地物ヲ利用シ工事ヲ施シ附近ノ部隊ト連絡シ其

ノ他各種補助手段ヲ盡クシ警戒ヲ嚴ナラシムルヲ要ス

第二百五十七 飛行場ニ於ケル飛行機ノ配置ハ狀況特ニ彼我飛行部隊ノ活動狀態及晝夜ノ別等ニ依リ差異アリト雖モ晝間ハ勉メテ之ヲ分散シ夜間ハ勉メテ之ヲ收縮スル等警戒及掩護ニ便ナラシムルノ著意ヲ必要トス

第二百五十八 飛行場ニ於ケル航空部隊ハ敵襲ニ方リ整齊迅速ニ必要ノ配置ニ就キ直チニ之ヲ撃退シ得ルノ態勢ニ在ルコト緊要ナリ之ガ爲連絡施設、勤務ノ系統、搜索及諜報等ヲ適切ナラシムルヲ要ス

飛行場ノ危険ニ際シテハ附近ニ在ル軍隊ハ縦ヒ命令ナキトキト雖モ狀況之ヲ許ス限り援助スベキモノトス

第五篇 行軍

通則

第二百五十九 行軍ハ作戰行動ノ基礎ヲ成スモノニシテ其ノ計畫ノ適切、實施ノ確實ナルハ諸般ノ企圖ニ好果ヲ得ルノ要素ナリ而シテ軍隊ハ堅忍不拔克ク困難ナル地形、天候ヲモ克服シ連日長距離ニ互ル行軍ヲ敢行シ得ザルベカラズ

第二百六十 敵ニ接觸スベキ處多キトキハ戦闘準備ヲ主トシ又敵ニ接觸スベキ處少キトキハ軍隊ヲ愛惜スルコトヲ考慮シ行軍ヲ行ヒ常ニ戰術上要求スベキ程度ト戦力貯存ノ爲考慮スベキ程度トノ調和ヲ適切ナラシムルコト緊要ナリ

第二百六十一 狀況ニ依リ日々ノ行程ヲ増大シテ強行軍ヲ行フヲ要スルコト

トアリ斯克ノ如キ場合ニ於テハ所要ニ應ジ休日ヲ廢シ休宿時間ヲ減少シ時トシテ晝夜ヲ通ジ行軍ヲ繼續スルモノトス

第二百六十二 狀況ニ依リ短時間ニ所望ノ地點ニ到達スル如ク急行軍ヲ行フヲ要スルコトアリ斯克ノ如キ場合ニ於テハ所要ニ應ジ速度ヲ増シ休憩ヲ減ジテ行進スルモノトス此ノ際服装ヲ輕易ニシ人馬ノ負擔量ヲ輕減スルヲ得バ有利ナリ

第二百六十三 我ガ企圖及行動ヲ秘匿セントスル場合、軍隊ノ移動急ヲ要スル爲晝間ノミノ行軍ニ依リ難キ場合、敵ノ有力ナル機甲部隊等ニ活動ノ隙ヲ與ヘザラントスル場合、夏季炎熱ヲ避ケントスル場合等ニ於テハ通常夜行軍ヲ行フヲ有利トス

夜行軍ニ於テハ地形ノ障碍、小敵ノ妨害、寒氣ノ影響等ノ爲不慮ノ困難疲勞ヲ來サザル如ク豫メ周到ナル注意ヲ必要トス

行李、輜重ノ行動ヲモ夜間ニ於テノミ爲サシムル場合ニ於テ一夜ノ行程ヲ

減少セザランガ爲ニハ縱隊ヲ分チテ全長徑ヲ短縮スル等特別ノ手段ヲ講ズルヲ要ス

第二百六十四 行軍速度ハ狀況ニ依リ差異アリト雖モ諸兵連合ノ大部隊ニ在リテハ休憩ヲ合シ一時間四杆ヲ標準トシ自動車中隊ニ在リテハ長距離行軍ノ爲休憩ヲ合シ一時間十二乃至二十杆ヲ標準トス

第二百六十五 一日ノ行程ハ狀況ニ依リ差異アリト雖モ連日行軍スル場合ニ於ケル標準左ノ如シ

諸兵連合ノ大部隊ニ在リテハ約二十四杆

騎兵ノ大部隊ニ在リテハ四十乃至六十杆

自動車編制部隊ニ在リテハ諸般ノ狀況ニ依リ著シキ差異アルモ自動車中隊及之ニ準ズル部隊ニ在リテハ百杆内外

第二百六十六 行軍中軍紀ヲ嚴格ニシ志氣ヲ振作シ人馬ノ衛生及給養ヲ良好ナラシメ且諸車輛ノ保護ニ勉ムルハ行軍力ヲ保持増進シ行軍ノ實施ヲ確

實ナラシムル爲極メテ緊要ノ事項トス
行軍スル部隊ハ其ノ行軍ノ實施ヲ確實ナラシムルノ外進路ヲ閉塞シ他部隊ノ行動ヲ掣肘セザルコト緊要ナリ車馬部隊ニ於テ特ニ然リ

行軍間人馬ノ衛生ヲ良好ナラシムル爲靴傷、馬具傷、四肢ノ疾病、凍傷、喝病等ヲ豫防スルハ各級指揮官就中隊長及之ニ準ズル部隊長ノ特ニ注意スベキ要件トス

第二百六十七 行軍間ニ於ケル連絡ハ其ノ要度少キ場合ニ於テハ適時傳令ヲ用フルノ外通常連絡ノ時刻、地點等ヲ定メテ通信ヲ實施ス而シテ其ノ要度増大スルニ伴ヒ飛行機其ノ他各種ノ連絡機關ヲ使用シ所要ノ指揮官間ニ在リテハ勉メテ電氣的通信ニ依リ常時連絡シ得ル如クスルコト緊要ナリ

第二百六十八 多數ノ應召員及徵發馬匹ヲ含ム部隊ハ特ニ機會ヲ求メテ演練ヲ重ネ行軍ニ習熟セシムルコト緊要ナリ

第一章 行軍ノ部署

第二百六十九 高級指揮官行軍ヲ部署スルニ方リテハ狀況特ニ戰術上ノ要求ニ基キ軍隊區分、前進目標、縱隊ノ進路又ハ前進地域、出發又ハ到着時刻、搜索、警戒、本隊ノ行動、連絡、補給、衛生等ニ關シ必要ノ事項ヲ定メ各縱隊等ヲシテ之ニ基キ行動セシメ主力縱隊ハ通常自ラ之ヲ指揮スルモノトス

本隊ノ行動ニ關シテハ高級指揮官其ノ集合法、出發時刻、行軍序列（梯團區分）、警戒部隊トノ關係位置、戰備ノ度等ヲ規定シ要スレバ縱隊ノ長徑ヲ短縮ス

高級指揮官其ノ指揮下ニ在ラザル部隊ノ行軍ヲ區處スルニ方リテハ一般ノ狀況ト該部隊ノ用途トヲ考慮シ前二項ニ準ジ行軍セシムルモノトス

第二百七十 有力ナル敵飛行部隊、機甲部隊特ニ戰車等ニ關スル顧慮多キ

狀況ニ於テハ大ナル縦隊ハ之ヲ若干ノ梯團ニ區分シ各梯團間ニ適宜ノ距離ヲ設ケテ其ノ戰備ヲ嚴ナラシムルヲ有利トス梯團區分ハ主トシテ爾後ニ於ケル軍隊使用ノ順序ヲ考慮スルト共ニ各梯團ノ對空、對戰車等ノ警戒及戰鬪竝ニ行軍實施ヲ容易ナラシムル如ク之ヲ定ムルモノトス

梯團區分ヲ爲セル場合ニ於テ各梯團内ノ行軍ヲ部署シ且不意ノ敵襲ヲ排除スルハ梯團長ノ責任トス但シ各部隊長ハ他梯團内ニ在ル本屬ノ部下指揮官ニ對シ爾後ニ於ケル統一セル戰鬪ノ準備ノ爲必要ナル指示ヲ爲スコトヲ得

第二百七十一 敵ニ關スル危險大ナル地方ニ於テ其ノ妨害ヲ排除シツツ行軍スルニ方リテハ通常第二部戰鬪ノ爲ノ前進ノ要領ニ準ジ戰備ヲ嚴ニシ隨處ニ敵ヲ擊破シ所定ノ目標ニ向ヒ前進スルモノトス

第二百七十二 行軍ニ於テハ各種ノ手段ヲ盡クシテ我が行動ノ秘匿ニ勉ムルコト緊要ナリ縱ヒ其ノ困難ナル場合ニ於テモ敵ヲシテ我が重要ナル企圖ヲ判斷シ得ザラシメンガ爲勉メテ主力ノ所在ヲ不明ナラシムルヲ要ス之ガ

爲特ニ主力砲兵、戰車等ノ位置ヲ秘匿スルヲ得バ有利ナリ

第二百七十三 行軍序列ハ主トシテ爾後ニ於ケル軍隊使用ノ順序ヲ考慮シテ之ヲ定ム此ノ際勉メテ建制ヲ保持スルト共ニ行進及警戒ヲ容易ナラシムルコトニモ著意スルヲ要ス

第二百七十四 本隊ノ先頭ニハ爾後ノ使用及警戒ノ便ヲ考慮シ通常一部ノ歩兵ヲ行進セシム又行軍間ノ戰備ヲ嚴ナラシムル爲大ナル砲兵部隊ノ中間及縱隊ノ後尾ニモ所要ニ應ジ若干ノ歩兵ヲ行進セシムルヲ可トス

第二百七十五 野戰砲兵ハ勉メテ前方ニ在リテ行進セシメ野戰重砲兵ハ通常野(山)砲兵ヨリモ後方ヲ行進セシム又行軍間ノ戰備ヲ嚴ナラシムル爲大ナル野戰重砲兵ノ中間ニハ若干ノ野(山)砲兵ヲ行進セシムルヲ可トスルトアリ

重砲兵ハ本隊ノ後方時トシテ野戰重砲兵ノ後方適宜ノ位置ヲ行進セシム

砲兵ノ大隊指揮班及中隊指揮小隊ハ要スレバ大隊毎ニ一團トナリ通常所屬大隊ノ先頭ニ、聯隊指揮班ハ聯隊ノ先頭ニ、砲兵團指揮班ハ本隊砲兵ノ先頭ニ在リテ行進セシメ時トシテ此等ノ一部又ハ大部ヲシテ更ニ前方ヲ行進セシム

中隊及大隊段列ハ其ノ所屬部隊ト共ニ、聯隊段列ハ自動車編制以外ノモノニ在リテハ師團戰列部隊ノ直後ヲ、自動車編制ノモノニ在リテハ本隊ノ後方ヲ行進セシムルヲ通常トス

砲兵情報聯隊ハ通常野戰砲兵ノ後方又ハ戰列部隊ノ後方ニ於テ適宜ノ位置ヲ行進セシム狀況ニ依リ所要ノ部隊ヲ前衛ト同行セシムルコトアリ

第二百七十六 工兵ハ通常砲兵ノ前方時トシテ其ノ中間又ハ後方ヲ行進セシム

第二百七十七 消毒部隊ハ所要ニ應ジ速カニ之ヲ使用シ得ル如ク其ノ兵力ト性能トヲ考慮シ縱隊ノ先頭附近若クハ他ノ適宜ノ位置ヲ行進セシム

第二百七十八 通信部隊ハ所要ニ應ジ速カニ通信施設ヲ爲シ得ル如ク通常本隊ノ前方ニ在リテ行進セシメ時トシテ其ノ一部若クハ大部ヲ前衛ト共ニ行進セシム

第二百七十九 衛生部隊ノ一部ハ通常軍隊區分ニ依リ編合セラレタル部隊ノ後尾ニ在リテ行進セシム

第二百八十 架橋材料中隊ハ之ガ使用ヲ考慮シ多クノ場合輜重ト同行セシム若シ之ヲ本隊ノ行軍序列ニ入ルルトキハ通常其ノ最後尾ニ在リテ行進セシム

特種ノ渡河材料ヲ有スルトキハ用途ニ應ジ適宜其ノ行軍位置ヲ定ム

第二百八十一 自動車編制部隊ハ通常其ノ用途ヲ考慮シ本隊ノ後方又ハ前方ヲ行進セシム若シ別路ヲ取ラシムルコトヲ得バ有利ナルコト多シ

戰車中隊段列ハ通常所屬中隊ノ後尾ニ續行セシメ聯隊段列ハ狀況ニ依リ所屬聯隊ノ後尾ニ續行セシメ或ハ本隊ノ後方ヲ躍進セシム時トシテ段列ノ一

部ヲ先行セシメ通過設備ニ任ゼシムルコトアリ

第二百八十二 行李ハ其ノ師團ト共ニ行軍スル全部隊ノモノヲ合シ師團行李長ノ指揮ヲ以テ本隊ノ後方適宜ノ位置ヲ續行セシメ或ハ各縱隊毎ニ其ノ所屬行李ヲ合シテ行進セシメ或ハ一部若クハ全部ヲ所屬部隊ト共ニ行進セシム狀況ニ依リ行李ハ敵ニ反スル方側等安全ノ位置ヲ行進セシムルコトアリ

自動車編制ノ行李ハ前項ノ行李ト区分シ前項ニ準ジ行進セシム

行李ノ行軍序列ハ行李長之ヲ定ム而シテ通常所屬部隊ノ行軍序列ニ從フヲ便トス

第二百八十三 師團輜重ハ輜重兵聯隊長ノ指揮ヲ以テ行動スルモノトス而シテ師團長ハ通常其ノ先頭ノ出發地點、時刻及到着地點ヲ示シ一若クハ數縱隊トナリ行李ノ後方適宜ノ位置ヲ續行セシム

師團輜重ノ行軍序列ハ使用ノ順序、警戒ノ便否等ヲ考慮シテ之ヲ定ム

師團戰鬪ヲ豫期スルトキハ輜重兵聯隊長ヲシテ所要ノ輜重ヲ先進セシメ通常本隊ノ直後ヲ行進セシム

戰車聯隊段列、自動車編制ノ砲兵聯隊段列、本隊ノ後方ヲ行進スル行李及師團輜重等ハ輜重兵聯隊長ノ區處ニ依リ自動車編制ノモノト然ラザルモノトニ区分シ行動セシムルコトアリ

第二百八十四 大ナル機械化部隊又ハ騎兵部隊ノ行李、輜重ハ通常之ヲ合シ敵情、地形、友軍ノ掩護等ヲ考慮シ一地ヨリ一地ニ躍進セシムルカ或ハ一部ヲ戰列部隊ト同行セシメ爾餘ヲ一時適當ナル地點ニ停止セシム時トシテ他部隊ノ行李、輜重ト同行セシムルコトアリ何レノ場合ニ於テモ之ガ掩護ノ爲戰列部隊ノ兵力ヲ減少スルコトハ勉メテ之ヲ避クルヲ要ス

第二百八十五 第二百六十九乃至第二百八十四ハ主トシテ前進行ノ場合ノ規定トス側敵行及退却行ノ場合ニ於テモ亦此ノ趣旨ニ準ズルモノトス

第二百八十六 行軍路ノ狀況ハ豫メ之ヲ偵知スルニ勉ムルヲ要ス地圖不完

全ナル地方ノ行軍、雨期、極寒期等ノ行軍、休止、給水等ニ關シ特別ノ考慮ヲ要スル地方ノ行軍、錯雜地ノ夜行軍等ニ於テ特ニ然リトス之ガ爲適宜斥候又ハ部隊ヲ派遣シ或ハ飛行機ヲ使用シ要スレバ豫メ進路上ノ障礙ヲ除去シ進路ヲ開設又ハ補修シ道標ヲ設ケ衛生、給養、警戒等ニ關シ必要ナル處置ヲ講ズルモノトス

狀況ニ依リ飛行機ヲシテ未知ノ地形ニ於ケル行軍ヲ誘導セシムルコトアリ
第二百八十七 出發時刻ハ戰術上ノ要求ニ基キ行軍行程、季節、氣象、部隊ノ狀態等ヲ考慮シテ之ヲ定ム此ノ際注意スベキ事項概ネ左ノ如シ

過早ノ出發ハ軍隊ノ休養ヲ妨グト雖モ拂曉前ニ熱地ヲ出發スルハ日没後生地ニ到着スルニ優ル

極寒時ニ於テハ日没前目的地ニ到着スルコトニ勉ムベキモ日出前後ニ於ケル氣温ハ一日中最低ナルコトニ注意スルヲ要ス

酷熱時ニ於テハ通常出發時刻ヲ早メ晝間數時間ノ大休止ヲ行フヲ可ト

ス

夜行軍ニ於テハ之ヲ行フ目的ニ應ジ出發時刻ヲ定ム

第二百八十八 行軍ノ爲軍隊ノ集合法ハ戰術上ノ考慮ニ基キ宿營地ノ狀態、新行軍序列、部隊ノ大小、地形等ニ應ジテ之ヲ定ム此ノ際適宜軍隊ヲ隱蔽シ且飛行機、機甲部隊等ノ奇襲ニ對シ警戒スルト共ニ勉メテ各部隊ニ徒勞ナカラシムルコト緊要ナリ

通常ノ場合ニ於ケル集合ノ爲ニハ行軍路ニ沿ヒ若干ノ集合場ヲ設ケ各部隊ニ集合場及集合時刻ヲ指定スルモノトス斯クノ如キ場合ニ於テ其ノ集合場ヨリ部隊ヲ出發セシメ所定ノ行軍序列ニ入ラシムルハ該集合場ニ於ケル高級先任者ノ責任トス

狀況ニ依リ單ニ通過スベキ地點及時刻ヲ示シ集合法ハ之ヲ各部隊ニ委スルヲ便トスルコトアリ

夜間ノ集合ニ際シテハ適宜ノ方法ヲ以テ集合場ヲ標示シ混雜ヲ豫防スルコ

ト緊要ナリ

何レノ場合ニ於テモ狀況之ヲ許セバ行軍隊形ヲ以テ路上ニ集合セシムルヲ便トス

第二百八十九 行李ノ集合及出發ニ關シテハ師團長ハ通常集合場要スレバ之ニ到ル道路、集合時刻、本隊又ハ輜重トノ關係位置其ノ他必要ノ件ヲ命令シ各部隊長ハ之ガ實行ニ關シ混雜ヲ生ゼザル如ク周到ナル規定ヲ爲スモノトス

第二百九十 敵ニ接觸ノ虞少キトキハ各部隊毎ニ區分シ若クハ行軍ノ便ヲ考慮シ適宜部隊ヲ編合シテ其ノ行軍序列ヲ定メ諸隊ヲシテ成ルベク便利ナル多數ノ道路ニ依ラシメ出發時刻、休憩、步度等ノ規定ニ關シ勉メテ徒勞ヲ避ケシムルモノトス又行李ハ通常聯(大)隊毎ニ合シテ其ノ所屬部隊ニ隨從セシメ輜重ハ給養ノ便ヲ考慮シ要スレバ其ノ一部ヲ戰列部隊ト共ニ行進セシムルモノトス

前項ノ行軍部署ハ部隊大ナルニ從ヒ益、綿密ナルヲ要ス數日ニ互リ連續行軍スル場合ニ於テ特ニ然リトス而シテ大ナル部隊ノ行軍ニ方リテハ軍隊區分(縱隊及梯團ノ區分等)、進路ノ配當、日々ノ到着地點、出發時刻、大休止地點、休止時間、宿營區域、給養、燃料ノ補充、連絡、衛生施設等ニ就キ必要ナル事項ヲ規定スルヲ要ス

敵ニ接觸ノ虞少キ場合ニ於テモ敵飛行機及敵意ヲ有スル住民等ニ對シ警戒ノ處置ヲ講ズルト共ニ敵ニ接觸ノ虞増大スルヤ直チニ所要ノ戰備ヲ整ヘ行軍シ得ル如ク豫メ考慮シ置クヲ可トスルコトアリ

第二百九十一 長時日ニ互リ連續行軍ヲ實施スル場合ニ於テハ狀況之ヲ許セバ軍隊ヲ休憩セシムルト共ニ輜重及兵站ヲ追從セシメンガ爲適宜休日ヲ設クルコト必要ナリ

第二章 行軍ノ實施

第二百九十二 行軍ノ隊形ハ本令ニ於テ特ニ規定スル事項ノ外操典ノ定ムル所ヲ準用ス而シテ狀況之ヲ許セバ路上ノ行進ニ便ナル如ク側面縱隊又ハ縱隊ヲ用フルヲ通常トス

第二百九十三 行軍間各指揮官ハ通常其ノ隊ノ指揮ニ便ナル所ニ位置シ中隊之ニ準ズルニ在リテハ通常一名ノ小隊長之ニ準ズルヲ其ノ隊ノ後尾ニ在リテ行進セシムルヲ可トス但シ「速歩」又ハ「氣ヲ著ケ」ヲ以テ行進スルトキハ通常各自操典所定ノ位置ヲ占メ中隊長之ニ準ズルハ其ノ隊ノ先頭ニ位置スルモノトス

第二百九十四 行軍間下士官以下ハ任務上支障ナケレバ列伍ニ入り缺伍ノ兵ト共ニ伍ヲ作ルモノトス
喇叭手ノ位置ハ中隊長之ニ準ズル以上ノ指揮官之ヲ定ム而シテ喇叭手一名ヲ其ノ隊ノ後尾ニ置クトキハ後方ヨリ號音ヲ傳ヘシムルニ便ナリ
戰備上支障ナケレバ歩兵機關銃中隊及歩兵砲隊等ノ銃(砲)手、其ノ彈藥小

隊ノ兵除ク竝ニ砲兵中隊ノ徒歩者ノ各大部ヲ先頭其ノ他適宜ノ位置ニ集メテ行進セシムルコトヲ得

戰備ヲ主トスル場合ニ於テハ主計下士官、騎兵及騎砲兵ノ徒歩兵等ハ通常其ノ所屬部隊行李ノ前方ニ在リテ行進スルモノトス

第二百九十五 各部隊彈藥班、器材小(分)隊、行李等ニ在リテハ其ノ行進順序ハ指揮及使用ノ便ヲ考慮シ所屬部隊長之ヲ定ムルモ概ネ左ノ順序ニ依ルヲ便トス

通信器材、瓦斯防護資材、衛生材料、彈藥、燃料、歩兵器具、工兵隊器材、糧秣、荷物、金櫃、職工具、輜重携行器具、豫備蹄鐵、蹄鐵工具、被服、給養器具、豫備車輛、豫備輓(馱)馬
豫備乘馬ハ通常彈藥班長、器材小隊長等ノ指揮ヲ以テ其ノ先頭ヲ行進セシメ又聯(大)隊本部ノ行李ハ通常頭號大(中)隊ノ行李ニ合スルモノトス
各部隊ハ命令ナクシテ安リニ規定外ノ物件ヲ携行スベカラズ

第二百九十六 軍隊ハ路上便利ナル方側ヲ選ビテ行進シ若シ道路ノ兩側便利同ジキトキ及他部隊ニ遭遇シタルトキハ左側ヲ行進スルモノトス
 廣キ道路ニ於テハ常ニ其ノ一側ヲ空ケ他部隊ノ通過ニ供スベク狹キ道路ニ在リテモ單獨ノ乘馬者又ハ自轉車ヲシテ縱隊ノ行進ヲ妨害スルコトナク疾走シ得シメ又自動車等ト雖モ要スレバ幹部ノ指示ニ依リ迅速ニ通過シ得シムルヲ要ス

上空ニ遮蔽シ或ハ炎熱ヲ避クル等ノ爲行軍縱隊ヲ兩側ニ分チテ道路ノ中央ヲ空クルヲ可トスルコトアリ

第二百九十七 行軍間通常徒歩兵種ニ在リテハ「途歩」、其ノ他ノ兵種ニ在リテハ「休メ」ヲ爲ス而シテ其ノ號令若クハ號音ニ依リ指揮官以下刀ヲ納メ銃ヲ各自ノ欲スル肩ニ擔ヒ又ハ懸ケ銃ニ關シテハ要スレバ中隊長規定ス自由ノ歩法ヲ取り特別ノ場合ノ外談話、喫煙等ヲ爲スコトヲ得
 行軍間各自恣ニ服裝ヲ亂スヲ禁ズ然レドモ中隊長之ニ準ズル者ヲ含ムハ許シ得ベキ

事項ニ就キ適時之ヲ指示スルヲ要ス

行軍間兵ハ狀況上差支ナキ限り勉メテ前方ニ重ナリ隊列正面ヲ擴ゲザルコトニ注意シ又隊列ヲ離ルルヲ要スルトキハ小隊長、小隊長附近ニ在ラザルトキハ分隊長以上ノ許可ヲ受クルモノトス

第二百九十八 縱隊中ノ一部隊ニ生ズル行軍長徑ノ變化ハ縱ヒ小ナルモ漸次他ノ諸部隊ニ影響ヲ及スコト大ナルヲ以テ各兵ハ勉メテ歩度ヲ齊一ニシ距離ヲ伸縮セザルコト緊要ナリ又各部隊間ニハ行軍長徑ノ變化ヲ調節スル爲左ノ隊間距離ヲ置クモノトス

歩兵、工兵中隊後ニ

約八米

歩兵大隊、工兵聯隊、騎兵中隊後ニ

約十五米

歩兵聯隊、騎兵聯隊、砲兵中隊後ニ

約二十米

砲兵聯(大)隊、同聯隊段列後ニ

約三十米

輜重兵中隊後ニ

約四十米

自動車編制ノ中隊、戰車中隊後ニ
前項以外ノ部隊ニ在リテハ兵種及其ノ長徑ノ大小ニ從ヒ適宜隊間距離ヲ定
ムルモノトス

約百米

第二百九十九 行軍間遽止、急進等ノ害ヲ防グ爲先頭部隊ハ特ニ步度ヲ齊
一ナラシムルコトニ注意シ後方ノ各部隊ハ隊間距離ヲ墨守スルコトナク要
スレバ適宜之ヲ伸縮シ以テ一時ノ撞著ヲ他部隊ニ波及セシメザルヲ要ス

第三百 行軍縱隊ノ長徑ノ短縮ヲ要スルトキハ其ノ正面ヲ廣クスルカ若ク
ハ行軍縱隊ヲ併列シ要スレバ梯隊間ノ距離ヲ短縮シ時トシテ之ヲ廢スルモ
ノトス

第三百一 出發後通常一時間以内ニ服裝、馬裝ノ改裝、車輛ノ機能調整、
兩便等ノ爲短時間ノ休憩ヲ行ヒ爾後我方企圖、行程、氣象、季節、地形等
ニ應ジテ適宜休憩ヲ爲スモノトス

長キ行軍ニ在リテハ通常約一時間毎ニ其ノ内ノ十乃至十五分ヅツ休憩ニ充

テ又食事及飼與ノ爲ニハ通常少クモ三十分ヲ必要トス
獨立シテ行軍スル騎兵部隊ニ在リテハ約一時間三十分毎ニ又自動車編制部
隊ニ在リテハ約一時間三十分乃至二時間毎ニ各、十乃至二十分ノ休憩ヲ爲
スヲ適當トス

第三百二 休憩ハ敵ニ關スル顧慮少ク且道路ヲ閉塞スルノ虞ナキトキハ行
軍隊勢ノ儘路傍若クハ路上ノ一側ニ於テ行フヲ便トシ長時間ニ互ル場合ノ
休憩ハ路外ニ於テシ狀況ニ依リ開進シテ之ヲ行フモノトス

路外ニ開進シテ休憩スル場合ニ於テハ通常若干ノ休憩地ヲ選定シ之ヲ各部
隊ニ配當スルヲ可トス時トシテ大ナル休憩地ヲ選ビ各部隊ヲシテ到着スル
ニ從ヒ休憩ニ移リ且逐次ニ出發セシムルヲ可トスルコトアリ

行李、輜重長時間停止スル場合ニ於テハ勉メテ隘路、道路ノ分歧點等ヲ避
ケ要スレバ適當ノ地ニ開進スルモノトス

第三百三 休憩地ノ選定ニ方リテハ給水、風雨ノ障蔽、遮蔽、陰影要スレ

バ進入進出路等ニ注意スルヲ要ス
休憩中各部隊ハ警戒ヲ怠ルベカラズ之ガ爲要スレバ部隊毎ニ長徑ヲ短縮シテ戦備ヲ整ヘ狀況嚴ナルニ從ヒ漸次駐軍間ニ於ケル警戒ニ近似セシムルモノトス

第三百四 部隊間ノ距離大ニシテ目視及音聲ニ依ル連絡困難ナルトキハ通常適宜ノ距離ヲ間シ連絡兵ヲ配置ス

連絡兵ノ數ハ部隊間ノ距離ノ大小、連絡保持ノ難易等ニ應シテ之ヲ定メ要スレバ連絡長ヲ設ケテ連絡ノ確實ヲ圖ルモノトス

縦隊中ノ一部隊他ノ進路ニ移ルニ方リテハ必ず後方ノ部隊ニ之ヲ通報シ連絡ヲ失セザラシムルヲ要ス

第三百五 夜行軍ニ於テハ部隊ノ掌握ヲ確實ニシ進路ヲ正シク維持シ敵ニ關スル顧慮アルトキハ嚴ニ企圖ヲ秘匿スルコト緊要ナリ又勉メテ給養ヲ良好ナラシムルヲ要ス

部隊ノ掌握ヲ確實ナラシムルニハ各級指揮官就中中隊長以下部下ノ監視ヲ周密ニシ各兵ヲシテ確實ニ前方ニ續行セシメ各部隊ハ適時道路ノ障礙ヲ除去シ又ハ迂回シ前方ノ部隊ハ所要ニ應ジ後續部隊ノ爲連絡兵ヲ殘置シ要スレバ標識ヲ爲シ時トシテ各部隊間ノ距離ヲ短縮スル等ノ處置ヲ講ジ休憩ニ際シテハ假眠及遲留ヲ戒ムルコト必要ナリ

縦隊ノ進路ヲ正シク維持スルニハ爲シ得ル限り晝間ヨリ準備ヲ整ヘ所要ニ應ジ嚮導者ヲ附スルコト緊要ナリ廣漠タル地方、地圖不完全ナル地方等ニ於テ特ニ然リトス

企圖秘匿ノ爲ニハ進路ノ選定ヲ適切ニシ住民ニ對スル警戒ヲ周到ナラシムルト共ニ敵ノ近傍ニ於テハ特ニ靜肅ニ行進シ自動車、戰車等ニ在リテハ燈火ヲ覆ヒ時トシテ全ク之ヲ滅シ時宜ニ依リ徒歩者ヲシテ誘導セシムルコトアリ又敵飛行機ノ照明ニ對シテハ道路ノ中央部ヲ開放シ或ハ一時停止シテ隱蔽ヲ圖ルヲ可トス

第三百六 極寒時ニ於テハ凍死、凍傷ノ軍隊ヲ損耗スルコト戰鬪ヨリモ甚ダシキコトアリ故ニ之ガ豫防ノ爲特ニ防寒ノ處置ヲ周到ニシ身體各部ノ濕潤ヲ防ギ且給養及休憩法ヲ適切ナラシムルコト緊要ナリ

防寒ノ處置ニ遺憾ナカラシムルニハ當時ノ氣象、我方行動等ニ應ジ防寒被服ノ使用ヲ適切ニシ紐、釦等ノ解脫ヲ戒メ窮屈ナル被服就中窮屈ナル靴ノ使用ヲ避ケ又徒歩兵ハ適宜銃ヲ肩ニ懸ケ乘馬兵ハ時々下馬行進ヲ行ハシムルヲ可トス

身體ノ濕潤ヲ防グニハ防寒被服ノ過度ノ著用ヲ戒メ爲シ得レバ發汗多キ行動及濕潤地ノ跋涉ヲ避ケ若シ被服特ニ手袋、靴下等濕潤シタルトキハ速カニ之ヲ交換又ハ乾燥セシムルヲ可トス

給養ヲ良好ナラシムルニハ勉メテ溫食及溫湯ヲ給シ又適時熱量ニ富ム間食ヲ與ヘ勉メテ空腹ヲ感ゼシメザルコト緊要ナリ之ガ爲辨當ニハ爲シ得レバ「パン」類ヲ用ヒ飯盒、水筒等ハ適宜被服下ニ携行スルカ若クハ毛皮等ヲ以

テ覆ヒ之ガ凍結ヲ防グヲ可トス米ニ少量ノ醬油ヲ加ヘテ炊事シ又湯茶ニ砂糖ヲ加フルモ凍結ヲ防グニ效果アリ

休憩ノ爲ニハ成ルベク防風及給水特ニ馬ノ水與ニ便ナル地ヲ選ビ又嚴ニ屋外ノ假眠ヲ戒メ現地ノ物件或ハ携行セル燃料ニ依リテ採暖ノ方法ヲ講ジ又ハ適宜ノ人員毎ニ集團シ手足ヲ動カシ暖氣ヲ取ルヲ可トス若シ寒冷ノ爲疼痛ヲ感ジタルトキハ直接其ノ部ヲ火熱ニ觸レシムルコトナク摩擦スルヲ可トス狀況ニ依リ休憩時間ヲ短クシ回数ヲ増加スルヲ可トスルコトアリ

自動車、橇等ヲ利用スル場合ニ於テハ特ニ凍傷豫防ノ注意ヲ爲シ嚴ニ走行中ノ假眠ヲ戒メ寒氣甚ダシキトキハ適宜徒步行進ヲ交フルヲ可トス

氣溫概ネ氷點下三十度ヲ下ルトキハ防寒及採暖ニ關シ特ニ細心ノ注意ヲ必要トス風強キ場合ニ於テ特ニ然リ又出發當日寒氣烈シカラザル場合ニ於テモ氣象ノ變移性ヲ考慮シ所要ノ防寒準備ニ遺憾ナカラシムルコト緊要ナリ

積雪地ニ於ケル斥候、傳令等ニハ「スキー」ヲ使用セシムルヲ得バ便ナリ又吹雪中ニ於テ斥候等ヲ支分スルトキハ連絡ヲ失シ危險ニ陥ラシメザル如ク注意スルヲ要ス

馬蹄ノ保護ニ關シテハ行軍間常ニ注意スルコト緊要ナリ

第三百七 酷熱時ニ於テハ喝病其ノ他ノ疾病ヲ豫防スル爲メテ軍隊ノ過勞ヲ防ギ食餌特ニ飲料水ノ供給ヲ適切ナラシムルコト緊要ナリ

軍隊ノ過勞ヲ防グ爲ニハ睡眠ヲ十分ニシ行軍間適宜襟ヲ開キ要スレバ上衣ヲ脱シ帽内ニハ綠葉等ヲ入レ垂布ヲ附シ鐵帽ノ着用時間ハ勉メテ之ヲ減少シ且時々脱帽シ爲シ得レバ列伍ヲ開キ行軍速度ヲ減ジ負擔量ヲ輕減シ休憩ヲ増シ日中ノ大休止ヲ長クシ成ルベク日陰ヲ利用セシムル等ノ處置ヲ必要トス又馬匹ハ適宜帽類等ヲ用ヒテ頭部ヲ保護シ且歩度ノ配合ニ注意スルヲ要ス

飲料水ノ供給ヲ十分ナラシムルニハ豫メ水筒ヲ充填セシメ又休憩地ノ選定

ニ方リ特ニ人馬ノ給水ヲ考慮シ要スレバ途中ニモ之ヲ準備セシムルモノトス而シテ軍隊沸水車ヲ携行スルトキハ之ヲ使用シ若シ生水ヲ用フルヲ要スルトキハ淨水、消毒等ヲ行フヲ要ス

酷熱時ニ於テハ食品ノ腐敗ヲ防グコト緊要ニシテ之ガ爲少量ノ酸類、梅干等ヲ加ヘテ炊事シ或ハ「パン」類ヲ用ヒ其ノ携帶法ニ就テモ特別ノ注意ヲ必要トス

各級指揮官ハ常ニ部下ノ志氣ヲ振作シ前夜ノ睡眠不足者及食慾不振者ノ状態ニ注意シ狀況ニ依リ救護班ヲ設クル等適宜ノ處置ヲ講ズルヲ要ス

氣溫約四十度ヲ超ユルニ至レバ保健上特ニ細心ノ注意ヲ必要トス風ナキ場合ニ於テ特ニ然リ

第三百八 自動車編制部隊ノ行軍ニ在リテハ特ニ機關ノ點檢及調整ヲ周到ニシ進路ノ選定ヲ適切ニシ且操縦者ヲ過勞ニ陥ラシメザルコトニ留意スルヲ要ス

極寒時ニ於テハ特ニ機關部ノ保温、不凍液及不凍油ノ使用、車輛ノ防滑、「ガラス」ノ防曇等ニ關シ特別ノ注意ヲ必要トス若シ急遽出發スルヲ豫期スル場合ニ於テハ豫メ機關部ヲ暖メ嚴ニ其ノ凍結ヲ豫防スルヲ要ス
酷熱時ニ於テハ冷却器ノ點檢及水ノ交換ヲ屢、行ヒ機關ノ過熱ヲ防グコト必要ナリ

第三百九 橋ニ依ル行軍ニ於テハ各橋及部隊間ノ連絡方法ヲ定メ之ヲ嚴守セシメ以テ部隊ノ掌握ヲ確實ニシ且常ニ搜索ヲ周到ナラシメ不意ノ敵襲ヲ豫防スルコト緊要ナリ而シテ連絡及搜索ノ爲「スキー」ハ屢、有利ニ使用セラルルコトアリ

輓獸ノ保護ニ關シテハ絶エズ注意スルヲ要ス

第三百十 長途ノ輸送後ニ於ケル行軍ノ實施ニ方リテハ人馬特ニ馬匹ノ状態ニ周到ナル注意ヲ拂ヒ無益ノ損耗ヲ豫防スルヲ要ス

第三百十一 道路不良ナルトキ、炎熱、積雪、沙塵等甚ダシキトキ、強風

ノトキ等ニ在リテハ先頭部隊又ハ一側ヲ行進スル兵ヲ時々交代セシムルヲ可トス

沙塵飛揚スル場合及積雪地ニ在リテハ眼鏡若クハ眼簾等ヲ使用スルヲ得バ有利ナリ

第三百十二 橋梁通過ニ方リテハ之ヲ主管スル橋梁哨長等ノ示ス橋梁通過ノ規定ヲ遵守スベキモノトス故ニ各部隊長等ハ橋梁ニ達スル前豫メ之ト連絡スルヲ要ス

制規ノ材料ヲ以テ架設セル橋梁ヲ渡過スルニハ通常其ノ中央部ヲ行進シ歩ヲ揃ヘザルモノトス而シテ乘馬者ハ豫メ馬匹ヲ沈靜ナラシムルコトニ勉メ要スレバ互ニ適當ノ距離ヲ取り以テ馬匹騷擾等ノ爲橋梁ヲ毀損スルコトナカラシムルヲ要ス又自動車ハ適當ノ距離ヲ保チテ行進シ橋梁上ニ停止シ或ハ速度ヲ變更セザルヲ要ス而シテ自動車ニ在リテハ要スレバ乗員若クハ積載品ヲ卸スモノトス人馬及車輛ハ縦ヒ其ノ前方ノ距離ヲ失フコトアルモ橋

梁上ニ於テ之ヲ恢復セザルヲ要ス

應用材料ヲ以テ架設セル橋梁又ハ在來ノ橋梁ニ在リテハ其ノ強度ニ應ジ前項ノ要領ニ準ジテ行進シ要スレバ特別ノ規定ヲ設クルモノトス

第三百十三 徒涉場ノ通過ニ際シテハ狀況之ヲ許セバ徒歩兵ヲ先ニシ馬匹及車輛ヲ後ニスルヲ可トス

流速大ナルトキハ軍隊ヲ幅廣キ小群ニ分チ徒歩兵ハ互ニ手又ハ腕ヲ組ミテ密集シ各群間ニハ若干ノ距離ヲ存シ水面ヲ諦視スルコトナク通過セシムルヲ可トス又彈藥ノ濕潤ヲ避クル爲ニハ豫メ之ヲ背囊ニ納メシムルカ或ハ舟筏等ニ依リテ渡スヲ可トス

自動車ニ在リテハ河底ノ狀況ニ注意シ水深大ナルトキハ機關部及電氣裝置ニ防水ノ處置ヲ講ジ又戰車及裝甲車ニ在リテハ水深大ナルトキハ出入口及鐵窓ヲ密閉シ要スレバ進路ヲ標示シ又ハ車外ヨリ誘導スルモノトス徒涉シ得ル水深ハ流速、河幅、河底ノ狀況等ニ依リ異ナルモノトス

第三百十四 水上ヲ通過スルニハ成ルベク土砂、藁、灰、木屑等ヲ撒布シ或ハ十字鍬等ヲ以テ水面ヲ粗ニシ或ハ靴ニ滑止メヲ附シ特殊ノ蹄鐵ヲ使用スル等ノ處置ヲ講ジ人馬ノ滑走ヲ防グヲ可トス

氷ノ抗力十分ナラザルトキハ氷厚ノ増加ヲ圖リ或ハ板等ヲ敷キ若クハ各兵ノ距離間隔ヲ疎開スルヲ必要トス

通過シ得ル氷厚ハ諸般ノ狀況特ニ凍結度ニ依リ異ナルモノニシテ解氷期ニ於テハ其ノ抗力薄弱ナルコト多キニ注意スルヲ要ス

第三百十五 舟筏ニ依ル渡河ニ方リテハ通常渡河部隊ノ指揮官ハ豫メ渡河作業ヲ掌ル將校ニ就キ渡場ノ位置、舟筏ノ搭載量、乗船、上陸法其ノ他必要ノ事項ヲ承知シ乗船前舟筏ノ搭載量ニ應ジ軍隊ヲ區分シ所要ノ準備ヲ整フルモノトス

各部隊ハ順序ニ從ヒ乗船シ又上陸ニ際シテハ速カニ上陸點ヲ離レ以テ混雜ヲ豫防スルコト必要ナリ

航行中ハ各人其ノ位置ヲ離レ或ハ姿勢ヲ變ズル等ノコトナク又特ニ漕手ノ動作ヲ妨害セザルコトニ注意スルヲ要ス

第三百十六 行軍中敵ノ空襲ニ對シテハ事前ノ準備ト各部隊ノ獨斷協同トニ依リ沈著機敏機宜ノ處置ヲ講ズルヲ要ス之ガ爲準據スベキ事項概ネ左ノ如シ

一、對空射撃ニ任ズル部隊ハ敵機我が有效射界ニ入ルヤ直チニ射撃ヲ開始ス此ノ際友軍ニ危害ヲ及サザルコトニ注意シ又縦ヒ敵機我が縱隊上ニ煙幕ヲ展張シ或ハ瓦斯ヲ雨下スルモ射撃ヲ續行シ得ル如ク適時一部隊ヲ航路ノ側方ニ配置スルヲ得バ有利ナリ

二、第三百十八第一項ノ各部隊長ハ必要ニ應ジ對空射撃部隊ヲ増加シテ速カニ敵機ノ擊滅ヲ圖リ又一時部隊ノ行進ヲ停止セシムル等機宜ノ處置ヲ講ジ爾他ノ各部隊長モ亦要スレバ獨斷此ノ趣旨ニ準ジテ處置スルモノトス

三、爾餘ノ部隊ハ通常地形及隊形ヲ利用シテ損害減少ノ處置ヲ講ジツツ依然行進續行ニ勉ムルモノトス

第三百十七 行軍中敵機甲部隊ノ攻撃ニ對シテハ速カニ其ノ弱點ヲ察知シ事前ノ準備ト各部隊ノ獨斷協同トニ依リ沈著剛膽之ガ擊滅ニ勉ムルヲ要ス之ガ爲準據スベキ事項概ネ左ノ如シ

一、豫メ指定セラレアル部隊ハ神速ニ陣地ヲ占メ敵我が有效射界ニ入ルヤ直チニ射撃ヲ開始ス此ノ際友軍ニ危害ヲ及サザルコトニ注意スルヲ要ス

二、第四百十三第一項ノ各部隊長ハ狀況ニ應ジ戰鬥ニ任ズベキ部隊ヲ増加スルト共ニ爾餘ノ部隊ノ行動ヲ統一シ其ノ掌握ヲ確實ニシ他ノ方面ニ對シテモ必要ノ對策ヲ考慮スルコト緊要ナリ爾他ノ各部隊長モ亦要スレバ獨斷此ノ趣旨ニ準ジテ處置スルモノトス

三、爾餘ノ部隊ハ速カニ前記部隊ノ射界ヲ解放スルヲ要ス而シテ行進ヲ

續行スベキヤ或ハ一時停止スベキヤハ狀況ニ依ル

四、敵戰車至近ノ距離ニ迫ルトキハ當面ノ部隊ハ狀況之ヲ許ス限リ射撃ヲ集中シ次デ肉薄攻撃ヲ敢行シ敵戰車ノ擊滅ヲ圖ルモノトス此ノ際射撃部隊ト肉薄攻撃部隊ト互ニ其ノ行動ヲ妨害セザルコト竝ニ我が火力ヲ免レテ擅ニ行動スル敵ナカラシムルコト緊要ナリ

第三百十八 敵ノ瓦斯攻撃ニ對シテハ各個防護ノ處置ヲ講ジ中隊長之ニ準ズル者以上ハ適時地形、地物ヲ利用シ隊形ヲ疎開スル等損害減少ノ處置ヲ講ズルヲ要ス

被毒セル人馬、材料等アルトキハ各部隊長ハ速カニ應急ノ消毒ヲ行ヒ撤毒地域ヲ標示シ適當ナル迂回路ヲキトキハ適宜制毒ノ方法ヲ講ズベキモノトス斯クノ如キ狀況ニ於テハ上級指揮官ハ速カニ全般ノ行動ヲ統制スルコト緊要ナリ

第三章 交通整理

第三百十九 高級指揮官ハ作戰地域内ノ交通統制ニ關シ機ヲ失セズ必要ナル事項ヲ規定シ混雜ヲ豫防スルヲ要ス若シ豫メ之ヲ明示シ難キ狀況ニ於テハ所要ノ地點ニ幕僚等ヲ派遣シ機ヲ失セズ之ヲ處理セシムルコト緊要ナリ

第三百二十 諸部隊ノ輻湊スベキ隘路、市街ノ要點、行違ヒヲ許サザル長隘路、主要道路ノ交叉點等特ニ交通ノ混雜ヲ豫想スベキ地點ニ對シテハ該地點通過ノ諸部隊ニ對シ區處權ヲ有スル指揮官ハ豫メ交通整理班ヲ配置シ明確ニ意圖ヲ示シテ混雜ヲ豫防セシメ要スレバ更ニ幕僚ヲ派遣シテ的確ニ區處セシムルヲ要ス

第三百二十一 高級指揮官交通整理班ノ必要ヲ豫想スルトキハ豫メ之ヲ編成シ隨時配置シ得ルノ準備ヲ爲スコト緊要ナリ
交通整理班ハ將校ヲ長トシテ編成シ所要ニ應ジ移動及通信機關ヲ屬スルモ

ノトス此ノ際班長ノ人選ニ關シテハ特ニ留意スルヲ要ス
橋梁哨ヲ配置セル場所ニ於テハ交通整理ノ任務ヲ該橋梁哨ヲシテ兼ネシム
ルコトアリ

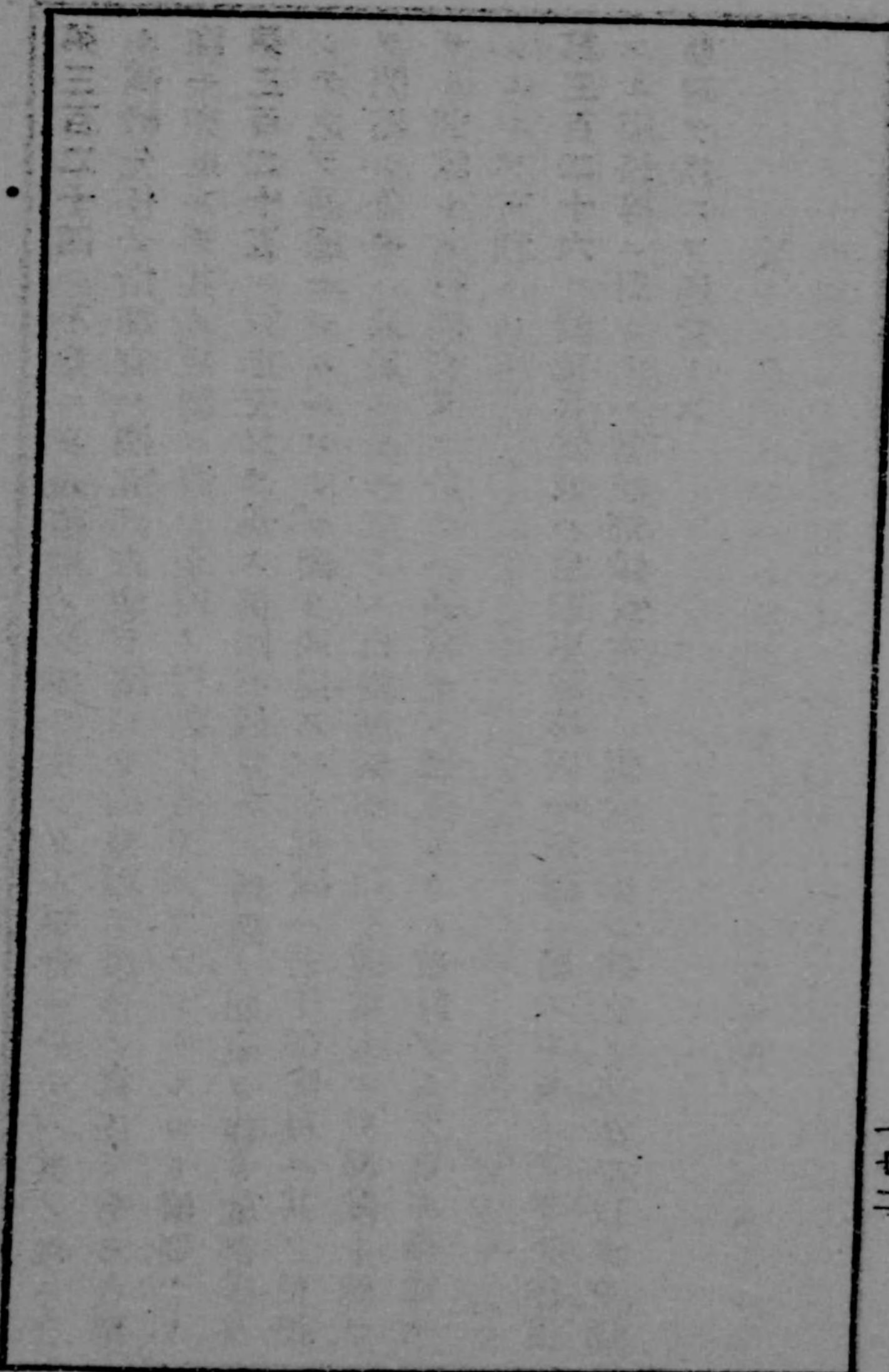
第三百二十二 交通整理班ハ所屬指揮官ノ意圖ニ基キ通過諸部隊ノ爲通過
時期、順序、隊形、隘路等ニ於ケル前後ノ開放區間交通整理ヲ容易ナラシム
ル爲開放區間ヲ設ケ擅ニ
軍隊ノ進入スルヲ 待期部隊ノ開進地區等交通整理ニ關シ所要ノ規定ヲ設ケ
禁ズルモノトス 必要ナル地點ニ幹部以下ヲ配置シテ之ヲ徹底セシメ又通常哨兵ヲ適宜ノ位
置ニ配置シテ秩序ヲ維持シ要スレバ隘路等ニ達スル前ニモ之ヲ配置シテ通
過部隊ニ必要ナル豫告ヲ與フルモノトス

交通整理班ニ屬スル者ハ白布ニ \otimes ト墨書シタル標識（止ムヲ得ザルトキハ
白布）ヲ左腕ニ纏フモノトス

第三百二十三 各部隊ハ交通整理ノ必要ナル所以ヲ理解シ秩序ヲ重ンジ克
ク交通整理班等ノ定ムル通過規定ヲ遵守セザルベカラズ

第三百二十四 不意ニ交通整理ノ必要ヲ生ジタル場合ニ於テハ其ノ地ニ在
ル高級先任ノ指揮官ハ適宜ノ方法ヲ講ジ交通整理ヲ爲スノ責任ヲ有ス各部
隊モ亦進ンデ其ノ統制ニ服シ全般ノ行動ヲ澁滞ナカラシムルコト緊要ナリ
第三百二十五 行進交叉ヲ爲ス部隊ハ通常各、所要ノ間隙ヲ作り他部隊ヲ
シテ之ヲ通過セシムルコトヲ圖リ通過スベキ部隊ハ若干部隊毎ニ其ノ長徑
ヲ閉縮シ急速ニ通過スルモノトス自動車編制ノ如キ速度大ナル部隊ト然ラ
ザル部隊トノ行進交叉ニ於テハ通常先ヅ速度大ナル部隊ヲシテ急ギ通過セ
シムルヲ有利トス

第三百二十六 輜重兵隊或ハ自動車隊等同一部隊ニ屬スルモノノミノ往復
スル隘路等ニ對シテハ當該部隊長本章ノ規定ニ準ジ適宜ノ方法ヲ以テ交通
整理ヲ爲スヲ通常トス



第六篇 宿營

通則

第三百二十七 高級指揮官ハ諸般ノ狀況ヲ較量シ戰術上ノ要求ト休養ノ爲考慮スベキ程度トヲ定メ之ニ應ジテ宿營ノ部署ヲ定ムルモノトス

第三百二十八 舍營ハ縱ヒ貧弱ナル住民地ニ在リテモ人馬ノ休養上露營ニ優ル故ニ戰術上及衛生上妨ナケレバ宿營ハ舍營ニ依ルヲ最良トス

第三百二十九 露營ハ戰闘準備迅速ナリ故ニ敵ト接觸シ迅速ナル戰闘準備ヲ必要トスル部隊ノ宿營並ニ住民地ニ乏シキカ又ハ傳染病等ノ爲住民地ヲ利用スル能ハザル部隊ノ宿營ハ露營ニ依ル

第三百三十 村落露營ハ戰術上若干部隊ノ迅速ナル戰闘準備ヲ必要トスル場合又ハ住民地不足ノ爲全隊舍營ヲ爲ス能ハザル場合ニ於テ之ヲ行フ村落露營ハ戰闘準備ヲ殆ド露營ニ等シカラシメタル場合ニ於テモ尙軍隊休養上

ニ於テハ之ニ優ルヲ通常トス

第三百三十一 高級指揮官宿營ニ決セバ速カニ偵察者ヲ先遣シ現地ヲ偵察セシムルヲ可トス此ノ際宿營地ニ於ケル傳染病及撤毒ノ有無、井水ノ検査、民情ノ調査等ノ爲必要ノ人員ヲ同行セシムルヲ要ス

第三百三十二 高級指揮官ハ軍隊宿營ノ爲宿營地、宿營法、舍(露)營區ノ配當、警戒法、給養法、要スレバ防空ニ關スル事項、戰備ノ度、警急大集合場 舍(露)營司令官等ニ關シ命令ヲ下スモノトス

行軍ヨリ宿營ニ移ルニ際シテハ成ルベク行軍中ニ於テ命令ノ要旨ヲ傳へ各部隊ヲシテ無益ニ駐止セシムルコトナキヲ要ス又此ノ際宿營地ニ入りシ部隊ハ速カニ本道ヲ開放シ一般ノ交通特ニ補給ニ支障ナカラシムルノ注意ヲ必要トス

第三百三十三 宿營地ハ敵眼、敵火ニ對シ爲シ得ル限り掩蔽スルヲ要ス縱ヒ掩蔽困難ナル場合ニ於テモ勉メテ我が企圖ヲ判斷シ得ザラシムル爲宿營

地ノ位置ノ選定ヲ適切ニシ且主力砲兵、戰車等ノ秘匿ニ關シ注意スルヲ要ス

宿營地ヲ敵ニ察知セシメザル爲時トシテ日没ヲ待チテ就宿スルヲ可トスルコトアリ又夜間上空ニ對シ偽宿營地ヲ設クルヲ可トスルコトアリ

第三百三十四 給水困難ナル地方ニ在リテハ適時作井、濾水、淨水要スレバ飲料水輸送等ノ處置ヲ講ズルト共ニ水ノ節用ヲ圖ルコト緊要ナリ

作井機關ハ狀況之ヲ許セバ宿營地ニ先行セシムルヲ可トス

第三百三十五 一地ニ長ク滯留スルトキハ諸勤務ヲ衛戍地ニ於ケル要領ニ準ジテ規定シテ防空、交通、衛生、瓦斯防護、防火要スレバ防寒、防暑等ノ施設ヲ十分ニシ間諜ノ取締ヲ周到ニシ且各司令部、本部、病院、倉庫等ハ要スレバ案内所ヲ設ケテ其ノ所在ヲ明カニシ警備上差支ナケレバ宿營地ノ入口、停車場等ニ之ヲ揭示シ且適宜道標ヲ設クルヲ可トス

滯留短キトキニ於テモ各宿營部隊ハ前項ニ準ジ成ルベク速カニ必要ナル工

事及施設ヲ行フモノトス

宿營地出發ニ方リテハ我が兵種、兵力、企圖等ヲ察知セラルベキ痕跡及物件ヲ殘スコトナク又後方部隊等ノ使用ニ供シ得ルモノハ勉メテ清潔ヲ保持シ之ヲ存置スルノ著意ヲ必要トス

第三百三十六 宿營間ニ於ケル通信施設ハ敵情、宿營地ノ廣狹、宿營期間ノ長短等ニ依リ異ナルモ成ルベク必要ノ最小限度ニ止メ且爲シ得ル限り既設通信線ヲ利用スルヲ可トス然レドモ前哨、本隊間ノ通信施設等ノ如ク緊急處置ニ備フルモノニ在リテハ缺陷ナカラシムルヲ要ス

第一章 宿營地ノ配當

第三百三十七 宿營地及其ノ廣狹ハ我が企圖及一般ノ狀況ニ應ジ指揮掌握、宿營地ノ防衛、給養、衛生等ノ諸件ヲ考慮シテ之ヲ定ム而シテ行軍間ノ宿營地ハ通常就宿及集合ニ多クノ時間ヲ要セザル如ク概ネ縱隊ノ長徑ニ

應ジテ之ヲ設クルモノトス

第三百三十八 宿營地大ナルトキハ之ヲ若干ノ舍(露)營區ニ分チ又特ニ小ナル舍(露)營地相接近シアルトキハ其ノ若干ヲ合シテ一舍(露)營區ト爲スヲ通常トス

一舍(露)營區ノ大イサハ部隊ノ建制又ハ當時ノ軍隊區分ト宿營地ノ大イサトヲ考慮シ高級指揮官ノ指揮統御ト各舍(露)營區内ニ於ケル業務ノ統一實施トニ便ナラシムル如ク之ヲ定ムルモノトス特ニ行軍間ノ宿營ニ在リテハ宿營地到着迄ノ軍隊區分及爾後豫想スル軍隊區分ニモ適應セシムルヲ要ス
第三百三十九 敵ニ關スル顧慮多キ場合ニ於テハ戰術上ノ要求ニ基キテ宿營地及其ノ區分ヲ定メ過度ニ之ヲ分散セシムルコトヲ避ケ強大ナル歩兵ヲ最前線ニ置キ要スレバ若干ノ砲兵ヲ附シ騎兵ハ安全ト休養トヲ考慮シ多少離隔スルモ警戒ニ便ナル位置ニ在ラシメ砲兵ハ之ヲ孤立セシメズ要スレバ若干ノ歩兵、工兵等ヲ附シ砲兵聯隊段列ハ狀況ニ依リ聯隊ニ合シ或ハ分レ

テ宿營セシメ機械化部隊ハ騎兵ニ準ジ特ニ車輛ノ整備及補給ニ便ナルコトヲ考慮シテ其ノ位置ヲ定ムルモノトス

第三百四十 行李ハ狀況妨ナケレバ高級指揮官ノ命ニ依リ各所屬部隊ノ位置ニ分進セシメ然ラザルトキハ別ニ宿營地、宿營法等ヲ示シ獨立シテ宿營セシム後ノ場合ニ於テハ糶秣其ノ他一部ノ行李ヲ先ヅ各部隊ノ位置ニ分進セシメ其ノ用ヲ辨シタル後自己ノ宿營地ニ歸還セシムルヲ通常トス
行李ノ分進ニ對シテハ各部隊長ハ其ノ到着ヲ迅速確實ナラシムル爲適時誘導ノ手段ヲ講ズルヲ要ス

第三百四十一 輜重ハ概ネ其ノ行軍長徑ニ應ジテ宿營セシムルモノトス之ガ爲高級指揮官ハ通常概略ノ地域ヲ示シ輜重兵聯隊長ヲシテ其ノ範圍内ニ於テ適宜宿營セシムルモノトス

第三百四十二 司令部、本部ノ位置 舍營司令官又ハ露營司令官ノ位置ヲ舍ム以下同ジハ指揮及連絡容易ナル地點ニ之ヲ選定シ各衛兵所及宿營地ノ出口ニ在ル各歩哨ニ知ラシメ

置クモノトス而シテ敵ノ目標トナリ易キ顯著ナル地點及直接警戒困難ナル地點等ハ勉メテ之ヲ避クルヲ可トス

第二章 勤務員

第三百四十三 各舍(露)營區ニ舍(露)營司令官 村落露營ニ在リテハ露營司令官ト稱スヲ置ク而シテ高級指揮官ヨリ特ニ命ゼラレザルトキハ各舍(露)營區ニ於ケル高級先任ノ將校ハ舍(露)營司令官トス然レドモ將官ハ要スレバ他ノ將校ヲシテ此ノ任ニ當ラシムルコトヲ得

舍(露)營司令官ハ舍(露)營區ノ配宿、内務及警戒ニ關スル事項ヲ統轄スルモノトス之ガ爲舍(露)營命令ニ於テ示スベキ事項概ネ左ノ如シ
各部隊ノ舍(露)營地區
舍(露)營日直將校及巡察將校(下士官)
舍(露)營衛兵、要スレバ直轄ノ對空監視哨、對空射擊部隊等ノ兵力、差